

第三十五號様式 精算報告書

第 號	精算報告書	明治 年度
一 金	(款)(項)(目)(節)(細節)	精 算 高
仕拂要求書番號	第 號	
同 書 日 附	明治 年 月 日	
債 主 氏 名	明治 年 月 日 渡何々ニ對シ精 算了了ス	
事 由	右報告候也	
仕拂命令官(又ハ繰替拂命令官)官氏名宛	部局長 官氏名印	

第三十六號様式 派出拂金領收證書

派出拂金領收證書	明治 年 月 日 何所何所間派出拂金
但繰替拂傳票第何號第何號ノ分	
右領收候也	
明治 年 月 日	出納員 官 氏 名印
出納官吏 官 氏 名 宛	

備考 一 會計事務取扱細則第四十三條ノ精算報告書ハ此式ニ依ル
二 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス

第三十八號様式

繰替拂日計表

第 號	明治 年度 年 月 日 分	
摘 要	金 額	備 考
	資 本 勘 定 積 立 金 定 計	
	建設ハ 用品及 收益勘定 積 立 金 定 計	
	改良費 工作費	
繰替拂高増減		
入高増		
正高減		
戻入正		
更戻更		
差引計		

明治 年 月 日
何局所主任出納官吏 官氏名印
仕拂命令官宛

備考 一 會計事務取扱細則第六十一條ノ繰替拂日計表ハ此式ニ依ル
二 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス
第三章 諸帳簿及諸報告書様式

第三十七號様式 派出繰替拂計算書

何所何所間派出	何勘定			
仕拂月日	摘 要	受	拂	残
6 23	出納官吏ヨリ領收 繰替拂傳票第何號	1000 0	300 0 600 0	100 0
	計	1000 0	900	

上記ニ對スル領收證書及仕拂未済金引繼候也
明治 年 月 日 出納員 官氏名印
出納官吏 官氏名宛
上記ノ領收證書及仕拂未済金領收候也
明治 年 月 日 出納官吏 官氏名印
出納員 官氏名宛

備考 一 會計事務取扱細則第五十六條ノ派出繰替拂計算書ハ此式ニ依ル
二 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス

第三十九號様式 繰替拂集計日表

繰替拂集計日表 何勘定

第 號	明治 年度 年 月 日 某出納官吏分					
科 目	前日迄計	本日仕拂高	戻入高	更正増減	差引計	備 考
款 項						
目						
計						
項目						
計						
合計						

明治 年 月 日
仕拂命令官 官氏名印
總 裁 宛

備考 一 會計事務取扱細則第六十二條ノ繰替拂集計日表ハ此式ニ依ル
二 本表ハ勘定別並出納官吏別ニ調製シ歳出科目ノ「目」以上ノ金額ヲ記載スヘシ
三 更正増減高ノ欄ニハ更正減ハ朱書シ更正増ハ黒書スヘシ
四 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十號様式 繰替拂目別月計表

第 號 明治 年度 年 月 日 分

科目	前月迄計	繰替拂高			合計	備考
		本月仕拂高	科目更正増	科目更正減		
計						

明治 年 月 日
 繰替拂命令官 官氏名印
 仕拂命令官 官氏名宛

備考
 一 會計事務取扱細則第六十三條ノ繰替拂目別月計表ハ此式ニ依ル
 二 (削除)
 三 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十一號様式 仕拂請求書發行濟額報告書

第 號 明治 年度 年 月 日 分

科目	仕拂請求書發行高		合計	備考
	直接仕拂ノ分	繰替拂ノ分		
款 項				
目				
計				
合計				

明治 年 月 日
 仕拂命令官 官氏名印
 總裁 宛

備考
 一 會計事務取扱細則第四十八條ノ仕拂請求書發行濟額報告書ハ此式ニ依ル
 二 仕拂請求書發行高ノ戻入又ハ更正ノ金額ヲ差引タルモノヲ記載シ備考欄ニ其金額並更正シタル前費目ヲ記載スヘシ
 三 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十二號様式 用品購入及工作勘定仕拂額日表

第 號 明治 年度 年 月 日 分

倉庫名	購入費仕拂額	厘位切捨額	工場名	工作費仕拂額	工作勘定所及諸給	備考
計						

明治 年 月 日
 仕拂命令官 官氏名印
 總裁 宛

備考
 一 會計事務取扱細則第六十二條ノ用品購入及工作勘定仕拂額日表ハ此式ニ依ル
 二 倉庫名ノ下ニハ物品會計官吏ノ所在地ヲ記入スヘシ
 三 工場(印刷工場ヲモ含ム)名ノ下ニハ工場所在地名ヲ記入スヘシ
 四 單ニ倉庫又ハ工場間ノ更正ニ止マルモノト雖減スヘキモノハ朱書シ增加スヘキモノハ黒書スヘシ
 五 仕拂額ノ欄ニハ同一倉庫又ハ同一工場ノ分ハ合計スヘシ
 六 厘位切捨額ノ欄ニハ厘位ノ切捨テタルモノ或ハ債主ヨリ厘位ヲ抛棄シテ請求シタルモノヲ計上スヘシ
 七 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十三號様式 仕拂資金要求書

第 號 仕拂資金要求書

一金「何程」

右仕拂資金不足ニ付「回金相成度」又ハ「何所出納官吏官氏名ニ回金相成度」候也

明治 年 月 日

何所仕拂命令官 官氏名印

又ハ

何所繰替拂命令官 官氏名印

總裁 宛

備考
 一 會計事務取扱細則第六十九條及第七十二條ノ仕拂資金要求書ハ此式ニ依ル
 二 電報送金ヲ要スルモノハ其旨朱書スヘシ
 三 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス

第四十四號様式 仕拂資金回送命令書

第 號	資金要求先	回送命令先	回送命令年月日
一金何程			
右金額何所出納官吏官氏名ニ回送ヲ要ス			
明治 年 月 日			
出納官吏官氏名宛			

第 號	右金額何所出納官吏官氏名ニ回送ヲ要ス
明治 年 月 日	總裁 氏 名 印
出納官吏官氏名宛	

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第七十二條ニ依リ資金ノ回送ヲ命スルトキハ此式ニ依ル
 - 二 電報送金ヲ要スルモノハ其旨朱書スヘシ
 - 三 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス

第四十五號様式 仕拂資金領收濟報告書

第 號	仕拂資金領收濟報告書
一金何程	
但「何所仕拂命令官官氏名」又ハ「何所出納官吏官氏名」ヨリ回金ノ分	
右領收ニ付報告候也	
明治 年 月 日	
何所仕拂命令官	官 氏 名 印
何所出納官吏	官 氏 名 印
總裁 宛	

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第六十九條及第七十三條ノ仕拂資金領收濟報告書ハ此式ニ依ル
 - 二 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類四ツ切トス

第四十六號様式 歳出要求豫算差引報告書

何勘定

明治 年度 年 月 分

第 號	科目	豫算ニ對シ仕拂要求差引額		豫算殘額	見積及契約高	對シ工及工事引額
		豫算額	要求額			
款	項目					
	計					
	項目					
	計					
	合計					

明治 年 月 日 部局長 官 氏 名 印
計理部長 宛

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第七十五條ノ報告書ハ此式ニ依ル
 - 二 本表ハ歳出要求豫算差引簿ノ結果ニ依リ當月迄ノ累計額ヲ掲スヘシ
 - 三 建設費ノ報告ニハ差引豫算殘額欄ノ次ニ其他年度内仕拂見込額ノ欄ヲ設ケ契約未済又ハ設計未済ノ工事費其他ノ經費ニシテ年度内仕拂トナルヘキ見込金額ヲ掲スヘシ但シ便宜餘白ニ掲記スルモ差支ナシ
 - 四 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十七號様式 仕拂要求額報告書

明治 年度 年 月 分

第 號	科目	豫算額	仕拂要求額	豫算殘額
款	項目			
	計			
	項目			
	計			
	合計			

明治 年 月 日 線替拂命令官 官 氏 名 印
計理部長 宛

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第七十六條ノ仕拂要求額報告書ハ此式ニ依ル
 - 二 本表ハ定額豫算差引簿ノ結果ニ依リ當月迄ノ累計額ヲ掲記スヘシ
 - 三 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十八號様式 決算報告書 收益勘定ノ分

(款)何々(項)何々決算報告書

第 號		年度分	
科	目	金	額
(目) 何	々		
(節) 何	々		
(節) 何	々		
(節) 何	々		
(節) 何	々		
	計		

明治 年 月 日
 部局所長 官氏名印
 計理部長宛

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第七十七條ノ報告書ハ此式ニ依ル但シ收益勘定ノ分
 - 二 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第四十九號様式 決算報告書 資本勘定ノ分

明治何年度 (款)何々(項)何々決算報告

科		本 年 度 分		前年度未精算ノ分	
目					
(目) 何	々				
(節) 何	々				
(節) 何	々				
	未 精 算 額				
	合 計				

明治 年 月 日
 部局所長 官氏名印
 計理部長宛

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第七十七條ノ報告書ハ此式ニ依ル但シ資本勘定ノ分
 - 二 前年度未精算ニ關スル分ハ建設及改良費ニ限ル
 - 三 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類トス

第五十號様式 歳入歳出外現金納付書

受入ヲ要ス	①主務官吏ノ印
歳入歳出外現金納付書	
一金	
但何々	
右納付候也	住所
明治 年 月 日	氏 名 印
出納官吏 官氏名宛	

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第六十四條ノ歳入歳出外現金納付書ハ此式ニ依ル
 - 二 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス

第五十一號様式 歳入歳出外現金領收證書

此證書ハ賣買譲與又ハ質入書入スルコトヲ得ス

第 號	人納	何 某
一金何程		
但何々		
明治 年 月 日		
右領收候也	何所出納官吏	官氏名印
明治 年 月 日	何 某 殿	
前書金額下戻相成正ニ領收候也		
何所出納官吏		住所
明治 年 月 日		氏 名 印
出納官吏 官氏名宛		

- 備考
- 一 會計事務取扱細則第六十五條ノ歳入歳出外現金領收證書ハ此式ニ依ル
 - 二 用紙ハ洋紙又ハ模造紙ノ類ニシテ縦四寸五分、横八寸三分乙チ五分八分トシテ各適宜綴代ヲ付スヘシ

第五十二號様式 歳入歳出外現金受拂報告書

歳入歳出外現金受拂報告書

第 號 明治 年 月 日 分

種 類	前日ヨリ 越 高	受入金額	仕拂金額	差引残額	
				金 額	高
入札保證金々々					
入何何					
計					

明治 年 月 日
出納官吏 官 氏 名 印
總 裁 宛

備考
一 會計事務取扱細則第六十八條ノ歳入歳出外現金受拂報告書ハ此式ニ依ル
二 用紙ハ半紙判洋紙又ハ模造紙ノ類ニツ切トス

第五十三號様式 現金出納表

現金出納表

第 號 明治 年 月 日 分

部 門	前日ヨリ 越 高	受入高	仕拂高	差 引 残 高	
				金 櫃 在 高	金 庫 保 管 高
計					

出納官吏 官 氏 名 印

備考
一 繰替拂命令官會計事務取扱細則第八十一條ニヨリ現金ノ出納ヲ検査スルトキハ出納官吏ヨリ本表ヲ提出セシムヘシ

○用品資金所屬貯藏物品出納代價報告書並工場勘定受拂報告書様式
明治四十一年四月二十一日 改正 明治四十二年四月 達第三一七號 大正元年十一月 達第三二二號

第一號様式

何收第 號	明治 年 月 日	何局課所長
計理部長殿		
合 金		
原 簿 題 號	金 額	摘 要
貸 方	支 出 未 済	物品買入高 當所又ハ何所仕拂
借 方	何所貯藏物品	明治 年 月 分 (出納簿へ記入ノ月)

貯藏物品ヲ買入レタルトキハ此様式ニ依ル但シ何所(貯藏物品)トハ物品會計官吏所
在地名ノコトニシテ新橋、横濱、江尻ノ如シ以下皆同シ

(用紙ハ半紙板トス)

第二號様式

何收第	號	明治	年	月	日	何局課所長
計理部長殿						
合金						
原簿題號	金額	摘要	貸	方	借	方
			用品工作受拂過不足		何所貯藏物品	明治
			不用品ヨリ受展其他			年
						月分
						(記入簿)

過剩物品ヲ生シタルトキ又ハ不用品ノ内使用ノ見込アルモノヲ受入レタルトキハ此様式ニ依ル

第三號様式

何收第	號	明治	年	月	日	何局課所長
計理部長殿						
合金						
原簿題號	金額	摘要	貨	方	借	方
			何所貯換物品(先方ノ地名)ヨリ保管轉換受		何所貯藏物品	明治
			入所(先方ノ地名)ヨリ保管轉換受			年
						月分

保管轉換ノ場合ニ受入レタル方ニ於テハ此様式ニ依ル

第四號様式

何收第	號	明治	年	月	日	何局課所長
計理部長殿						
合金						
原簿題號	金額	摘要	貸	方	借	方
			何所工場ヨリ新製品受入高		何所貯藏物品	明治
						年
						月分

工場ヨリ落成報告書ヲ受ケタルトキハ此様式ニ依ル

第五號様式

何收第	號	明治	年	月	日	何局課所長
計理部長殿						
合金						
原簿題號	金額	摘要	貨	方	借	方
			何々貨(賣物原價)ヨリ(買物原價)ニ對シテ(買物原價)ノ差額		何所貯藏物品	明治
			同		割掛	年
			用品工作受拂過不足		收入未済	月分
			用品工作受拂過不足			()
						厘位切捨額

貯藏物品ヲ賣拂タルトキハ此様式ニ依ル

保管轉換ノ場合ニ抽出シタル方ニ於テハ此様式ニ依ル但シ借方何所ノ貸方何所ト同一ノ地名ヲ用ユ

何支第 號 明治 年 月 日		計理部長殿		何局課所長	
合 金		原簿題號	金額	摘 要	
貸	何所貯藏物品				
借	何所轉換物品				
方	何所(先方ノ地名)ノ保管轉換抽出				
方	明治 年 月 分)				

第七號様式

使用拂、亡失毀損價格改定又ハ不用品アリタルトキハ此様式ニ依ル

何支第 號 明治 年 月 日		計理部長殿		何局課所長	
合 金		原簿題號	金額	摘 要	
貸	何所貯藏物品				
借	用品工作受拂過不足				
方	使用拂其他何々				
方	明治 年 月 分)				

第六號様式

更正減却ヲ要スルトキハ此様式ニ依ル

何支第 號 明治 年 月 日		計理部長殿		何局課所長	
合 金		原簿題號	金額	摘 要	
貸	何所貯藏物品				
借	何五分第 號ノ内更正減却ノ分				
方	明治 年 月 分)				

第九號様式

倉庫賬ニ於テ前受金ニ對シ精算シタルトキハ此様式ニ依ル

何支第 號 明治 年 月 日		計理部長殿		倉庫課所長	
合 金		原簿題號	金額	摘 要	
貸	何所貯藏物品				
借	何々支(精算原價)ノ精算原價				
方	用品工作受拂過不足				
方	同 割替				
方	前受金				
方	明治 年 月 分)				

第八號様式

○貯藏品出納代價報告書並工場勘定受拂報告書番號記入ノ件

明治四十一年四月十四日
公報注意

- 用品資金所屬貯藏品出納代價報告書並工場勘定受拂報告書ノ番號記入方ハ本年度分ヨリ左記事項ニ依リ記載スルヲ要ス
- 一、番號ハ各貯藏品並各工場勘定毎ニ區分スルコト
 - 二、貯藏品ノ受入ハ何收第 號出ハ何支第 號トスルコト修繕品落成報告書ハ何修第 號トスルコト
 - 三、工場勘定ノ受入ハ何受第 號拂出ハ何拂第 號トスルコト修繕品落成報告書(借方收入未済貸方工場勘定ノ分)ハ何修第 號トスルコト
 - 四、更正ハ何更第 號トスルコト
 - 五、毎年度末ニ於ケル最終報告書ニハ其旨附記スルコト

○用品基金ニ關スル整理手續並報告書様式

改正 大正元年十一月
達第三二二號

明治四十二年七月三十日
達第六六八號

用品基金ニ關スル整理手續並報告書様式左ノ通定ム

- 用品基金ニ關スル整理手續並報告書様式
- 一 部局所ニ於テ他局所屬ノ貯藏品ニ對シ仕拂要求書ヲ發行シタルトキハ即日代價明細書ヲ調製シ之ニ物品受入命令號ヲ記入シテ決算負擔ノ局ニ送附スヘシ
 - 二 代價明細書ニハ年度、要求書年月日番號並物品所屬ノ倉庫名ヲ明記スヘシ
 - 三 部局所ニ於テ他局所屬ノ鐵道用品及工作收入ヲ收入シタルトキハ直ニ之ヲ其所屬局ヘ通知スヘシ
 - 四 管理局ハ管内ニ於ケル貯藏品出納報告及工場受拂報告ヲ取纏メ即日報告書ヲ調製シ之ヲ計理部長ニ提出スヘシ
 - 五 管理局ハ購入費仕拂傳票ニ依リ仕拂ノ日ヲ以テ組替報告書ヲ調製シ即日之ヲ計理部長ニ提出スヘシ但シ計理部若クハ他局所ヨリ代價明細書廻送ノモノニ對シテハ到達ノ日、仕拂命令官宛ノモノハ仕拂要求書發行ノ日ヲ以テ之ヲ調製スヘシ
 - 六 管理局ハ鐵道用品及工作收入ニ對スル即納通知書ニ依リ收入ノ日ヲ以テ組替報告書ヲ調製シ即日之ヲ計

理部長ニ提出スヘシ但シ徵收要求書ヲ發行シタルモノニ對シテハ其收入済通知到達ノ日ヲ以テ之ヲ調製スヘシ

- 七 部局所ハ第一項及第三項ニ該當スル本年四月以降七月迄ノ分ハ此際當該局ヘ通知スヘシ
- 八 報告書様式ハ別冊ノ通トス別冊ハ別ニ配付ス
- 九 本達ハ八月一日ヨリ之ヲ施行ス
- 十 四十一年一月十一日達第三號ニ依ル調書並ニ四十一年四月二十一日總裁達第二〇八號様式記載例ニ據ル報告ハ自今管理局課所場長ヨリ局長ニ提出スヘシ

(別冊)

第一號様式(用紙ハ半紙ニツ)
切トス以下同シ)

報號	號	明治	年	月	日
計理部長殿					
何々管理局長					
合金					
原簿	題號	金額	員	摘	要
貸	支出未済			貯藏品購入	何所仕拂
借	何貯藏品				
				明治	年 月分

管内倉庫ノ貯藏品受入報告ハ一括シテ此様式ニ依リ調製スヘシ
何所仕拂トハ代金仕拂ノ爲メ納品證廻送ノ部局所ヲ云フ
何管トハ各管理局名ヲ略記シタルモノニシテ中管、東管等ノ如シ
更正減却ヲ要スル場合ニハ凡テ當初報告ノ原簿題號ヲ貸借反對ニ記載スヘシ

報第 號 明治 年 月 日
何々管理局長
計理部長殿

右金

原簿題號		員	摘	要
貸	何轉換物品			
借	何貯藏物品			
方	明治 年 月分			

一、貸方何管トハ貯藏品拂出ノ管理局名ヲ附スシ
一、摘要欄何月分ハ他局貯藏品拂出ノ月ヲ記入スヘシ

第三號樣式

報第 號 明治 年 月 日
何々管理局長
計理部長殿

右金

原簿題號		員	摘	要
貸	用品工作受拂過不足 過剩品受入			
借	何貯藏物品			
方	明治 年 月分			

第二號樣式

報第 號 明治 年 月 日
何々管理局長
計理部長殿

合金

原簿題號		員	摘	要
貸	何貯藏物品 何費 ^{（委託費）} 或ハ院外へ賣却			
借	用品工作受拂過不足			
方	明治 年 月分			

一、管内倉庫ノ拂出報告ヲ一括スルトキハ貯藏品出納報告ノ借方用品工作受拂過不足即チ厘位切捨ノモノハ貸方用品工作拂過不足ヨリ控除シテ副製スヘシ

第五號樣式

報第 號 明治 年 月 日
何々管理局長
計理部長殿

合金

原簿題號		員	摘	要
貸	何工場落成品 新製品落成ニ付受入			
借	何貯藏物品			
方	明治 年 月分			

一、貸方何管トハ新製品落成ノ工場所屬ノ管理局名ヲ附スヘシ

第四號樣式

第七號様式

報第 號	明治 年 月 日	何々管理局長	計理部長殿	合金	原簿題號	金額	員	摘要	貸何貯藏物品	何々管理局へ保管轉換拂付	方	借何轉換物品	明治 年 月 分	方

第七號様式

第六號様式

報第 號	明治 年 月 日	何々管理局長	計理部長殿	合金	原簿題號	金額	員	摘要	貸何貯藏物品	使用拂、亡失毀損償額改定等	方	借用品工作受拂過不足	明治 年 月 分	方

第六號様式

第九號様式

報第 號	明治 年 月 日	何々管理局長	計理部長殿	合金	原簿題號	金額	員	摘要	貸何工場勘定	何費(建築)所屬、院外修繕品溶成	方	借收入未済	明治 年 月 分	方

第九號様式

第八號様式

報第 號	明治 年 月 日	何々管理局長	計理部長殿	合金	原簿題號	金額	員	摘要	貸何貯藏物品	何費(建築)前受金ニ對シテ精算	方	借前受金	明治 年 月 分	方

第八號様式

一、借方何管へ自局名ヲ附スヘシ、

一、管内工場ノ修繕品落成報告ヲ一括スルトキハ物品賣拂下同シク厘位切捨、

第十一號樣式

報第 號		明治 年 月 日		何々管理局長		計理部長殿		合金	
原簿題號		金額		員		摘要			
貸	何工場勘定								
借	何工場落成								
明治 年 月 分									

第十號樣式

報第 號		明治 年 月 日		何々管理局長		計理部長殿		合金	
原簿題號		金額		員		摘要			
貸	用品工作受拂過不足								
借	何工場勘定								
明治 年 月 分									

第十三號樣式

報第 號		明治 年 月 日		何々管理局長		計理部長殿		合金	
原簿題號		金額		員		摘要			
貸	用品工作受拂過不足								
借	何工場落成								
明治 年 月 分									

第十二號樣式

報第 號		明治 年 月 日		何々管理局長		計理部長殿		合金	
原簿題號		金額		員		摘要			
貸	何工場勘定								
借	用品工作受拂過不足								
明治 年 月 分									

一、第五項組券報告書ハ此樣式ニ依ルベシ

明治何年度何々ノ作業ノ豫定計算書ニ於テ算定スル所ノ

何項何々ノ歳入額ハ
何項何々ノ歳入額ハ
何項何々ノ歳入額ハ

ニシテ之ヲ前年度ニ比較スルニ何項ニ於テ何々(理由)ニ依リ何圓何錢ノ増(減)何項ニ於テハ何々(理由)ニ依リ何圓何錢ノ増(減)ヲ見ル

歳出ノ部

明治何年度何々作業ノ豫定計算書ニ於テ算定スル所ノ

何項何々ノ歳出額ハ
何項何々ノ歳出額ハ
何項何々ノ歳出額ハ

ニシテ之ヲ前年度ニ比較スルニ何項ニ於テ何々(理由)ニ依リ何圓何錢ノ増(減)何項ニ於テハ何々(理由)ニ依リ何圓何錢ノ増(減)ヲ見ル

何省所管何々(作業所ノ名稱)作業歳入

科	目	何年度豫定額		比較ノ差	備考
		何年度許可額	何年度許可額		
第一項 (款ノ科目ヲ掲ク)	第一目	何々	何々		
	第二目	何々	何々		
	第三目	何々	何々		
	第四目	何々	何々		
	第五目	何々	何々		
	第六目	何々	何々		
第二項	何々	何々	何々		
合計	何々	何々	何々		

何省所管何々(作業所ノ名稱)作業歳出

科	目	何年度豫定額		比較ノ差	備考
		何年度許可額	何年度許可額		
第一項 (款ノ科目ヲ掲ク)	第一目	何々	何々		
	第二目	何々	何々		
	第三目	何々	何々		
	第四目	何々	何々		
	第五目	何々	何々		
	第六目	何々	何々		
第二項	何々	何々	何々		
合計	何々	何々	何々		

第二號書式

從明治何年何月何日 會計年度

至明治何年何月何日 何々(作業所ノ名稱)作業受拂勘定表

何省大臣何某

從明治何年何月何日 會計年度何々(作業所名稱)作業受拂勘定表

至明治何年何月何日

歳入ノ收入濟額

收入未濟額

据置運轉資本ニ屬スル持越高

總生産品ノ價格

總材料及素品ノ價格

集台支拂請求書 明治二十六年當省令第三十二號書式第六號丙式ニ據ル但改訂删除仕拂請求書ニ同
第二十五號書式 納入告知書 明治二十六年當省訓令第四十二號甲乙書式ニ準ス

(現金前渡ヲ受ケタル官吏) 現金出納簿 「第十九號書式乙」

年月日	摘要	受	拂	残
何何何	何々金庫ヨリ受取	2,100,000		2,600,000
何何何	何々金庫ヨリ受取	500,000		600,000
	合計	2,600,000	2,000,000	

備考 作業及鐵道會計規則第四十九條ノ(現金前渡ヲ受ケタル官吏)現金出納簿ハ此書式ニ據ル

(收入官吏) 現金出納簿 「第十九號書式甲」

年月日	摘要	受	拂	残
何何何	何々金何某ヨリ收入	1,000,000		1,800,000
何何何	何々金何某ヨリ收入	800,000		500,000
	合計	1,800,000	1,300,000	

備考 作業及鐵道會計規則第四十九條ノ(收入官吏)現金出納簿ハ此書式ニ據ル

金庫出納役仕拂元高差引簿 「第十七號書式」

年月日	摘要	仕拂元高		仕拂請求書		仕拂額	仕拂地金庫	仕拂元高上仕拂 元高差引簿 仕拂元高上仕拂 元高差引簿 仕拂元高上仕拂 元高差引簿
		借越額	受高	受領額	仕拂額			
何何何	何々金何某ヨリ收入	50,000	50,000	1,000,000	700,000	700,000	0	50,000
何何何	何々金何某ヨリ收入	50,000	50,000	1,000,000	700,000	700,000	0	50,000
	合計	5,000,000	500,000	1,000,000	700,000	700,000	0	50,000

備考 作業及鐵道會計規則第四十八條ノ仕拂元高差引簿ハ此書式ニ據ル

金庫出納役仕拂元高差引簿 「第十六號書式」

年月日	摘要	預算額		仕拂請求書		預算殘額
		借越額	受高	受領額	仕拂額	
何何何	何々金何某ヨリ收入	10,000	10,000	700,000	700,000	10,000
何何何	何々金何某ヨリ收入	10,000	10,000	700,000	700,000	9,300,000
	合計	10,000,000	500,000	700,000	700,000	9,500,000

備考 第一書式ニ據ル
第二書式ニ據ル
第三書式ニ據ル
第四書式ニ據ル
第五書式ニ據ル
第六書式ニ據ル
第七書式ニ據ル
第八書式ニ據ル
第九書式ニ據ル
第十書式ニ據ル
第十一書式ニ據ル
第十二書式ニ據ル
第十三書式ニ據ル
第十四書式ニ據ル
第十五書式ニ據ル
第十六書式ニ據ル
第十七書式ニ據ル
第十八書式ニ據ル
第十九書式ニ據ル
第二十書式ニ據ル
第二十一書式ニ據ル
第二十二書式ニ據ル
第二十三書式ニ據ル
第二十四書式ニ據ル
第二十五書式ニ據ル
第二十六書式ニ據ル
第二十七書式ニ據ル
第二十八書式ニ據ル
第二十九書式ニ據ル
第三十書式ニ據ル
第三十一書式ニ據ル
第三十二書式ニ據ル
第三十三書式ニ據ル
第三十四書式ニ據ル
第三十五書式ニ據ル
第三十六書式ニ據ル
第三十七書式ニ據ル
第三十八書式ニ據ル
第三十九書式ニ據ル
第四十書式ニ據ル
第四十一書式ニ據ル
第四十二書式ニ據ル
第四十三書式ニ據ル
第四十四書式ニ據ル
第四十五書式ニ據ル
第四十六書式ニ據ル
第四十七書式ニ據ル
第四十八書式ニ據ル
第四十九書式ニ據ル
第五十書式ニ據ル
第五十一書式ニ據ル
第五十二書式ニ據ル
第五十三書式ニ據ル
第五十四書式ニ據ル
第五十五書式ニ據ル
第五十六書式ニ據ル
第五十七書式ニ據ル
第五十八書式ニ據ル
第五十九書式ニ據ル
第六十書式ニ據ル
第六十一書式ニ據ル
第六十二書式ニ據ル
第六十三書式ニ據ル
第六十四書式ニ據ル
第六十五書式ニ據ル
第六十六書式ニ據ル
第六十七書式ニ據ル
第六十八書式ニ據ル
第六十九書式ニ據ル
第七十書式ニ據ル
第七十一書式ニ據ル
第七十二書式ニ據ル
第七十三書式ニ據ル
第七十四書式ニ據ル
第七十五書式ニ據ル
第七十六書式ニ據ル
第七十七書式ニ據ル
第七十八書式ニ據ル
第七十九書式ニ據ル
第八十書式ニ據ル
第八十一書式ニ據ル
第八十二書式ニ據ル
第八十三書式ニ據ル
第八十四書式ニ據ル
第八十五書式ニ據ル
第八十六書式ニ據ル
第八十七書式ニ據ル
第八十八書式ニ據ル
第八十九書式ニ據ル
第九十書式ニ據ル
第九十一書式ニ據ル
第九十二書式ニ據ル
第九十三書式ニ據ル
第九十四書式ニ據ル
第九十五書式ニ據ル
第九十六書式ニ據ル
第九十七書式ニ據ル
第九十八書式ニ據ル
第九十九書式ニ據ル
第一百書式ニ據ル

(代價未渡諸品込人) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何何	材料及素品庫	2,000,000	3,000,000	貸	3,000,000 1,000,000

(物品未渡諸品買受人) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何何	金生産庫品	200,000	300,000	貸	300,000 100,000

物品基本

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何何	材料及素品庫		48,000,000		
何何	機械運轉用品		2,000,000	貸	50,000,000
何何	生々作産業收	45,000,000	5,000,000	貸	55,000,000
何何	生々作産業收		15,000,000	貸	25,000,000
何何	生々作産業收		200,000	貸	25,200,000
何何	何々作産業收	1,000,000	2,000,000	貸	24,200,000
何何	何々作産業收		500,000	貸	26,200,000
何何	何々作産業收	300,000		貸	26,700,000
何何	何々作産業收	200,000		貸	26,400,000
何何	何々作産業收		1,000,000	貸	26,200,000
何何	何々作産業收			貸	27,200,000

歳入徴收官徴收簿

何々(款) 何々(項) 「第十五號書式」

年月日	摘要	豫算額	歳入				豫算額下 確定額下 ノ差
			確定額	収入済額	不納損額	収入未済額	
何何	何年何月決定額	70,000,000	20,000,000				70,000,000
何何	何月何日確定額			15,000,000		5,000,000	
何何	何領				90,000	4,910,000	
何何	何々ニヨリ減額		[100,000]			4,810,000	
何何	何々ニヨリ拂戻ス			[50,000]		4,860,000	
何何	何月分合計	70,000,000	20,000,000	15,000,000	90,000		
何何	同減額及拂戻合計		[100,000]	[50,000]			

備考

第一 作業及鐵道會計規則第四十七條ノ徴收簿ハ此書式ニ據ル
但二人以上歳入徴收官アルトキハ此書式ニ準シ徴收總計簿ヲ調製シ本局歳入
徴收官ハ其總收入ヲ登記スヘシ
第二 二人以上ノ歳入徴收官ニ於テ歳入ノ事務ヲ取扱フトキ豫算額ノ欄内ニハ
各省大臣ヨリ分與サレタル豫算額ヲ記入スルモノトス
第三 徴收簿ノ詳細ヲ明ニスル爲メ要スル所ノ補助簿ハ適宜各廳ニ於テ設クル
モノトス

損益

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何何	現金未納契約人		300,000	借	
何何	現金未渡契約人	400,000			100,000

(現金未渡契約人) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	残
何何	損益		40,000	貸	40,000

(物品未納諸品賣込人) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	物料及素本品	500,000	100,000	借借	500,000 400,000

(代價未納諸品買受人) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	生金産品庫	1,200,000	1,000,000		1,200,000 200,000

(不用品) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	材料及素本品	200,000	200,000		0

(備品) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	物品基本	1,000,000		借	1,000,000

(何々作業收入) 何々(項)

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	物品基本庫		300,000 100,000	貸貸	300,000 400,000

(何々作業收入) 何々(項)

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	物品基本		54,000,000 1,000,000	貸貸	45,000,000 46,000,000

運轉資本

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	金庫		300,000,000	貸	300,000,000

(現金未納契約人) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
何何	損益	300,000		借	300,000

(何々作業費) 何々(項)

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	金庫	60,000.00		借	60,000.00
	物品	2,000.00		借	62,000.00

(金庫) 何々金庫

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	運轉費	300,000.00		借	240,000.00
	何生	45,000.00	60,000.00	借	285,000.00
	代價未納	1,000.00		借	286,000.00
	何々		2,000.00	借	884,000.00
	何々		500.00	借	283,500.00
	何物	300.00		借	283,800.00
	何々	100.00		借	283,900.00
	何々		1,000.00	借	282,900.00

(生 産 品) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	材料	39,000.00			
	機械	1,000.00			
	及運轉	5,000.00			
	用品	15,000.00			
	物品		45,000.00	借	45,000.00
	物品			借	1,500.00
	物品			借	14,000.00
	物品			借	13,800.00

(機 械 運 轉 用 品) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	物品	2,000.00		借	2,000.00
	物品		1,000.00	借	1,000.00

(材 料 及 素 品) 何々

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	物品	48,000.00		借	48,000.00
	物品		39,000.00	借	9,000.00
	物品	3,000.00		借	12,000.00
	物品	100.00		借	12,100.00
	物品		200.00	借	11,900.00

(何々作業局) 何々(項)

年月日	摘要	借	貸	借或貸	殘
		円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
	金庫	500.00		借	500.00
	金庫	1,000.00		借	1,500.00

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘

損 益

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	現金未納契約人	5		300000		
何何	現金未渡契約人	5	400000		借	100000

現金未渡契約人

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	損 益	4		400000	貸	400000

某 年 度	
何々(作業所名稱)作業	
内 譯 簿	
何 應	

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘

何々作業收入

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	物物	2			45,000	00	貸	45,000	00
何何	品品	2			1,000	00	貸	46,000	00
何何	基基	4			300	00	貸	46,300	00
何何	本本	4			100	00	貸	46,400	00

運轉資本

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	金庫	1			300,000	00	貸	300,000	00

現金未納契約人

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	損益	4	300	00			借	300	00

物品未納諸品賣込人

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	物材	3	500	00			借	500	00
何何	品基				100	00	借	400	00

代價未渡諸品賣込人

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	材及	3					貸	3,000	00
何何	品素	3	2,000	00			貸	1,000	00

物品未渡諸品買受人

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	金生	4			300	00	貸	300	00
何何	産庫	4	200	00			貸	100	00

物品基本

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	廉	1			50,000	00	貸	50,000	00
何何	一	1			5,000	00	貸	55,000	00
何何	增	2			15,000	00	貸	70,000	00
何何	差	2	45,000	00			貸	25,000	00
何何	入	2			200	00	貸	25,200	00
何何	收	2					貸	24,200	00
何何	増	2	1,000	00			貸	26,200	00
何何	入	3			2,000	00	貸	28,200	00
何何	費	3			500	00	貸	28,700	00
何何	未	3	300	00			貸	29,000	00
何何	納	4	200	00			貸	29,200	00
何何	諸	4					貸	27,200	00
何何	品						貸		

機械運轉用品

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	物 品 基 本	1 1	2,000,000	1,000,000	借借	2,000,000 1,000,000

材料及素品

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	物 品 基 本	1 1	48,000,000		借	48,000,000
何何	生 產 未 渡 諸 品 買 入	1 3		39,000,000	借借	9,000,000
何何	代 價 未 納 諸 品 買 入	3 3	3,000,000		借借	12,000,000
何何	不 用 品 (損 失)	4 4	100,000	200,000	借借	12,100,000 11,900,000

何々作業

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	金 物 品 基 本	1 1	60,000,000		借	60,000,000
何何	金 庫	3 3	2,000,000		借借	62,000,000
何何	金 庫	3 4	500,000		借借	62,500,000
何何	金 庫	4 4	1,000,000		借借	63,500,000

代價未納諸品買受人

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	生 產 品 庫	2 2	1,200,000	1,000,000	借借	1,200,000 200,000

不用品

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	材 料 及 素 品 基 本		200,550.00	200,000	借借	0

備品

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	物 品 基 本	4	1,000,000		借	1,000,000

生產品

年月日	摘要	日記丁數	借	貸	借或貸	殘
			円 銭 厘	円 銭 厘		円 銭 厘
何何	材 料 及 素 品 外 三 廉	1 1	45,000,000		借	45,000,000
何何	物 品 基 本 庫	2 2	15,000,000		借借	60,000,000
何何	金 物 品 基 本 庫	2 2		45,000,000	借借	15,000,000
何何	代 價 未 納 諸 品 買 入	2 2	200,000		借借	15,000,000
何何	物 品 未 渡 諸 品 買 入	2 4		1,200,000	借借	14,000,000
				200,000	借借	13,800,000

品金銀料要庫貯

年月日	摘要	日記丁數	借		借或貸		殘	
			元	角	元	角	元	角
		1	300,000	00			240,000	00
		2	45,000	00			285,000	00
		3	1,000	00			286,000	00
		4			2,000	00	284,000	00
		5			500	00	283,500	00
		6	300	00			283,800	00
		7	100	00			283,900	00
		8			1,000	00	282,900	00

品金銀料要庫貯

「第十三號書式」

某年度

何々(作業所名稱)作業

原簿

何應

借

原簿丁數	借	貸
10/	現金未納契約人 損	現金未納契約人 益
17/	現金未渡契約人 損	現金未渡契約人 益

(作業鐵道會計規則第二十二條第二十三條ノ例)

明治何年何月何日

貸

借 明 治 何 年 何 月 何 日

貸

原簿丁數	借	明	治	何	年	何	月	何	日	貸	
1/	金	物品未渡諸品買受人	明	治	何	年	何	月	何	日	3,000.00
14/	物品未渡諸品買受人	生	明	治	何	年	何	月	何	日	200.00
13/	物品未渡諸品買受人	生	明	治	何	年	何	月	何	日	300.00
13/	物品未渡諸品買受人	生	明	治	何	年	何	月	何	日	500.00
7/	不用品及素品	材料	明	治	何	年	何	月	何	日	200.00
13/	不用品及素品	材料	明	治	何	年	何	月	何	日	200.00
1/	金	何々作業收入	明	治	何	年	何	月	何	日	100.00
2/	何々作業費	金	明	治	何	年	何	月	何	日	1,000.00
6/	備	物品	明	治	何	年	何	月	何	日	2,000.00
14/	物品未渡諸品買受人	生	明	治	何	年	何	月	何	日	200.00
12/	物品未渡諸品買受人	生	明	治	何	年	何	月	何	日	300.00
5/	物品未渡諸品買受人	生	明	治	何	年	何	月	何	日	500.00
3/	何	材料	明	治	何	年	何	月	何	日	200.00
7/	不用品(損失)	不用品	明	治	何	年	何	月	何	日	200.00
12/	何々作業收入	金	明	治	何	年	何	月	何	日	100.00
1/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	500.00
13/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	1,000.00
13/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	2,000.00

借 明 治 何 年 何 月 何 日 貸

原簿丁數	借	明	治	何	年	何	月	何	日	貸	
3/	材料	及素品	明	治	何	年	何	月	何	日	3,000.00
15/	代價未渡諸品買受人	金	明	治	何	年	何	月	何	日	2,000.00
2/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	2,000.00
2/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	4,000.00
9/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	500.00
2/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	500.00
3/	材料	及素品	明	治	何	年	何	月	何	日	100.00
15/	代價未渡諸品買受人	金	明	治	何	年	何	月	何	日	2,000.00
13/	代價未渡諸品買受人	金	明	治	何	年	何	月	何	日	2,000.00
1/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	4,000.00
13/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	500.00
14/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	1,000.00
14/	何	金	明	治	何	年	何	月	何	日	100.00

借 明 治 何 年 何 月 何 日

貸

原簿丁數	借	明治	何年	何月	何日	貸
5/	生 物 品 庫 本	明治	何年	何月	何日	15,000,000 0
1/	金 庫 本					45,000,000 0
13/	生 物 品 庫 本					45,000,000 0
	何々作業收入					105,000,000 0
5/	生 物 品 庫 本	明治	何年	何月	何日	200,000 0
8/	代價未納諸品買受人					1,200,000 0
	何々作業收入					1,400,000 0
1/	金 庫 本	明治	何年	何月	何日	1,000,000 0
13/	代價未納諸品買受人					1,000,000 0
	何々作業收入					2,000,000 0

借 明 治 何 年 何 月 何 日

貸

原簿丁數	借	明治	何年	何月	何日	貸
2/	金 庫 本					300,000,000 0
3/	何々作業收入					60,000,000 0
4/	材料運轉用品					48,000,000 0
	機械運轉用品					2,000,000 0
	何々作業收入					50,000,000 0
5/	生 物 品 庫 本	明治	何年	何月	何日	410,000,000 0
	材料運轉用品					9,000,000 0
	機械運轉用品					1,000,000 0
	何々作業收入					40,000,000 0
	何々作業收入					5,000,000 0
	何々作業收入					45,000,000 0

「作業會計仕拂元受主計簿」 「第十一號書式丙」
何々(作業所名稱)仕拂元受高

年月日	摘要	仕拂元受高		支出済額		翌年度へ繰越及一般歳入へ納付額		残	
		円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
何	何	50,000	000					50,500	000
	何	500	000					49,500	000
	何			1,030	000			49,700	000
	何			200	000			49,700	000
	何	0				0		49,700	000
	何					0		49,700	000

第三章 總帳簿及諸報告書様式

「作業會計歳出主計簿」 「第十一號書式乙」
何々(款) 何々(項)

年月日	摘要	豫算額	豫算決定後増加額		支出済額		翌年度へ繰越額		豫算残額	
			円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
何	何	100,000						100,000	000	
	何				700	000			99,300	000
	何				200	000			99,500	000
	何				0				99,500	000
	何								99,500	000
	何						0		99,500	000

「作業會計歳入主計簿」 「第十一號書式甲」
何々(款) 何々(項)

年月日	摘要	豫算額	歳入				豫算額卜確定額卜差		
			確定額	収入済額	不納損額	未済額			
		円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
何	何	100,000						100,000	000
	何		50,000	25,000	150	24,850		25,000	000
	何		300			24,550		50,300	000
	何			100		34,650			

二百十七

某 年 度

何々(作業所名稱)作業

日 記 簿

何 應

「第十二號書式」

第三章 諸帳簿及諸報告書様式

二百十六

「第十一號書式」

「作業會計主計簿」

- 備考
- 第一 作業及鐵道會計規則第四十五條ノ作業會計主計簿ハ此書式ニ據リ歲入、歳出及仕拂元受ノ三部ニ分ツ
 - 第二 作業會計歳入主計簿ハ各作業事務本局歳入徴收官ノ徴收報告書若クハ徴收合計表ニ依テ登記ス
 - 第三 作業會計歳出主計簿及作業會計仕拂元受主計簿ハ金庫出納役ノ仕拂請求書受領濟額報告書ニ依テ登記ス

某年度 作業歳出 「第七號書式乙」
 某作業所 明治何年何月分 仕拂請求書受領濟額報告書 第 何 號

備考	仕 拂 元 受 高 換 合 計		仕 拂 請 求 書 受 領 濟 額		整年度ノ繰越及一般歳入ノ納付額		残 餘	備 考
	本月分 円	前月迄計 円	本月分 円	前月迄計 円	本月分 円	前月迄計 円		
整年度ノ繰越	0	0	0	0	0	0	0	
某年度歳入ノ納付	0	0	0	0	0	0	0	
某作業所合計	0	0	0	0	0	0	0	

書面之通ニ付證明有之度候也

明治何年何月何日 何金庫 印

仕拂命令官 官 氏 名 宛

證 明 ス

明治何年何月何日

仕拂命令官 官 氏 名 宛

書 面 之 通

= 候 也

明治何年何月何日

金 庫 出 納 役

日 本 銀 行 總 裁 氏 名 印

- 備考
- 第一 本書ハ其年度完結ノ通シテ調製スルモノトス
 - 第二 用紙ハ厚質雜沙引美濃紙若クハ之ニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ四尺一寸餘ノ綴代ヲ設ケ調製スルモノトス

某年度何々(作業所名) 出 庫 額 報告書 「第七號書式甲」 第 何 號
某作業所 明治何年何月分 仕掛請求書受領額報告書

款 項	豫 算		仕 掛 請 求 書 受 領 額		豫 算 残 額	備 考
	本月分	前月分	本月分	前月分		
何々	円	円	円	円	円	[何々0,000]
	0	0	0	0	0	
何々	円	円	円	円	円	
	0	0	0	0	0	
某作業所合計	0	0	0	0	0	

書 面 之 通 明 付 治 何 有 何 之 度 何 候 日 也

明 付 治 何 有 何 之 度 何 候 日

仕掛命令官 何 官 氏 名 宛 庫 庫 額

明 治 何 年 何 月 何 日

明 治 何 年 何 月 何 日

明 治 何 年 何 月 何 日

明 治 何 年 何 月 何 日

明 治 何 年 何 月 何 日

備 考
 第一 作業及鐵道會計規則第二十八條ニヨリ調整スヘキ仕掛請求書受領額報告書ハ此書式甲乙ニ據ル
 第二 本書ハ其年度完結ヲテ通シテ調整スルモノトス
 第三 用紙厚質縹沙引美濃紙若クハ之ニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調整スルモノトス

某年度何々(作業所名稱) 作業歳入 「第六號書式」
明治何年何月分 徴收合計表 第 何 號

科 目	事 由	確 定 額		收 入 額		不 納 賦 損 額		收入未済額	現金拂込仕譯
		本月分	前月分	本月分	前月分	本月分	前月分		
何 項	何 事	円	円	円	円	円	円	円	円
		50,000,000 [300,000]	0	25,000,000 [100,000]	0	150,000	0	24,650,000	前月迄拂込未済0 本月中現金領収額0
何 款	何 事	円	円	円	円	円	円	円	円
		40,000,000	0	30,000,000	0	0	0	10,000,000	前月迄現金領収額0 本月中現金領収額0
合計	明治何年何月何日	89,700,000	0	54,900,000	0	150,000	0	34,650,000	差引何月〜越高 0

備 考 第一 作業及鐵道會計規則第二十七條ニ據リ調整スヘキ徴收合計表ハ此書式ニ據ル

第二 歳入徴收官一人ナルトキハ徴收合計表ヲ要セス

第三 本表ニハ收入官吏ヨリ提出スル金庫月計對照表ヲ添付スルモノトス

第四 年度經過後(翌年度六月三十日以前)ニ於テ調整アルヲ發見シタルトキハ即時本表ニ準シタル訂正報告表ヲ提出スルモノトス

第六 各歳入徴收官トモ單ニ現金拂込済仕譯書ノミヲ送付セシムニ於テハ本表ヲ調整スルニ及ハス明治二十六年當省令第三十二號第五號書式丙ニ準シ單ニ現金拂込済仕譯書ヲ調整シ之ニ金庫月計對照表ヲ添ヘ本表送付ノ順序ニ據リ送付スルモノトス

第七 用紙ハ厚質縹沙引美濃紙若クハ之ニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調整スルモノトス

某年度何々(作業所名稱)作業歳入 第五號書式
明治何年何月分 徴收報告書 第何號

科目	事項	確定額		収入済額		不納款損額		収入未済額	現金拂込仕譯
		本月分	前月迄計	本月分	前月迄計	本月分	前月迄計		
	本月分抽出額何々の事由ニ由ル [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」] [「繰」]	円 10,000,000	円 10,000,000	円 5,000,000	円 5,000,000	円 0	円 0	円 4,860,000	円 0
合計		円 29,900,000	円 29,900,000	円 19,950,000	円 19,950,000	円 0	円 0	円 9,880,000	円 0
	明治何年 何月何日								
	某作業 事務本局 (支部局) 歳入徴收官官氏名								
	備考								

前月迄拂込未済 0
 本月中現金徴収額 0
 本月中現金拂込高 0
 差引翌月へ越高 0

備考
 第一 作業及鐵道會計規則第二十六條ニ據リ調製スヘキ徴收報告書ハ此式ニ據ル
 第二 (削除)
 第三 本書ニハ金庫月計對照表ヲ添付スルモノトス
 第四 (削除)
 第五 金庫へ拂込遲滞セントキハ其事由ヲ記載スヘシ
 第六 年度經過後(翌年度六月三十日以前)ニ於テ誤謬アルヲ發見シタルトキハ即時本書ニ準シテ訂正報告書ヲ提出スルモノトス
 第七 確定額收入額及不納款損額ニ異動ナク現金拂込高ノミ異動アル月ニ於テハ本書ヲ送付スルニ及ハズ明治二十六
 年當省令第三十二號第四號書式乙ニ準シ單ニ現金拂込済仕譯書ヲ調製シ之ニ金庫月計對照表ヲ添へ本書送付ノ順
 序ニ據リ送付スルモノトス
 第八 用紙ハ厚質縹沙引美濃紙若クハ之ニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘入綴代テ明ク調製スルモノトス

「第四號書式乙」

某年度何々(作業所名稱)作業歳出
仕拂豫算更正計算書

仕拂命令官 官氏名 何地金庫

科目	項目	増額		減額	
		円	銭厘	円	銭厘
何	何	1,000,000			500,000
何	何				
	合計	1,000,000		500,000	

明治年月日
 何省大臣氏名
 大藏大臣氏名宛

「第四號書式甲」

某年度何々(作業所名稱)作業歳出
仕拂豫算書

仕拂命令官 官氏名 何地金庫

科目	項目	金額	
		円	銭厘
何	何	10,000,000	0
何	何	15,000,000	0
何	何	32,000,000	0
	合計	57,000,000	0

明治年月日
 何省大臣氏名
 大藏大臣氏名宛

備考
 第一 作業及鐵道會計規則ニ據リ各省大臣
 作業支部局長ヲシテ歳出豫算ノ一部ヲ
 執行セシムル場合ニ於テ調製スヘキ仕
 拂豫算及其更正計算書ハ此書式甲乙ニ
 據リ作業所ノ歳出豫算ヲ本局並支部局
 ニ各區シ各仕拂命令官毎ニ調製シ大藏
 大臣ニ送付スルモノトス
 第二 用紙ハ厚質縹沙引美濃紙若クハ之ニ
 類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ
 綴代テ明ク調製スルモノトス

(「」内及備考並ニ印章ハ孰レモ朱)

- 第二十五號書式 納入告知書
- 第二十四號書式 集合仕拂請求書
- 第二十三號書式 現金前渡仕拂請求書
- 第二十二號書式 仕拂請求書
- 第二十一號書式 現金拂込書
- 第二十號書式 領收證書
- 第十九號書式 現金出納簿
- 第十八號書式 調定總計簿 (削除)
- 第十七號書式 金庫出納役仕拂元受高差引簿
- 第十六號書式 金庫出納役支出簿
- 第十五號書式 歲入徵收官徵收簿
- 第十四號書式 補助簿
- 第十三號書式 原簿
- 第十二號書式 日記簿
- 第十一號書式 主計簿
- 第十號書式 調定總計額報告書
- 第九號書式 調定額報告書
- 第八號書式 支出合計表
- 第七號書式 金庫出納役仕拂請求書受領濟額報告書

(削除)

- 第六號書式 作業事務本局歲入徵收官徵收官徵收合計表
- 第五號書式 歲入徵收官徵收報告書
- 第四號書式 仕拂豫算計算書
- 第三號書式 固定資本價格增減表
- 第二號書式 受拂勘定表
- 第一號書式 歲入歲出豫定計算書

以上三書式ハ末尾ニ在リ

明治二十三年三月二十九日

大藏省令第九號書式

○會計規則第二百一十條第二百一十二條ニ依ル計算書支拂命令領收證及諸帳簿様式

明治二十二年當省令第十一號諸計算書仕拂命令領收證及諸帳簿ノ様式左ノ通改正ス

附則

本令ハ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス
目下現存ノ用紙帳簿ニシテ尙ホ使用シ得ヘキモノハ之ヲ取繕ヒ當分使用スルモ妨ケナシ

- 第一號書式 仕拂豫算計算書
- 第二號書式 領收證
- 第三號書式 現金拂込書領收證書及通知書
- 第四號書式 歲入徵收官徵收報告書
- 第五號書式 歲入事務管理廳徵收總報告書
- 第六號書式 仕拂命令
- 第七號書式 金庫出納役仕拂命令受領濟額報告書
- 第八號書式 繰越計算書
- 第九號書式 國庫日記簿原簿
- 第十號書式 主計簿
- 第十一號書式 歲入徵收官徵收簿
- 第十二號書式 歲入事務管理廳歲入簿
- 第十三號書式 金庫出納役支出簿
- 第十四號書式 出納官吏現金出納簿

改正
 明治三十八年 大藏省令第二十八號
 明治三十五年 大藏省令第六號
 明治三十五年 同第九號
 明治三十三年 同第一〇號
 明治三十二年 同第二二號
 明治三十六年 同第三號
 明治三十三年 同第一〇號
 明治三十三年 同第三三號

年月日		摘要	記丁數	借	貸	借或貸	殘
何	何	何	1	8,000.000	20,000.000	貸	20,000.000 12,000.000
5. 雜部 5.							
4. 某年度歲出							
何	何	何	1		25,000.000	貸	25,000.000
3. 回送							
何	何	何	1	5,000.000		借	5,000.000
2. 某年度歲出							
何	何	何 定額戻入	1	12,000.000	11,000.000		12,000.000 11,000.000

「金庫出納役現金出納原簿」 「第十四號書式丙」

年月日	摘要	記日丁数	借	貸	借或貸	残
何何	某年度歳入外三二二件	1. 1.	46,000,000	25,000,000	借	46,000,000 21,000,000

「金庫出納役現金出納日記簿」

「第十四號書式甲」

原簿丁数	借	貸	原簿丁数	借	貸
1.	46,000,000	25,000,000	1.	46,000,000	25,000,000
2.			2.		
3.			3.		
4.			4.		
5.			5.		
6.			6.		
7.			7.		
8.			8.		
9.			9.		
10.			10.		
11.			11.		
12.			12.		
13.			13.		
14.			14.		
15.			15.		
16.			16.		
17.			17.		
18.			18.		
19.			19.		
20.			20.		
21.			21.		
22.			22.		
23.			23.		
24.			24.		
25.			25.		
26.			26.		
27.			27.		
28.			28.		
29.			29.		
30.			30.		
31.			31.		
32.			32.		
33.			33.		
34.			34.		
35.			35.		
36.			36.		
37.			37.		
38.			38.		
39.			39.		
40.			40.		
41.			41.		
42.			42.		
43.			43.		
44.			44.		
45.			45.		
46.			46.		
47.			47.		
48.			48.		
49.			49.		
50.			50.		
51.			51.		
52.			52.		
53.			53.		
54.			54.		
55.			55.		
56.			56.		
57.			57.		
58.			58.		
59.			59.		
60.			60.		
61.			61.		
62.			62.		
63.			63.		
64.			64.		
65.			65.		
66.			66.		
67.			67.		
68.			68.		
69.			69.		
70.			70.		
71.			71.		
72.			72.		
73.			73.		
74.			74.		
75.			75.		
76.			76.		
77.			77.		
78.			78.		
79.			79.		
80.			80.		
81.			81.		
82.			82.		
83.			83.		
84.			84.		
85.			85.		
86.			86.		
87.			87.		
88.			88.		
89.			89.		
90.			90.		
91.			91.		
92.			92.		
93.			93.		
94.			94.		
95.			95.		
96.			96.		
97.			97.		
98.			98.		
99.			99.		
100.			100.		

「第十四號書式甲」

出納官吏(收入官吏及現金前渡ヲ受タル官吏)現金出納簿

年月日	摘要	受	拂	残
何何	何々金何某ヨリ收入(何々金庫ヨリ受取)	1,100,000		1,500,000
何何	何々金何某ヨリ收入(何々金庫ヨリ受取)	400,000		500,000
	何地何庫へ拂込 (何々金何某へ拂渡)		1,000,000	
	何月分合計	1,500,000	1,000,000	

「第十四號書式」

(出納官吏現金出納簿)

備考

會計規則第一百十八條ノ現金出納簿ハ此書式ニ據ル

歳入徴收官徴收簿 「第十一號書式」
何々(款) 何々(項) 何々(目)

年月日	摘要	調定済額		収入済額		不納缺損額		収入未済額	
		円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
何何	何月分調定	70,000	000					70,000	000
何何	通知書何枚							64,800	000
何何	額何枚			5,200	000			63,300	000
何何	何某外何名何々ノ事由ヨリ缺損			1,500	000	500	000	63,150	000
	何月分合計	70,000	000	6,700	000	150	000		

- 備考
- 第一 會計規則第百十四條ノ徴收簿ハ此書式ニ據ル
 - 第二 調定済額ノ欄ハ總テ收入スヘキ額ノ確定シタルトキ登記ス
 - 第三 収入済額ノ欄ハ金庫及收入官吏ヨリ現金收入済ノ通知ヲ受ケタルトキニ登記ス
 - 第四 調定済額ニ超過シタル誤納アリタルトキハ調定済額トアル下ニ括弧ニテ「及調定外誤納額」ノ七字ヲ加記シ其事由ヲ摘要欄内ニ其金額ヲ調定済額ノ欄内ニ記入スルモノトス
 - 第五 不納缺損額ハ其缺損ナル事ノ確定セシトキ其證憑書類ニ據リ掲クルモノトス
 - 第六 収入未済額ノ欄ハ調定済額ノ内ヨリ収入済額ト不納缺損額トヲ差引タル差額ヲ登記スルモノトス
 - 第七 徴收簿ノ詳細ヲ明ニスル爲メ要スル所ノ補助簿ハ適宜各廳ニ於テ設クルモノトス

歳出主計簿 「第十號書式乙」
何々(款) 何々(項)

年月日	摘要	豫算額		仕拂命令済額	翌年度へ繰越額	豫算残額	
		円	銭			円	銭
何何	何年何月決定	100,000	000			100,000	000
何何	何年何月中命令済			5,000	000	95,000	000
何何	「同上定額戻入」			1,000	000	96,000	000
何何	前年度ヨリ繰越増加決定		5,000			101,000	000
何何	豫備ヨリ補充決定		1,000			102,000	000
何何	何々事由ニヨリ翌年度へ繰越				40,000	62,005	000

金庫出納役支出簿 「第十三號書式」
何廳所管仕拂命令官官氏名何々(款) 何々(項)

年月日	摘要	仕拂豫算額		仕拂命令済額		仕拂豫算残額	
		円	銭	円	銭	円	銭
何何	仕拂豫算額何枚ニテ	6,000	000			60,000	000
何何	「定額戻入」			5,000	000	55,000	000
何何	「仕拂豫算増加額」			1,000	000	53,000	000
何何	「案内仕拂命令取消額」					56,000	000
何何	「更正減額」					56,000	000
	何月分合計	6,000	000	5,000	000		
	「同減額取消及定額戻入合計」			1,000	000		

- 備考
- 第一 會計規則第百十六條ノ支出簿ハ此書式ニ據ル
 - 第二 仕拂命令受領済額ノ欄ニハ案内仕拂命令、集合仕拂命令、送金ニ係ル仕拂命令、集合仕拂命令ノ受領額ヲ掲載スルモノトス
 - 第三 摘要欄内ニ案内仕拂命令取消トアルハ毎月末日仕拂命令官ノ請求ニ依リ其月中ニ仕拂命令ヲ債主ニ交付スルニ至ラサル案内支拂命令ヲ取消シタル場合ヲ示シタルモノトス
 - 第四 年度開始前支出ノ令達ヲ受ケタルモノハ仕拂豫算額ノ欄ニ記入スヘシ
 - 第五 仕拂命令官ヨリ科目訂正ノ請求ヲ受ケタルトキ其更正スヘキ減額ハ式ノ如ク朱書スルモノトス

歳入事務管理廳歳入簿 「第十二號書式」
何々(款) 何々(項) 何々(目)

年月日	摘要	豫算額	歳入				豫算額ト調定済額トノ差						
			調定済額	収入済額	不納缺損額	収入未済額							
			円	銭	円	銭		円	銭				
何何	何年何月決定	100,000	000					100,000	000				
何何	何月分何廳報第何號			70,000	000	6,700	000	150	000	63,150	000	30,000	000

- 備考
- 第一 會計規則第百十五條ノ歳入簿ハ此書式ニ據ル
 - 第二 歳入簿ハ歳入徴收官ノ徴收報告書ニ依リ登記ス
 - 第三 調定済額ニ超過シタル誤納アリタルトキハ調定済額トアル下ニ括弧ニテ「及調定外誤納額」ノ七字ヲ加記シ其事由ヲ摘要欄内ニ其金額ヲ調定済額ノ欄内ニ記入スルモノトス

某年度發行大藏省證券 5.

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	金庫	1.			500,000	00	貸	500,000	00

4. 雜部

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	金庫	1.			20,000	00	貸	20,000	00
		..	8,000	00				12,000	00

某年度歲入 3.

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	金庫	1.	25,000	00	5,000	00	貸	25,000	00

2. 某年度歲出

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸	殘	
			円	銭	円	銭		円	銭
何何	金額戻入	1.	12,000	00	1,000	00	借	12,000	00
		..						11,000	00

歲出主計簿 「第十號書式甲」

何々(款) 何々(項)

年月日	摘要	豫算額	歳入				豫算額ト 調定濟額 トノ差			
			調定濟額	收入濟額	入決損額	收入未濟額				
			円	銭	円	銭		円	銭	円
何何	何年何月決定	100,000	00	0					100,000	00
何何	何年何月中		70,000	00	6,700	00	150,000	63,150	30,000	00
何何	何年何月中		0	0	0	0	3,150	30,000	30,000	00
何何	「同上更正拂」				0		63,150			

備考
 調定濟額 = 超過シタル誤納アリタルトキハ調定濟額トアル下ニ括弧ニテ「及調定外誤納額」ノ七字ヲ加記シ其事由ヲ摘要欄内ニ其金額ヲ調定濟額ノ欄内ニ記入スルモノトス

「第十號書式」
 (主計簿)
 第一考
 第二
 第三
 會計規則第百十三條ノ主計簿ハ此書式ニ據
 リ歳入ト歳出トニ分ツモノトス
 歳入主計簿ハ歳入事務管理廳ノ徵收總報告
 書ニ依テ登記ス
 歳出主計簿ハ歳出納役ノ仕拂命令受領濟
 額報告書ニ依テ登記ス

國庫日記簿「第九號書式甲ノ二」
 「(支出ノ部)」
 明治何年何月何日

原簿丁數	借方科目	金額	
		円	銭厘
2.	某年度歳出		
4.	雜部		
1.	貸方金庫某年度歳出外一件		
	金庫現在高	526,000	000
		546,000	000

「第九號書式」
 (國庫日記原簿)
 備考
 第一 會計規則第百十二條ノ日記原簿ハ此書式ニ據ル
 第二 此帳簿ハ金庫ノ現金出納報告ニ依テ登記ス
 第三 會計規則第百十二條ノ補充簿ノ書式ハ別ニ之ヲ
 定ム

國庫原簿「第九號書式乙」
 金庫 1.

年月日	摘要	日記丁數	借		貸		借或貸		殘	
			円	銭厘	円	銭厘	借	貸	円	銭厘
何何	某年度歳入外三件	1,	546,000	000					546,000	000
	某年度歳出外一件	,,			20,000	000	借	,,	526,000	000

國庫日記簿「第九號書式甲ノ一」
 「(收入ノ部)」
 明治何年何月何日

原簿丁數	貸方科目	金額	
		円	銭厘
3.	某年度歳入		
4.	雜部		
[2.]	「某年度歳出」 「定額戻入」		
5.	某年度發行大藏省證券		
1.	借方金庫某年度歳入外三件		
	前日ヨリ繰越金庫現在高		
		546,000	000

「」内ハ孰レモ朱書

「第六號書式丙ノ二」

備考

- 第一 内譯中ノ債主住所ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫所在地ノ債主ニ仕拂フヘキ分ニハ必要ナシトス
 - 第二 内譯中ノ振替拂金庫ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫以外ニ於テ振替拂ヲ爲スヘキ金庫ヲ記入スルモノトス
- 集合仕拂命令第「何」號金額氏名表
 「某」年度歳出「經常部(臨時部)」
 「何々」(款)「何々」(項)
 一金參千圓也
 内譯

債主何之誰外何人渡

内譯	金額番	號	債主	住所	債主	住所	振替拂金庫名
	1,500,000	一	何	某	何府(縣)	郡市町村番地	
	1,500,000	二	同	同	同	同	

(振替拂ニ係ル内譯書式)

内譯	金額番	號	債主	住所	債主	住所	振替拂金庫名
	1,500,000	一	何	某	何府(縣)	郡市町村番地	何金庫
	1,500,000	二	同	同	同	同	

(海外送金ニ係ル内譯書式)

内譯	金額	債	主	氏	名	送	金	場	所
	1,500,000	何		某	何	國府(縣)	市	町村	番地
	1,500,000	同		同					

明治何年何月何日

何應仕拂命令官

官 氏 名 押

「第六號書式丙ノ一」
集合仕拂命令

明治何年何月何日

第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」
 「何」(款)「何々」(項)集合
 金「參千圓也」

「何之誰外何人」渡
 「何」地「金庫」

在仕拂命令官押印

第「何」號
 何應所管 「何々」(款) 「何々」(項) 集 合
 金「參千圓也」

「何之誰外何人」渡

本行ノ金額此仕拂命令附屬ノ金額氏名表ニ照シ仕拂可有之候也
 明治「何」年「何」月「何」日
 「何」地「金庫」宛
 仕拂命令官「氏名」印

明治「何」年「何」月「何」日「何」日「何」日金庫へ送付
 3,000,000

第六號書式乙

案内仕拂命令

「何年」何月何日

△ 第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」

「何廳所管」「何々(款)」「何々(項)」前渡

金「壹萬圓也」

「何官何之誰」渡

明治「何」年「何」月「何」日

仕拂命令官官氏名圖

「何地金庫宛」

△ 明治「何」年「何」月「何」日金庫へ送付

前渡仕拂命令

「何年」何月何日

△ 第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」

「何廳所管」「何々(款)」「何々(項)」前渡

金「壹萬圓也」

本行ノ金額何官「何之誰」ニ仕拂可有之候也

明治「何」年「何」月「何」日

仕拂命令官官氏名圖

「何地金庫」

△ 「10,000.000」

「何年」何月何日

△ 第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」

「何廳所管」「何々(款)」「何々(項)」前渡

金「壹萬圓也」

「何官何之誰」渡

「何地金庫」

第六號書式甲ノ二

- 第一 會計規則第三十五條ニ據リ仕拂命令ヲ當テタル金庫所在地外ノ債主ニ仕拂ヲ要スルトキ金庫ニ送付スヘキ仕拂命令及集合仕拂命令ハ此書式ニ依リ裏書ヲナスヘキモノトス此場合ニ於テハ案内仕拂命令ノ送付ヲ要セス
- 第二 債主カ仕拂命令ヲ當テタル金庫ノ出納區域外ニアルトキハ債主ニ對シ仕拂ニ最モ便利ナル金庫ヲシテ振替拂ヲ爲サシメ書式ノ通り該金庫名ヲ記載スルモノトス但電信送金ヲ要スルモノニシテ債主居住地カ振替拂ヲ爲スヘキ金庫所在地外ナルトキハ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヨリ直ニ送金セシムルコトヲ得
- 第三 仕拂命令ヲ當テタル金庫ニテ直接仕拂フヘキモノ又ハ其金庫以外ノ金庫ヲシテ振替拂ヲ爲サシムルモノ及海外送金ニ係ルモノ、集合仕拂命令ハ各別ニ調製スルモノトス
- 第四 電信送金ヲ要スルモノハ其旨ヲ仕拂命令裏面ニ記入スルモノトス

裏面

表書ノ金額ハ何府(縣)郡市町村何番地何某へ仕拂ヲ要ス

又ハ

表書ノ金額ハ何府(縣)郡市町村何番地何某へ何地金庫ニ於テ振換拂ヲ要ス

又ハ

表書ノ金額ハ在何國(海外ヲ云フ)何府(縣)郡市町村何番地何某へ送金ヲ要ス

仕 命 官
拂 令 圖

(明治何年何月何日金庫へ送付)

(以下集合仕拂命令ノ記入式)

表書ノ金額ハ金額氏名表ニ記載之通仕拂(又ハ振換拂)ヲ要ス

又ハ

表書ノ金額ハ金額氏名表ニ記載ノ通海外へ送金ヲ要ス

第六號書式甲ノ一
案内任拂命令

明治「何」年「何」月「何」日 第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」 「何廳所管」「何々(款)」「何々(項)」 金「參百圓也」 「何之誰」渡 「何地金庫」	印	仕拂命令官制印 甲第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」 「何廳所管」「何々(款)」「何々(項)」 金「參百圓也」 「何之誰」渡 本行ノ金額此仕拂命令持參人ニ任拂可有之候也 明治「何」年「何」月「何」日 任拂命令官「官氏名」圖 「何地金庫宛」 金「三百圓也」
乙第「何」號「某」年度歳出「經常部(臨時部)」 「何廳所管」「何々(款)」「何々(項)」 金「參百圓也」 「何之誰」渡 明治「何」年「何」月「何」日 任拂命令官「官氏名」圖 「何地金庫宛」 明治「何」年「何」月「何」日金庫へ送付	印	

備考 會計規則第三十三條ノ仕拂命令用紙ハ大藏省ニ於テ調製シ各省ノ請求ニ由リテ配付スルモノトス

某年度歳入經常部(臨時部) 「第五號書式丙」
何廳所管 明治何年何月分 現金拂込濟總仕譯書 第何號

摘要	金額	備考
前月迄拂込未濟	円 錢 厘 0	
本月中現金拂込高	0	
差引翌月へ越高	0	

明治何年何月何日
歳入事務管理廳官氏名圖

- 備考
- 第一 各歳入徴收官トモ單ニ現金拂込濟仕譯書ノミヲ送付セシ月ニ於テハ第五號書式甲ノ報告書中現金拂込濟欄ノ計算ヲ報告スルモノトシ本書式ニ據リ現金拂込濟總仕譯書ヲ調製シ之レニ收入金拂込未濟内譯報告書及金庫月計對照表ヲ添ヘ徴收總報告書送付ノ順序ニ據リ大藏大臣ヘ送付スルモノトス
 - 第二 用紙ハ厚質摺沙引美濃紙若クハ之レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綫代ヲ明ケ調製スルモノトス

某年度歳入經常部(臨時部) 「第五號書式乙」
何廳所管 明治何年何月分 收入金拂込未濟内譯報告書 第何號

廳名	歳入徴收官	年 月	金庫へ拂込未濟額	事由
何	廳官氏名	何年何月	円 錢 厘 500.000	
何	廳官氏名	何年何月	0	
		合 計	500.000	

明治何年何月何日
歳入事務管理廳官氏名圖

- 備考
- 第一 本書ハ徴收總報告書現金拂込濟欄内ニアル差引翌月へ越金額ノ内譯トシテ歳入徴收官毎ニ記載シ徴收總報告書ニ添付スルモノトス
 - 第二 本書年月ノ欄ニハ歳入徴收官徴收報告書表題ノ年月(丙月ノ本書ニハ甲月乙月ノ拂込未濟ヲ掲クルトキハ甲月乙月ト掲クル類)ヲ掲クルモノトス
 - 第三 金庫へ拂込未濟滞スルモノハ其事由ヲモ記載スヘシ
 - 第四 用紙ハ厚質摺沙引美濃紙若クハ之レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綫代ヲ明ケ調製スルモノトス

某年度歳入經常部(臨時部) 「第五號書式中」
何廳所管 明治何年何月分徴收總報告書 第何號

科目	項目	目	事由	調定額		収入額		不納欠損額		収入未済額	現金拂込仕譯
				本月分	前月迄累計	本月分	前月迄累計	本月分	前月迄累計		
何	何	何	何	円	円	円	円	円	円	円	
			本月分徴損額ノ何々ノ事由ニヨル	70,000,000	0	6,700,000	0	150,000	0	63,150,000	0
			何(項)小計	0	0	0	0	0	0	0	0
			何(項)小計	0	0	0	0	0	0	0	0
			合計	70,000,000	0	6,700,000	0	150,000	0	63,150,000	500,000
											差引翌月へ越高
											1,500,000
											合計
											1,500,000
											1,000,000
											500,000

明治何年何月何日
歳入事務管理廳官氏名圖

備考
 一 會計規則第三十一條ニ據リ調製スルニキモ、徴收總報告書ヲ添付スルニテ「及調定外課納額」ノ七字ヲ加記シ其金額ヲ調定額ノ
 本報告ニハ歳入超過シタル誤納ヲ記入スルモ、正レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調製スルモノトス
 二 本報告ニハ歳入超過シタル誤納ヲ記入スルモ、正レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調製スルモノトス
 三 本報告ニハ歳入超過シタル誤納ヲ記入スルモ、正レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調製スルモノトス
 四 本報告ニハ歳入超過シタル誤納ヲ記入スルモ、正レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調製スルモノトス
 五 本報告ニハ歳入超過シタル誤納ヲ記入スルモ、正レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調製スルモノトス

某年度歳入經常部(臨時部) 「第四號書式乙」

何廳所管 明治何年何月分現金拂込済仕譯書 「第何號」

摘要	金額		備考
	円	銭	
前月迄拂込未済	0	0	
本月中現金拂込高	0	0	
差引翌月へ越高	0	0	

明治何年何月何日

何廳(在勸廳)歳入徴收官官氏名圖

備考

- 第一 歳入調定額、収入済額及不納欠損額 = 異動ナク現金拂込高ノミ = 異動アル月 = 於テハ収入報告書ヲ送付スルニ及ハス單 = 本書式ニ據リ現金拂込済仕譯書ヲ調製シ之レニ金庫月計對照表ヲ添ヘ徴收報告書送付ノ順序ニ據リ歳入事務管理廳ヘ送付スルモノトス
- 第二 用紙ハ厚質響沙引美濃紙若クハ之レニ類似ノ料紙ヲ以テ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明ケ調製スルモノトス

○作業及鐵道會計規則第九條決定計算書及一般會計規則第五章

第四款特別會計計算書様式

明治二十四年八月二十六日
乾第四七九三號大藏大臣達

作業及鐵道會計規則第九條歳入歳出決定計算書及一般會計規則第五章第四款特別會計計算書様式別冊ノ通相
定候條右ニ依リ調製御送付可有之段及御通達候也
追テ決定計算明細書ハ豫定計算明細書ニ準シ調製ノ上決定計算書ニ御添付有之度候也

明治何年度何省所管

何々(作業所ノ名稱)作業歳入出決定計算書

何省大臣何

明治何年度何省所管何々(特別會計ノ名稱)歳入歳出決定計算書説明

明治何年度何々(特別會計ノ名稱)歳入歳出決定計算書ニ掲出スル所ノ歳入ノ收入濟額何圓收入未濟額何圓
合計何圓ノ内前年度ヨリ繰越シタル收入未濟額ニシテ本年度ニ於テ收入濟トナリタル金額何圓尙ホ收入未
濟トナリタル金額何圓合計何圓ヲ控除スレハ何圓ニシテ歳出ノ支出濟額何圓支出未濟額何圓合計何圓ノ内
前年度ヨリ繰越シタル支出未濟額ニシテ本年度ニ於テ支出濟トナリタル金額何圓尙ホ支出未濟トナリタル
金額何圓合計何圓ヲ控除スレハ何圓ナリ故ニ歳入ノ歳出ニ超過(歳出ノ歳入ニ超過)スルコト何圓ナリト雖
モ翌年度ニ繰越シタル物品價格ノ前年度ヨリ繰越シタル物品價格ヨリ減少(増加)スルコト何圓ナルヲ以テ
差引(合セテ)何圓ノ剩餘(不足)ヲ生ス該剩餘金ハ何々益金トシテ明治何年度一般ノ歳入ニ納入シ(該不足
金ハ運轉資本ノ缺額トシテ翌年度ニ繰越シ)本年度ノ決算ヲ結了ス
本年度決定ノ益金何圓ヲ以テ其ノ豫定ノ益金何圓ニ比スレハ何圓ヲ増加(減少)セリ云々

明治何年四月一日ニ於ケル固定資本ノ價格ハ何圓ニシテ運輸資本ハ何圓ナリ故ニ兩資本ノ合計額何圓ヲ以
テ本年度益金何圓ニ比スレハ何割何分餘ノ純益ヲ生シタル計算ナリ

本年度ニ於テ固定資本ニ屬スル物件ノ維持修理及補充ノ爲メ支出セシ金額ハ何圓ナリ

(作業普通ノ例ヲ示スモノナリ其他ニ於テハ之ニ準シ適宜掲記スヘシ)

歳入ノ部

明治何年度何々(特別會計ノ名稱)歳入ノ

收入濟額合計ハ

ニシテ之ヲ

豫定額合計

ニ比較スレハ

ヲ増加(減少)ス

第一款 何々

本年度收入濟額ハ

ニシテ之ヲ

本年度豫定額

ニ比較スレハ

ヲ増加(減少)ス今各項ニ就キ本年度收入濟額ヲ以テ其豫定額ニ比較シ増減ヲ生シタル事由ヲ左ニ掲記ス

第一項何々ハ云々何圓云々何圓合計何圓ヲ増加スト雖モ云々何圓云々不納缺損ニ歸セシモノアリシカ爲

メ何圓收入未済ノ金額ヲ翌年度ニ繰越シタルモノアリシカ爲メ何圓合計何圓ヲ減少セシニ由リ
差引

ヲ増加セリ
第二項何々ハ云々

減少セリ

歳出ノ部

明治何年度何々(特別會計ノ名稱)歳出ノ
豫定額合計ハ

ニシテ

豫定現額合計ハ

ナリ故ニ豫定現額ノ豫定額ニ比シ増加スルコト

ナリ此増加額ハ前年度ヨリ繰越シタル金額ナリ今茲ニ款項ニ就キ豫備金ヲ以テ補充シタル事由ヲ左ニ掲記ス

第何款 云々

第何項 何々ニ於テ云々第一豫備金ヨリ

云々豫備費ヨリ

合計

第何項何々ニ於テ云々第一豫備金ヨリ

ヲ補充増加セリ

明治何年度何々(特別合計ノ名稱)歳出ノ

支出済額合計ハ

ニシテ之ヲ

豫定現額合計

ニ比較スレハ

ヲ減少ス此減少額ノ内

ハ明治何年法律(勅令)第何號何々第何條ニ據リ翌年度ニ繰越シタル金額ニシテ

ハ全ク不用トナリシ金額ナリ

何省所管何々(特別會計ノ名稱)

歳入

科 目	豫定額(確定額)	收入済額	不納缺損額	收入未済額	豫定額比シ収入済額ノ差	備考
第一項 何々						
第二項 何々						
第二項 何々						
第二項 何々						
歳入合計						(豫算決定後科目ヲ新設シタルモノ等ノ事由ヲ掲記ス)
該收入金アリシニ依リ本目ヲ設置ス						
云々ニヨリ本項目ヲ設置ス						

科目	歳出	前年度繰越額	豫備金支出額	流用増減額	豫定現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	備考
第一項何々									(項ニ於テハ不用額ヲ生シタル事由ヲ記載スヘシ) 不用額ヲ生セシハ云々ニ由ル
第二項何々									流用増減額ハ第何目ヨリ何目ニ由ル
第三項何々									流用増減額ハ第何目ヨリ何目ニ由ル
第四項何々									流用増減額ハ第何目ヨリ何目ニ由ル
合計									流用増減額ハ第何目ヨリ何目ニ由ル

備考
豫備金ヨリ支出シタル金額ハ豫備金ノ科目ニ於テハ豫備金支出額區ヘ朱書スヘシ

明治何年度何省所管
何々(作業所ノ名稱) 作業特別會計計算書

明治何年度何々(作業所ノ名稱) 作業所收入支出計算書

科目	目	金額	科目	目	金額
第一項何々	第一項何々		第一項何々	第一項何々	
第二項何々	第二項何々		第二項何々	第二項何々	
合計	合計		合計	合計	
收入未済額	收入未済額		支出未済額	支出未済額	
繰越物品ノ價格	繰越物品ノ價格		繰越物品ノ價格	繰越物品ノ價格	
差引收入剩餘(不足)					

備考
收入剩餘金ハ何々益金トシテ明治何年度一般ノ歳入ニ納附ス(收入剩餘金ハ運轉資本缺額金何圓何錢ノ内ヘ補填ス) 收入不足ハ運轉資本ノ缺額トシ翌年度へ繰越シ同年度以降ノ剩餘金ヲ以テ補填スヘキモノナリ

自明治何年度 五箇年間何々(作業所ノ名稱) 作業資金増減表

名稱	何年度					比較ノ差
	何年度	何年度	何年度	何年度	何年度	
運轉資本						増減
固定資本						増減
資本合計						増減

自明治何年度 五箇年間何々(作業所ノ名稱) 作業損益比較表

年	何年度					資本合計ニ對シ損益歩合
	何年度	何年度	何年度	何年度	何年度	
益						
損						
固定資本						
運轉資本						
資本合計						

○出納官吏現金出納簿記帳心得

明治三十五年三月二十四日
大藏省訓令第一〇號

出納官吏現金出納簿ハ一人一冊トシ其職務主管應ノ如何ヲ問ハス總テ混記スヘキ筈ノ處其記帳方往々區々ニ相成居候向不尠不都合ニ付自今左ノ通心得ヘシ

現金出納簿ハ一人一冊トシ其職務主管應ノ如何ヲ問ハス總テ之ヲ混記スヘシ

現金出納簿ノ外別ニ補助簿ヲ設ケ其職務並ニ主管應ヲ區別整理スルハ妨ナシ

保管金收入金ヲ兼取扱フ出納官吏ニシテ保管金ヲ歳入ニ納付スル場合ニ於テハ特ニ收入トシテ受入ノ

記帳ヲ爲サス直チニ金庫ヘ拂込メ記帳ヲ爲スヘシ

現金ハ其所屬年度ノ如何ニ拘ラス現ニ其取扱ヲ爲シタル年度ノ帳簿ニ登記スヘシ

金種類ノ同一ナル數廉ノ受拂ハ毎日取纏メ記帳スルモ妨ケナシ

誤記訂正ハ必ス朱書スヘシ

記帳例左ノ如シ

年月日	摘要	受	拂	残
明治六年六月十八日	前年度ヨリ繰越受入高	50,000		
明治六年六月二十一日	何々金何某ヨリ收入	30,000		80,000
明治六年六月二十三日	何地金庫ヘ拂込		70,000	100,000
明治六年六月二十五日	何々金何某ヨリ受入	30,000		30,000
明治六年六月二十七日	何々金何某ヘ拂渡		30,000	0
明治六年六月二十九日	出納官吏何某ヘ引繼高	30,000		60,000
明治六年六月三十日	六月分小計	130,000	130,000	
明治六年七月一日	合 計	130,000	130,000	
明治六年七月二日	前任出納官吏何某ヨリ引繼受高	30,000		80,000
明治六年七月三日	何々金何某ヨリ收入	50,000		130,000
明治六年七月四日	何地金庫ヘ拂込		80,000	50,000
明治六年七月五日	何々金何某ヨリ受入	10,000		60,000
明治六年七月六日	六月分追次締高	90,000	80,000	10,000
明治六年七月七日	追 次 締 高	90,000	80,000	

年月日	摘要	受	拂	残
明治四年四月一日	前年度ヨリ繰越受入高	50,000		
明治四年四月三日	何々金何某ヨリ收入	30,000		80,000
明治四年四月五日	何地金庫ヘ拂込		70,000	100,000
明治四年四月七日	何々金何某ヨリ受入	30,000		30,000
明治四年四月九日	何々金何某ヘ拂渡		30,000	0
明治四年四月十一日	出納官吏何某ヘ引繼高	30,000		60,000
明治四年四月十三日	四月分小計	130,000	130,000	
明治四年四月十五日	合 計	130,000	130,000	
明治四年四月十七日	前任出納官吏何某ヨリ引繼受高	30,000		80,000
明治四年四月十九日	何々金何某ヨリ收入	50,000		130,000
明治四年四月二十一日	何地金庫ヘ拂込		80,000	50,000
明治四年四月二十三日	何々金何某ヨリ受入	10,000		60,000
明治四年四月二十五日	六月分追次締高	90,000	80,000	10,000
明治四年四月二十七日	追 次 締 高	90,000	80,000	

備考

(明治三十五年五月十日)
(鐵計出發第四九二號)

本年三月中大藏省訓令第十號現金出納簿記帳書式中第六項誤記訂正ハ必ス朱書ス可シトアルハ單ニ増減ノ差額ヲ朱書スハ追記スルニアラスシ
テ誤記ノ分全部朱書同時ニ正當ノ金額黒書整理ス可キ義ニ有之候條爲念此段通達ス

○分任收入官吏及出納員事務取扱手續

分任收入官吏ノ部

- 一 出納員ヨリ現金拂込ヲ受ケタルトキハ拂込書ニ接續スル領收證ニ記名捺印ノ上同員ニ交付シ現金出納簿及出納内譯簿摘要中出納員某ヨリ領收拂込書第何號トシ爰ニ記載スヘシ
- 二 出納員ヨリ當日ノ收入悉皆領收ヲ終リタルトキハ其拂込書ニ基キ運輸收入報告書ヲ調製スヘシ
- 三 拂込書ハ出納員毎ニ番號順ニ綴込置キ一ヶ月分ノ表紙ヲ(何月何日分)附シ尙其上ニ出納員總合計表紙ヲ(何年何月分)附シ運輸收入報告書ノ合金ト對照之上保存スヘシ
- 四 出納員ニ移牒シタル更正通知書ノ返付ヲ受ケタルトキハ取調ノ上主任收入官吏ヲ經由歲入徵收官ニ返付スヘシ

出納員ノ部

- 一 (消滅)
- 二 (消滅)
- 三 分任收入官吏ノ領收證ハ番號順ニ綴込置キ一ヶ月分ノ表紙ヲ(何年何月分)附シ(中畧)保存シ一ヶ年度ヲ終ル毎ニ尙合計ノ表紙ヲ(何年度)附シ置クヘシ
- 四 不足金ノ更正通知書ヲ分任收入官吏ヨリ移牒サレタルトキハ直ニ取調ノ上追徵又ハ辨納(前任出納員ノ辨納追徵)シ更正通知書ハ拂込書ニ添付スヘシ
但更正ノ事由ナシト認ムルモノハ附箋ヲ以テ其事由ヲ詳悉シ分任收入官吏ニ返付スヘシ

○現金領收證書又ハ派出繰替拂計算書綴合簿ヲ以テ現金出納簿

ニ代用ノ件

明治四十年五月一日
達第三〇號

明治四十年度以降出納員ハ所屬現金出納官吏ヨリ交付ヲ受ケタル現金領收證書若クハ派出繰替拂計算書綴合簿ヲ以テ現金出納簿ニ代用スヘシ

○分任收入官吏ニシテ分任仕拂官吏ヲ兼ルモノ、現金出納簿及

出納内譯簿記入例

明治三十一年四月二十九日
鐵計乙第八九七號計理部長通達

來ル五月ヨリ各驛ニ分任仕拂官吏ヲ置カレ候ニ付分任收入官吏ニシテ同官吏ノ職ヲ兼ルモノ、現金出納簿及出納内譯簿ノ記入例別紙ノ通御承知有之度此段及通達候也

現金出納簿

年月日	摘要	受		拂		残
		円	銭	円	銭	
						500.00
五	(中略)					
	前日収入ノ内	6,000	000	5,500	000	
	客車収入			300	000	
	貨車収入			200	000	
	運雜	400	000			
	仕拂元受金主任仕拂官吏ヨリ領收	600	000			
	何々金(乗客賃金)何某外何名へ拂渡仕拂	500	000			
	要求書何號			100	000	
	(中略)					
	五月分合計	456	000	501	000	455.00
	果計	6,456	000	6,001	000	

(出納内譯簿ノ内前渡金ノ口座)

鐵道作業費

年月日	摘要	受		拂		残
		円	銭	円	銭	
五	仕拂元受金主任仕拂官吏ヨリ領收	50	000			
	何々金(乗客賃金)何某外何名へ拂渡			100	000	49.00
	仕拂要求書何號					
	(中略)					
	五月分合計	50	000	100	000	

(出納内譯簿ノ内收入金ノ口座)

鐵道作業收入

年月日	摘要	受		拂		残
		円	銭	円	銭	
三十一	本年四月中領收及何金庫へ拂込高	6,000	000	5,500	000	500.00
五	前日収入ノ内			300	000	
	客車収入			200	000	
	貨車収入					
	運雜	400	000			
	仕拂元受金主任仕拂官吏ヨリ領收	600	000			
	何々金(乗客賃金)何某外何名へ拂渡					
	要求書何號			100	000	
	(中略)					
	五月分合計	406	000	500	000	400.00
	果計	6,406	000	6,000	000	

保管物取扱規程ニ依リ其保管ニ屬スル現金ニ送附書ヲ添ヘ金庫へ寄託セシトキ出納簿へ記入ノ件

出納官吏ニ於テ明治二十六年大藏省令第二十號保管物取扱規程ニ依リ其保管ニ屬スル現金ニ送附書ヲ添ヘ金庫へ寄託セシトキハ出納官吏現金出納簿中拂ノ欄ニ其金額ヲ登記スル儀ト心得ヘシ

官吏遺族扶助法ニ係ル仕拂命令仕拂請求書及金額氏名表書式

本年勅令百二十五號ニ據リ官吏遺族扶助法第二條ノ納金收入規則制定ニ付文官判任以上ノ者俸給支給ニ係ル仕拂命令仕拂請求書及金額氏名表仕拂命令官ヨリ交付スル通知書式左ノ通相定ム

備考

第一 仕拂命令官ニ於テ俸給ノ仕拂ヲ爲スニ當リ其仕拂命令若クハ仕拂請求書ノ金額ノ内譯額ヲ二項ニ分チ一ハ現金支給高一ハ國庫納金高(即チ俸給百分ノ一)ト爲シ式ノ如ク列記シテ仕拂命令若クハ仕拂請求書ヲ發スルモノトス

第二 仕拂命令官ニ於テ前項ノ仕拂命令若クハ仕拂請求書ヲ發シタルトキハ同時ニ該仕拂命令若クハ仕拂請求書ニ記載セル國庫納金高年度主管廳番號債主ノ氏名等ヲ仕拂命令若クハ仕拂請求書一葉毎ニ歳入徴收官へ報告ヲ爲スモノトス

第三 (削除)

第四 集合仕拂命令集合仕拂請求書ノ内受取人總代へ交付スヘキ分又ハ各廳ニ於テ官吏申合ノ上其一人ヲ總代人トシ之ニ仕拂ノ爲メ仕拂命令仕拂請求書ヲ發シ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ニハ「何某」トアル傍ラニ肩書ニテ何廳勤務何ノ誰外何人總代人ト記入スルモノトス

第五 毎年度三月三十一日ヲ過キ發スル其年度所屬ノ仕拂命令若クハ仕拂請求書ニハ歳入徴收官官氏名ノ次へ「某年度歳入」ト記入スヘシ此某年度トハ仕拂命令若クハ仕拂請求書ヲ發スル日ノ屬スル年度ヲ

云フ此場合ニ於テハ第二項ニ依リ報告スル年度ハ歳入ノ屬スル年度ヲ意味スルモノトス

第六 金額氏名表内譯中ノ債主住所ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫所在地ノ債主ニ仕拂フヘキ分ニハ必要ナシトス

第七 金額氏名表内譯中ノ振替拂金庫ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫以外ニ於テ振替拂ラナスヘキ金庫名ヲ記入スルモノトス

第八 金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スル分ノ通知書ニハ書式ノ通り裏書ヲナシ債主ニ送附スルモノトス

仕拂命令ヲ當テタル金庫外ノ金庫ヲシテ振替拂ヲ爲サシムル分ノ通知書ニハ仕拂金庫ノ欄ニ振替拂金庫名ヲ記入スルモノトス

備考 (内及印章ハ執モ朱)

仕拂請求書ナルトキハ仕拂命令持參人云々トアルヲ仕拂請求書持參人云々ト記シ又仕拂請求書及集合仕拂請求書ニハ作業及鐵道會計ニ於テハ歳出經常部(臨時部)トアルヲ「作業(鐵道)會計部歳出」ト記シ學校及圖書館會計ニ於テハ歳出經常部ノ上ニ「學校及圖書館會計部」ノ九字ヲ加記スルモノトス

○官吏出納共計書ニ於テハ仕拂命令ノ發行ノ日付ハ發行ノ日トシテ記スルモノトス
○出納官吏ニ於テハ西曆二十六年六月一日以前ノ發行ノ日付ハ舊曆ノ日付トシテ記スルモノトス
○出納官吏ニ於テハ西曆二十六年六月一日以後ノ發行ノ日付ハ舊曆ノ日付トシテ記スルモノトス

仕 拂 命 令

甲第「何」號 「某」年度 歳出 「經常部(臨時部)」
「何處所管」 「何々(款)」 何々(項)」

「金五拾圓也」 現金支給高
内金「四拾九圓五拾錢也」 國庫納金引去高

「又ハ」 「何之誰」 渡

「(何之誰外何人代人何之誰)」

本行ノ金額此仕拂命令持參人ニ仕拂可有之候也

明治「何」年「何」月「何」日

仕拂命令官「官」氏名「團」

「何」地「金庫」宛」

「某」省所管「何處」歳入徴收官「官」氏名「名」

「50,00」

仕拂命令官御印

案 内 仕 拂 命 令

乙第「何」號 「某」年度 歳出 「經常部(臨時部)」
「何處所管」 「何々(款)」 何々(項)」

「金五拾圓也」 現金支給高
内金「四拾九圓五拾錢也」 國庫納金引去高

「又ハ」 「何之誰」 渡

「(何之誰外何人代人何之誰)」

明治「何」年「何」月「何」日

仕拂命令官「官」氏名「團」

「何」地「金庫」宛」

「某」省所管「何處」歳入徴收官「官」氏名「名」

明治「何」年「何」月「何」日
「金庫」へ送付

集合仕拂命令

第「何」號	「某」年度 歳出	「經常部(臨時部)」
「何廳所管」	「何々(款)	何々(項)」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 金「百圓也」 内金「九拾九圓也」 内金「壹圓也」 </div>		
現金支給高 國庫納金引去高		
「何之誰外何人」 渡		
「又ハ」		
「(何之誰外何人代人 何之誰外何人)」		
本行ノ金額此仕拂命令附屬ノ金額氏名表ニ照シ仕拂可有之候也		
明治「何」年「何」月「何」日		
仕拂命令官「官氏名」		
「何 地 金 庫 宛」		
「某」省所管「何廳」 歳入徴收官「官氏名」	明治「何」年「何」月「何」日 「何」日金庫ニ送付	「100,000」

明治「何」年「何」月「何」日	第「何」號	「某」年度 歳出	「經常部(臨時部)」
	「何廳所管」	「何々(款)	何々(項)」
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 金「五拾圓也」 内金「四拾九圓五拾錢也」 内金「五拾錢也」 </div>			
現金支給高 國庫納金引去高			
「何 之 誰」 渡			
「又ハ」			
「(何之誰外何人代人何之誰)」			
「(何 地 金 庫)」			
「某」省所管「何廳」歳入徴收官 「官 氏 名」			

式入記證收領 書 知 通

前記ノ金額領收候也	「何 某」 殿	明治「何」年「何」月「何」日	「何」廳仕拂命令官
受取人	官 氏 名	「何」廳仕拂命令官	
受取人	「何」廳仕拂命令官		
右金額ニ對スル仕拂命令(仕拂請求書)本日發行濟ニ付前記金庫ヨリ現金ヲ受取ルヘシ	「一 金 參 拾 圓 也」 内金「參 拾 九 圓 七 拾 錢」 内金「參 拾 錢 也」	「一 金 參 拾 圓 也」 内金「參 拾 九 圓 七 拾 錢」 内金「參 拾 錢 也」	「一 金 參 拾 圓 也」 内金「參 拾 九 圓 七 拾 錢」 内金「參 拾 錢 也」
第「何」號(金額氏名表第何號)仕拂命令集合仕拂請求書ノ場合ニ限ル	「一 金 參 拾 圓 也」 内金「參 拾 九 圓 七 拾 錢」 内金「參 拾 錢 也」	「一 金 參 拾 圓 也」 内金「參 拾 九 圓 七 拾 錢」 内金「參 拾 錢 也」	「一 金 參 拾 圓 也」 内金「參 拾 九 圓 七 拾 錢」 内金「參 拾 錢 也」
受取人	「何」廳仕拂命令官		
金庫	「何 地 金 庫」		

用紙寸法 縱四寸五分 横五寸五分

明治「何」年「何」月「何」日	第「何」號	「某」年度 歳出	「經常部(臨時部)」
	「何廳所管」	「何々(款)何々(項)」	集合
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 金「百圓也」 内金「九拾九圓也」 内金「壹圓也」 </div>			
現金支給高 國庫納金引去高			
「何之誰外何人」 渡			
「又ハ」			
「(何之誰外何人代人何之誰外何人)」			
「(何 地 金 庫)」			
「何」省所管「何廳」歳入徴收官 「官 氏 名」			

仕拂命令官顯印

一 受取人ニ於テ金庫ニ就キ現金ヲ受取度望ミノモノハ此通知書ヲ以テ仕拂金庫ニ於テ現金ヲ領收スヘシ若シ自己ノ住居地迄送金ヲ要スルモノハ其旨仕拂金庫ヘ請求スヘシ

集合仕拂命令(集合仕拂請求書)第何號金額氏名表

某年度歲出經常部(臨時部)
何々款 何々項
一金 百圓也

何應勤務

内
金九拾九圓也
金壹圓也

何ノ誰外何人俸給高
現金支給高
國庫納金引去高

俸給	高	現金支給高	國庫納金引去高	番號	債主氏名	債主	住	所
五〇〇〇〇	〇	四九五〇〇	〇	一	何ノ誰	何府(縣)	郡市町村番地	振替拂金庫名
參〇〇〇〇	〇	貳九七〇〇	〇	二	何ノ誰	何府(縣)	郡市町村番地	何金庫
貳〇〇〇〇	〇	壹九八〇〇	〇	三	何ノ誰	何府(縣)	郡市町村番地	何金庫

(振替拂ニ係ル内譯書式)

俸給	高	現金支給高	國庫納金引去高	番號	債主氏名	債主	住	所
五〇〇〇〇	〇	四九五〇〇	〇	一	何ノ誰	何府(縣)	郡市町村番地	振替拂金庫名
參〇〇〇〇	〇	貳九七〇〇	〇	二	何ノ誰	何府(縣)	郡市町村番地	何金庫
貳〇〇〇〇	〇	壹九八〇〇	〇	三	何ノ誰	何府(縣)	郡市町村番地	何金庫

海外送金ニ係ル内譯書式

俸給	高	現金支給高	國庫納金引去高	債主氏名	送金	場所
五〇〇〇〇	〇	四九五〇〇	〇	何ノ誰	何國府(縣)	郡市町村番地
參〇〇〇〇	〇	貳九七〇〇	〇	何ノ誰	何國府(縣)	郡市町村番地
貳〇〇〇〇	〇	壹九八〇〇	〇	何ノ誰	何國府(縣)	郡市町村番地

明治「何」年「何」月「何」日

何應仕拂命令官

官 氏 名

○數職ヲ兼ル出納官吏ノ現金出納簿記入方ノ件明治二十五年二月一日 乾第三四二號大藏大臣通知

出納官吏現金出納簿之義從來一人ニシテ數職ヲ兼ネタルモノハ各職務(收入、現金前渡、)並各主管應毎ニ各別ニ調製候事ニ致置キ候處來二十五年度ヨリ右區別方相廢シ一人一冊ヲ備ヘ其職務主管應ノ如何ヲ問ハス總テ之ニ記入候事ニ改定可致候條右様御了承御所管各出納官吏ヘ其旨御訓示可有之此段及御通知候也
追テ現金出納簿之外特ニ補助簿ヲ設ケ其職務並主管應ヲ區別整理候ハ無論無差支筋ニ有之候爲念此段申添候也

(備考)

遞信省照會 (明治二十五年三月十七日)

客月乾第三四二號ヲ以テ出納官吏現金出納簿ハ來ル二十五年度ヨリ一人一冊トシテ別ニ補助簿ヲ設ケル義ハ差支無之旨御通知之處當省地方各部局出納官吏ノ如キハ何レモ數職ヲ兼ネタルモノニ候ヘハ整理上各職毎ニ補助簿ヲ設ケサルヲ得ス故ニ從前ヨリ一層手數ニ有之候就テハ便宜一冊ノ帳簿ニシテ初メニ統括ノ座ヲ設ケ以下各職務毎ニ口座ヲ煩置シ記入整理爲致度

大藏省回答 (明治二十五年三月二十六日)

出納官吏現金出納簿之件右ハ單ニ現金出納簿ト補助簿トヲ併冊シタルマテニテ初頭ヲ出納簿之部トシ順次區別ヲ明瞭ニシ各職毎ニ補助簿トシテ御記帳相成ル義ナレハ差支無之義ト存候

○引出切符發行後未領收其他ノ場合現金出納簿記入方ノ件

明治二十六年九月六日
乙第九六一號鐵道廳事務官照會
現金前渡ヲ受ケタル官吏正當受取人姓名ハ仕拂フヘキ金額ヲ合計シ一葉ノ引出切符ヲ發行之ヲ以テ現金出納簿ノ拂ニ立テ金庫ヨリハ現金領收濟ノ處右數名受取人ノ内一名或事故有之現金領收方ヲ申出テサル節及誤拂過渡トナリタル金額又ハ概算渡精算過剩金ノ返納ニシテ再ヒ金庫ヘ保管預ケト爲シタル場合ニハ現金出納簿ノ欄ヲ合計シ而シテ該金額及事由ヲ朱記右合計ノ内ヨリ控除シ可然哉將又金庫ニ於テハ右金額何レモ元受トナルヲ以テ月計表對照ノ節ハ其金額及事由ヲ記載シタル付箋ヲ貼附證明可然儀ニ候哉記帳上一定ノ書式無之ニ付及御問合候條差掛タル儀モ有之候間折返シ御回答ヲ煩度候也

大藏省主計局長回答 (明治二十六年九月十四日)

右ハ受ノ欄ニ記入シ朱ヲ以テ控除セサル方ト存候此段及御回答候也

追テ本文御問合書ニ依レハ出納官吏自ラ金庫ヨリ現金ヲ引出ス爲メ引出切符ヲ發行セシトキ現金出納簿ノ拂ニ記入セシモノノ如ク相見ヘ候得共出納簿ノ拂ニ立ルハ債主ニ引出切符又ハ現金ヲ交附セシトキニ限ル儀ニ有之候爲念此段申添候也

○現金出納簿ヘ國庫納金引去額記帳方ノ件

明治三十二年十二月二十二日
鐵計庶務第六二三號ノ二計理部長通達

收入仕拂兩官吏兼職ノ現金出納簿中國庫納金引去額記帳方ハ區々ニ相成居候哉ノ懸念モ有之候處自今俸給ノ仕拂ハ現金支給高則チ債主ヘ交附シタル高及國庫納金ハ收入官吏ヨリ金庫ヘ拂込ヲ以テ拂ニ記帳シ別ニ收入仕拂兩官吏受授ノ記帳ハ要セサル義ト御承知相成可然此段通達候也
但收入仕拂兩官吏受授ノ記帳ハ要セサルモ收入官吏ヨリ成規ノ領收證ヲ發行シ現金出納簿ニハ受拂ヲ記帳シ現金出納ハ證明スル義ト御承知可相成爲念申添候也

○雜部金月計對照表證明方ノ件

明治二十二年十二月二十一日
大藏省訓令第七四號

明治二十六年大藏省訓令第三十九號金庫出納事務規程ニ依リ金庫ヨリ雜部金月計對照表ニ證憑書ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ之ヲ調査シ相違アルトキハ直ニ其事由ヲ付シテ返付シ相違ナキトキハ式ノ如ク證明シ三日以内ニ金庫ヘ返付スヘシ

○歲出金月計對照表及歲出仕拂未濟繰越金支出月計對照表取扱

方ノ件

明治三十二年五月
大藏省訓令第四一號

明治二十六年大藏省訓令第三十九號第五十三號及第五十四號各會計金庫出納事務規程ニ依リ送付スル所ノ三十二年度所屬以降ニ係ル歲出金月計對照表(特別會計ニ係ルモ)及歲出仕拂未濟繰越金支出月計對照表末項ニ本月分送金額及本月分送金到達額ヲ掲記(歲出仕拂未濟繰越金支出月)シアルモノハ其送金額ヲ調査シ到達額ハ添付シアル受取人ノ領收證書ニ對照シ之レカ證明ヲナシタル上金庫ヘ返付スヘシ
但本年四月分ニシテ本文ノ手續ヲ經サルモノハ五月分ニ併算スルモノトス

○歲出仕拂未濟繰越金月計對照表記入方ノ件

明治二十四年四月二十八日
大藏省訓令第四〇號

毎年四月分歲出仕拂未濟繰越金月計對照表繰越額ノ欄ニ於テ前月ノ差引未拂額ヲ掲載ス可シ

○甲年度ニ於テ乙年度開始前ニ支出シタル歲出金其他ノ月計對

照表調製方ノ件

明治二十四年五月十四日
大藏省訓令第四七號

左ニ列記スル歲出金月計對照表ハ本年大藏省訓令第三十四號附屬ノ書式ニ準據シ調製スヘシ

- 一 甲年度ニ於テ乙年度開始前ニ支出シタル歲出金ニ係ル乙年度四月以降月計對照表
- 一 甲年度中ニ於テ乙年度所屬ノ資本持越額ニ内繰越ヲ爲シタル作業及鐵道歲出金ニ係ル乙年度四月以降月計對照表
- 一 甲年度三月中ニ於テ乙年度所屬ノ資本持越額ヘ内繰越ヲ爲シタル作業及鐵道歲出金ニ係ル甲年度三月分月計對照表

○運轉資本ニ屬スル現金翌年度へ繰越方ノ件
明治二十四年三月十八日乾第一二七八號
 大藏大臣ヨリ内務大臣へ通達

作業及鐵道會計ノ運轉資本ニ屬スル現金ハ作業會計主務官ヲ經金庫へ翌年度繰越ノ請求ヲ爲シ速カニ別紙書式ニ據リ計算書ヲ作り右金額貴官ヨリ御報告相成度此段及御通達候也
 追テ便宜ノ爲メ三月中ニ於テ内繰越ヲ金庫ニ御請求相成差支無之候

何々(作業所名稱)作業
 運轉資本ニ屬スル計金某年度へ繰越計算報告書

金庫	繰越貯蓄額		繰越請求額		合計	事由
	何々	何々	何々	何々		
金庫計	0	0	10,000,000	5,000,000	15,000,000	持越高(持越高内)何月何日任拂命令官ヨリ金庫へ請求 何月何日
金庫計	0	0	10,000,000	5,000,000	15,000,000	持越高ノ内何月何日任拂命令官ヨリ金庫へ請求 何月何日
金庫計	0	0	2,000,000	1,000,000	3,000,000	持越高悉皆繰越費(最終ノ例)
金庫計	0	0	10,000,000	5,000,000	15,000,000	
金庫計	0	0	12,000,000	6,000,000	18,000,000	

明治年月日
 何省大臣氏名圖

○決算明細書様式
明治四十年六月六日
 達第六九號

當應會計事務取扱細則第六十條ニ依ル決算明細書ノ様式左ノ通定ム

資本勘定ノ分
 何年度(款)何々(項)何々決算明細書

科目	本年度分		前年度未整算ノ分		計
	円	銭厘	円	銭厘	
(目)何々	0	0	0	0	0
(節)何々	0	0	0	0	0
(節)何々	0	0	0	0	0
(節)何々	0	0	0	0	0
(節)何々	0	0	0	0	0
未整算ノ分	0	0	0	0	0
同	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0

年 月 日
 部長
 計理部長宛

収益勘定及用品資金ノ分
 何年度(款)何々(項)何々決算明細書

科目	何々		計
	円	銭厘	
(目)何々	0	0	0
(節)何々	0	0	0
(節)何々	0	0	0
(節)何々	0	0	0
合計	0	0	0

年 月 日
 部長
 計理部長宛

○繰替拂日計表調製並回金ヲ受ケタルトキ記帳方等ノ件

明治四十年六月五日 公報注意

- 一 繰替拂日計表ハ分任出納官吏ニ係ル仕拂憑書類到達ノ上其仕拂日ニ於ケル自己取扱ノ分ト併算調製スルコト
- 二 繰替拂日計表ノ繰替拂高ノ欄ニハ實際ノ仕拂高ヲ記入シ勘定欄ノ更正及戻入ノ金高ハ別ニ其上ニ記入スルコト

摘要	金額		備	考
	可算	可算		
繰替拂高	10,000,000	5,000,000		
戻入	30,000			
勘定間ノ更正		15,000,000		
合計	10,030,000	5,000,000		

- 三 繰替拂月計表ニハ勘定間ノ更正及戻入ヲ仕拂高ヨリ差引シタル高ヲ記載スルコト
- 四 回金ヲ受ケタル出納官吏ハ回金ヲ爲シタル出納官吏ノ勘定別通知ニヨリ現金出納簿中其ノ勘定ノ口座ニ受入レヲナス事
- 五 戻入ハ現金出納簿ノ總括及各部門ノ口座共ニ受ニ記入スル事
- 六 俸給ヲ仕拂ヒタルトキハ現金出納簿總括ノ口座拂ニ現金支給額ヲ又部門ノ口座拂ニ俸給金額ヲ記入シ同時ニ國庫納金引去額ハ經常部ノ口座受ニ記入シ其金額ヲ金庫ニ拂込ミタルトキ總括及經常部ノ口座拂ニ記入スル事
- 七 俸給ノ現金支給額ヲ支拂ヒタル時ハ國庫納金引去額モ其日ノ繰替拂日計表ニ掲記スル事
- 八 繰替拂日計表裏面ニ附屬各傳票ノ番號ヲ附記スル事

第四章 收入支出

第一節 收入

○租税外諸收入金整理ニ關スル件

明治四十四年三月三十一日 法律第五八號

第一條 政府ノ貸付金ヲ除ク外租税外諸收入金ニシテ納人無資力ノ爲一時ニ收納スルコト困難ナル場合ニ於テハ之ヲ分賦辨濟ノ方法ニ依ル定期貸ト爲シ又ハ資力回復ノ時ヲ辨濟ノ期限トスル据置貸ト爲スコトヲ得

第二條 前條ノ定期貸ニ付テハ最後ノ辨濟期ヨリ据置貸ニ付テハ貸付ノ日ヨリ二十年ヲ經過シタル場合ニ於テ債務者無資力ニシテ資力回復ノ見込ナシト認ムルトキハ其ノ債務ヲ免除スルコトヲ得

附 則

第二條ノ規定ハ本法施行ノ際現存スル雜種貸及据置貸ニ之ヲ準用ス

○明治四十四年法律第五十八號施行規則

明治四十四年四月十九日 勅令第一二二號

第一條 明治四十四年法律第五十八號第一條ノ規定ニ依リ定期貸又ハ据置貸ト爲ス場合ニ於テハ所管大臣之カ編入ヲ爲スヘシ但シ鐵道院ニ在リテハ鐵道院總裁、朝鮮總督府ニ在リテハ朝鮮總督、臺灣總督府ニ在リテハ臺灣總督、關東都督府ニ在リテハ關東都督、樺太廳ニ在リテハ樺太廳長官之ヲ爲スヘシ

第二條 前條ノ規定ニ依リ編入シタル定期貸又ハ据置貸ニシテ一般會計ニ屬スルモノハ之ヲ大藏大臣ニ引繼クヘシ其ノ特別會計ニ屬スルモノハ之ヲ大藏大臣ニ引繼キ一般會計ニ移屬セシムルコトヲ得

前項ノ引繼ヲ爲スニハ債務者ノ住所地ヲ管轄スル地方長官ニ關係書類ヲ送付シ必要ノ事項ヲ大藏大臣ニ報告スヘシ

第三條 大藏大臣ニ引繼キタル定期貸及据置貸ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依リ地方長官之ヲ管理スヘシ

第四條 債務者ノ住所カ朝鮮、臺灣、關東州又ハ樺太ニ在ル場合ニ於テハ地方長官ニ關スル規定ハ朝鮮總督、臺灣總督、關東都督又ハ樺太廳長官ニ之ヲ準用ス

甲號書式

本簿ハ種目別ニ調製シ末尾ニ合計ノ口座ヲ設ク
ルモノトス但シ便宜合册トナスコトヲ妨ケス

(第 號)

債務原因	編入年月日	金額	辨濟期限	年月日	摘要	住所	
						債務者	住所
						氏名	住所
					収納金額	氏名	
					削除金額		
					未収入金額		

備考
 一他官廳ヨリ引受ヲ爲シタルトキハ未収入金額欄ニ記入スヘシ
 二他官廳ニ引繼ヲ爲シタルモノハ其ノ引受ノ通知アリタルトキ削除金額欄ニ朱書ヲ以テ記入スヘシ

乙號書式

明治何年 自何月 至何月 貸付金異動報告書

種目	金額	事由	由	債務者(保證人)住所	
				氏名	氏名
定期貸					
据置貸					

大藏大臣宛

道廳官又ハ府縣知事 氏名 印

西曆書式

丙號書式

明治何年度末貸付金現在額報告書

種目	前年度	新規編	計	收入額	削除額	計	残額
	繰越額	入額					
定期貸							
据置貸							
右及報告候也							
年 月 日							
道廳官又ハ府縣知事 氏 名 印							
大藏 大臣 宛							

備考

一本表新規編入額ニハ新ニ編入シタルモノ其ノ他引繼テ受ケタルモノヲ合算シ又削除額ニハ免除處分ヲ爲シタルモノ時效又ハ絶家等ニ因リ消滅シタルモノ及引繼ヲ爲シタルモノヲ合算スルモノトス

○歳入金ノ代用トシテ證券納付ノトキ取扱ノ件 明治三十八年二月十七日 勅令第三四號

租税其ノ他ノ歳入金ノ代用トシテ證券ノ納付ヲ受ケタル場合ニ於テハ收入官吏及金庫ヲシテ現金ニ準シテ其ノ取扱ヲ爲サシムルコトヲ得

○歳入金小切手代用納付ノ件 明治四十一年八月六日 大藏省訓令第四二號

帝國鐵道應取扱ニ係ル歳入金ハ日本銀行本支店、出張所、代理店若クハ東京市、大阪市、神戸市及名古屋市ニ於ケル手形交換所組合銀行ニ宛テ振出シタル小切手ニシテ其銀行ノ支拂保證アルモノヲ以テ納付セシムルコトヲ得

小切手ヲ以テ納付シ得ヘキ歳入金ノ種目ハ遞信大臣之ヲ定ム

○小切手ニテ納付シ得ヘキ歳入金ノ種類 明治四十一年八月七日 遞信省告示第七三一號

帝國鐵道應ノ取扱ニ係ル左記種目ノ歳入金ハ日本銀行本支店、出張所、代理店又ハ東京市、大阪市、神戸市若クハ名古屋市ニ於ケル手形交換所組合銀行ニ宛テ振出シタル小切手ニシテ其銀行ノ支拂保證アルモノヲ以テ代用納付スルコトヲ得

一 後納ニ係ル貨物賃金

二 私設鐵道株式會社其他ト連帶計算ニ係ル收入金

○小切手代用納付ニ關スル取扱方ノ件 明治四十一年八月十二日 公報注意

今回大藏省訓令第四二號及遞信省告示第七三一號ヲ以テ當廳取扱ニ係ル歳入金納付ニ際シ小切手ヲ以テ代用スルヲ得ル旨定メラレタルニ付テハ其取扱方左ノ通心得ラレタシ

一 日本銀行代理店宛ノモノハ其代理店タル資格ヲ表記シタルモノニ限ル

二 手形交換所組合銀行宛ノモノハ之ヲ領收シタル主任出納官吏所在地ノ手形交換所ニ於テ直ニ交換シ得ヘキモノ即チ同官吏所在地ノ支拂銀行宛ノモノニ限ル

三 前項ノ場合ニ於テハ其本店ニ限ラス支店ニ於テ保證シタル小切手ト雖之ヲ領收シ差支ナキモ其代理銀行(組合銀行ニアラサルモノ)宛ノモノハ之ヲ領收セサルモノトス

四 小切手ハ商法第五三三條ニ規定ノ通仕拂期限ハ振出當日ヨリ僅ニ一週間ノ短期ナルノミナラス此期間中更ニ手形交換所ニ於テ夫々交換計算ヲ爲スノ要アルニ由リ可成振出當日ヨリ五日間ヲ經過セサルモノヲ領收スヘシ若シ五日間ヲ經過セシモノナルトキハ一應金庫派出員ニ交渉ノ上同派出員ニ於テ受領差支ナキ旨確答セシ場合ノミ之ヲ領收スヘシ但シ日本銀行本支店出張所代理店宛ノモノニシテ小切手仕拂滿期當日マテニ金庫ニ拂込ムコトヲ得ルモノハ隨時領收スルヲ得

五 線引ヲ爲サ、ル小切手ヲ領收シタルトキハ主任出納官吏ニ於テ線引ノ上商法第五三五條第二項ニ依リ銀行名(日本銀行若クハ)ヲ記載スルヲ要ス

六 支拂保證アル小切手ト雖支拂銀行ニシテ支拂停止等ノ危險アル場合ハ其納付ヲ拒絶スヘシ

以上小切手ヲ以テ納付スルヲ得ヘキ歳入金ハ當分ノ内主任出納官吏納トシテ納入報告知書ヲ發行スヘキニ依リ分任出納官吏ニ於テハ關係ナシ

○官吏遺族扶助法納金收入規則 明治二十三年七月十二日 勅令第一二五號

改正 明治三十二年 明治三十三年 明治四十四年 勅令第六〇號 同第一五一號 同第二一號

第一條 本年法律第四十四號官吏遺族扶助法第二條ニ依リ文官判任以上ノ者ヨリ國庫ニ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ金庫ニ於テ之ヲ差引ヘシ但現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ俸給ノ仕拂ヲ爲ストキハ該官吏ニ於テ之ヲ差引ヘシ

郡書記又ハ臺灣總督府地方廳稅務吏ノ納ムヘキ金員ハ俸給仕拂ノトキ郡役所又ハ臺灣總督府地方廳會計吏ニ於テ之ヲ差引ヘシ

第二條 前條ニ依リ金庫ニ於テ差引シタル金員ハ歳入徵收官ノ計算ニ移シ直ニ報告書ヲ作り之ヲ歳入徵收官ニ送付スヘシ

前條ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏及郡役所又ハ臺灣總督府地方廳會計吏ニ於テ差引シタル金員ハ納金額表ヲ添ヘ之ヲ收入官吏ニ送付スヘシ

第三條 俸給ノ増減ニ依リ既納ノ金員ニ過不足ヲ生スルトキハ次期ノ俸給支給ノトキ之ヲ整理スヘシ 免官退官轉任死亡ニ依リ過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキハ其百分ノ一ヲ納人ニ於テ差引スヘシ

(備考)

遞信大臣官房第五課長照會 (明治二十三年七月二十三日)

(第一)規則第三條俸給増減ニ依リ云々ト有之該増減トハ昇降等若クハ昇降級ノ場合ヲ指ス儀ニシテ病氣其他自己ノ故障ニ依リ當月受クヘキ給額ニ減額ヲ生スル場合ハ包含不致居儀ニ候哉(第二)過不足金員整理方ハ次期ノ俸給支給ノ時云々ト有之該次期トハ次回俸給支給日ノミナ云フニアラス免官退官轉任死亡又ハ増俸等ノ場合ニシテ右定日ニ拘ハラス追給追徴スル際ニ於テモ差引整理スル儀ニ候哉(第三)過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキ其百分ノ一ヲ納人ニ於テ差引スヘシト有之果シテ然ラハ返納告知書又ハ納入告知書面ニハ本年貴省令第十七號仕拂命令書式ニ準シ返納金ノ内譯ヲ記載スル儀ニ候哉(第四)前項納人ニ於テ差引シタル百分ノ一ノ金額ハ納金下戻等ノ手續不相見就テハ其各廳經費定額ニ戻入スヘキモノハ損失トナリ其歳入(雜收入雜入返納金)ニ編入スヘキモノハ收入セテ却テ還納ノ納金ハ過剩トナリ歳入出共ニ妥當ナラスト雖モ右ハ其儘整理スヘキ儀ニ候哉(第五)轉任ニヨリ過渡俸給ノ返納ヲ要スルトキ其百分ノ一ヲ納人ニ於テ差引スヘシト有之然ルトキハ設例ハ甲廳奏任官四等上俸給ヲ受クルモノ五月三十一日ニ同級ヲ以テ乙廳ニ轉任シタルトセンニ甲廳ニ於テハ百圓ノ返納告知書ヲ發シ一箇月分ヲ取立テ(内一圓ハ納人ニ於テ差引九拾九圓ヲ返納ス)乙廳ニ於テハ新任ト同様一箇月分百圓ヲ支給スルモ仕拂命令ノ内譯ニヨリ内壹圓ヲ國庫ニ納附トシ殘額九拾九圓ヲ支給スルモノトモ本人ニ於テハ前後兩廳通シテ貳百九拾七圓ヲ領收シ參圓國庫ニ納附スルコト、ナルニ付過不足等更ニ無之モ甲乙兩廳通算國庫ニ納附セシ金額ハ參百圓ノ俸給ニ對シ四圓トナル是又其儘整理スヘキ儀ニ候哉

大藏省主計局長回答 (明治二十三年八月一日)

第一病氣其他ノ故障ニ依リ生スル俸給減額ノ場合ヲモ包含スル儀ニ有之候第二御見解ノ通第三返納告知書面ニハ返納金ノ金額ヨリ扶助法納金ヲ差引シタル金額ヲ掲記シ而シテ返納金ノ金額ト差引ヘキ金額ハ但書トシテ附記スル儀ニ有之候第四以下御見解ノ通

遞信省照會 (明治二十四年二月六日)

客年七月十二日勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則第三條ニ俸給ノ増減ニ依リ既納ノ金員ニ過不足ヲ生スルトキハ次期ノ俸給支給ノトキ之ヲ整理スヘシト有之候處俸給ノ増減ニ依ラスシテ過不足ヲ生スルトキモ尙本令ニ準據シテ次期ノ俸給支給ノトキ整理シ可然哉

大藏省回答 (明治二十四年二月十八日)

次期ノ俸給支給期ヲ待タズ直ニ追給追徴御整理相成可然ト存候

○官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序 明治二十三年七月十八日 大藏省訓令第一一三號

改正 明治二十六年 明治三十三年 大藏省令第六八號 同第三八號

本年勅令第百二十五號官吏遺族扶助法納金收入規則取扱順序左ノ通心得ヘシ

第一條 (削除)

第二條 金庫ニ於テ明治二十三年大藏省令第十七號ヲ以テ規定シタル書式仕拂命令仕拂請求書ヲ受ケ現金ノ

仕拂ヲ執行スルトキハ該仕拂命令仕拂請求書金額ノ内譯ニ列記シタル(集合仕拂命令集合仕拂請求書ニ附屬スル金額ノ内譯ニ依ル)國庫納金引去高ヲ控除シ現金支給高ヲ受取人ニ交付スヘシ(氏名表中ノモノヘ交付スルトキハ即該氏名表右控除ノ國庫納金引去高ハ普通仕拂ノ順序ニ依リ一旦之ヲ拂出シ直ニ之ヲ相當年度ノ歳入ニ振換納付ヲ爲スヘシ)

金庫出納事務規程第十八條ノ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要シ又ハ送金ヲ爲ス場合ト雖モ國庫納金引去高ハ前項ノ順序ニ據ルモノトス

第三條 金庫ニ於テ前條ノ國庫納金引去高ヲ歳入金ニ振換納付シタルトキハ即日第二號書式ノ國庫納金引去高收入報告書ヲ調製シ歳入徴收官ヘ送付スヘシ

第四條 (削除)

第五條 歳入徴收官ニ於テ第三條ノ國庫納金引去高收入報告書ヲ受ケタルトキハ徴收簿收入濟額ノ欄内ヘ其金額ヲ登記スヘシ

第六條 現金前渡ヲ受ケタル官吏及郡役所會計吏ニ於テ俸給仕拂ノトキ官吏ノ納金額ヲ差引徴收シタルトキハ第三號書式ノ納金額表ヲ添ヘ之ヲ其廳ニ於テ普通ノ諸收入ヲ收入スル官吏ニ拂込ムヘシ

第七條 前條ノ拂込ヲ受ケタル收入官吏ハ其拂込ヲ爲シタル收入官吏ニ現金ノ領收證書ヲ交付シ現金出納簿ノ登記及金庫ヘ拂込ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 現金前渡ヲ受ケタル官吏ハ第六條ノ場合ニ於テハ現金ヲ領收スル收入官吏トシテ總テ其規程ニ據ルモノトス

第九條 金庫ニ於テ歳入金ニ振替未濟ノ國庫納金引去高ハ毎月末ニ第四號書式ノ國庫納金引去高未濟報告書ヲ調製シ歳入徴收官ヘ送付スヘシ

第一號書式 (削除)

某年度歳入國庫納金引去高收入報告表 (第二號書式)

所管廳	年度	仕拂命令仕拂請求書	仕拂官名	收入金額	備考
				円 錢 厘	

某年度國庫納金額表 (第三號書式)

所管廳	年度	會之要領		債主氏名	收入金額	收入取扱廳	備考
		仕拂命令仕拂請求書	仕拂官名				
【某】	二十三年度	第一號	【某】	【某】	円 錢 厘	【某】	
	二十三年度集合仕拂請求費	第二號	【某】	【某】	円 錢 厘	【某】	
				某外人	円 錢 厘		
				總高	円 錢 厘		

何年何月分某年度歳入國庫納金引去高未済額報告表 (第四號書式)

所管廳	年度	仕拂請求書	令	番	號	仕拂官	令	氏名	收入未済額	備考
	明治									

明治何年何月何日
何廳歳入徴收官 官 氏 名

○官吏罰俸ヲ命セラレタルトキハ扶助法納金ハ罰俸ヲ控除

シタル額ニ對シ徴收ノ件 明治二十七年二月十七日 財第一〇五六號(逓信省官房財務課通牒)

官吏ノ罰俸ハ減俸ト同シク俸給中ヨリ控除スル儀ニ有之候ニ就テハ官吏遺族扶助法納金及製艦費納金ハ右罰俸ヲ控除シタル現支給額ニ對シ徴收候様今般更ニ省議決定相成候條此段及御通牒候也

○非職廢官退官者殘務引繼等ノ場合國庫納金ニ關スル件

明治二十六年十二月二十日 逓信省公達第五〇四號

非職、廢官、退官者事務引續殘務調理ノ場合ニ於ケル支給ニ對シテハ自今官吏遺族扶助法納金及製艦費納金共納付セシメサル儀ト心得ヘシ

○俸給繰替拂ニ當リ官吏遺族扶助法納金ヲ收入シタルト

キ金庫ニ拂込方ノ件 明治四十年四月二十三日 鐵計會發第一六九號 改正 大正元年八月 達第七六號

俸給ノ繰替拂ヲ爲スニ當リ官吏遺族扶助法納金ヲ收入シタルトキハ其報告書ヲ調製歳入徴收官ニ提出シ該金額ハ拂込書ニ雜部保管金引出切符(振替)印ヲ押捺シタルモノヲ添付シ金庫ニ拂込ムヘシ

官吏遺族扶助法納金引去高報告書

収入年月	収入金額	備考

大正 年 月 日
何局所主任出納官吏官氏名印
歳入徴收官官氏名宛

○通行税整理手續 明治四十年四月二十七日 改正 明治四十年八月 達第一六九號

通行税整理手續左ノ通定ム

通行税整理手續

- 第一條 通行税ハ計算整理上收益勘定、鐵道作業收入、運輸收入、旅客收入、雜收ニ編入スヘシ
- 第二條 計理部長、管理局長及出張所長ハ一箇月内ニ徴收シタル通行税額ヲ集計シ翌月七日迄ニ歳入徴收官ニ申告スヘシ
- 第三條 歳入徴收官ハ前條ノ申告ニ基キ中央部ノ主任現金出納官吏ヲシテ明治三十八年一月大藏省令第一號中第一號書式通行税拂込書ニ雜部保管金引出切符(振替)印ヲ押捺シタルモノヲ添付シテ中央金庫ニ拂込マシムヘシ
- 第三條ノ二 中央部ノ主任現金出納官吏ハ前條拂込金ニ對スル中央金庫ノ領收證ヲ受領シタルトキハ第三號書式ニヨリ之ヲ歳入徴收官ニ報告スヘシ
- 第三條ノ三 歳入徴收官ハ前條ノ報告ニヨリ徴收簿ノ確定額及收入済額ノ欄ニ朱書ニテ減額スヘシ
- 第四條 計理部長、管理局長及出張所長ハ通行税收入額ヲ審査シ第一號書式ノ審査額報告書ヲ歳入徴收官ニ

提出スヘシ
 第五條 繰替拂命令官ハ毎月通行税拂戻高ニ對シ第二號書式ノ仕拂濟通知書ヲ翌月三日迄ニ仕拂命令官ニ提出スヘシ
 第六條 仕拂命令官前條ノ仕拂濟通知書ヲ受ケタルトキハ所轄稅務署長ヲ經由稅務監督局長ニ對シ返納告知書ヲ發行スヘシ
 第七條 本手續ハ明治四十年年度會計ヨリ施行ス

明治 年 月中通行稅收入審査額報告書 第一號書式

事務所名 何々營業事務所 何々會計	金額		備考
	額	備	

明治 年 月 日
 出戻所長
 計理部長管理局長又ハ官 氏名
 歳入徴收官 宛

第二號書式 仕拂濟通知書

一金何程
 何年何月中通行税拂戻高
 右仕拂濟ニ付及通知候也
 年 月 日
 仕拂命令官官氏名宛
 第三號書式

何所繰替拂命令官官氏名印

通行税拂込濟報告書

明治何年何月分

一金何程
 右報告候也
 年 月 日
 歳入徴收官官氏名宛

主任現金出納官吏官氏名印

○雜部保管金ニ對スル利子整理方ノ件 明治四十二年六月一日 達第四五六號

出納官吏ノ雜部保管金預入ニ對スル利子ハ左記各項ニ依リ受入整理スヘシ
 一 利子ハ毎年六月及十二月ノ二期ニ精算シ金庫ニ於テ直チニ當該銀行ヲシテ元金ニ組替ヲ爲サシムルト同時ニ雜部保管金ニ編入スルモノトス
 二 出納官吏金庫ヨリ利子計算書ヲ添ヘ雜部保管金ニ編入ノ通知ヲ受ケタルトキハ即日雜部保管金拂込書ト引換ヘニ保管證書ヲ受ケ成規ノ受入手續ヲ爲スヘシ
 三 出納官吏ハ金庫ヨリ送付スル利子計算書ヲ調査スルノ資料トシテ左記書式ニ依リ毎月利子明細書ヲ調製スヘシ

明治 年 月 分利子明細書

月 日	預入高	引出高	残高	積數	利率	利子

郵局所主任現金出納官吏官氏名印

- 四 第二項ニ依リ受入ヲ爲シタルトキハ計算書ニ受入濟ノ旨記入シテ署名捺印シ第三項ノ明細書ト共ニ收入日計表附屬書類トシテ提出スルモノトス
- 五 出納官吏ニ於テ計算書中金額其他相違アリト認メタルトキハ直チニ訂正方ヲ金庫ニ請求シ若シ即時訂正スルコト能ハサルモノハ其儘受入ヲ了シ其顛末ヲ詳記シタル申報書ヲ添付スヘシ
- 六 同一金庫又ハ其派出所カ同時ニ出納官吏二名以上ノ雜部保管金ヲ取扱フ場合ニ於テ利子ノ受入ヲ爲スヘキ出納官吏ハ計理部長之ヲ指定スヘシ
- 七 前各項ノ外利子取扱上必要ナル事項ハ計理部長之ヲ所管局長ヘ通知スヘシ

○官舎貸渡宿代並附屬電燈料徴收手續 明治四十二年四月二十三日 達第三三三號

官舎貸渡宿代並附屬電燈料徴收手續左ノ通定ム

- 第一項 鐵道院會計事務取扱細則第十七條第三號ニ依リ即納通知書ヲ發シ得ヘキ主務ノ官吏ハ管理局工務課長、同保線事務所長、同出張所長及鐵道院出張所保線掛長トス但必要アルトキハ便宜官舎保管主任又ハ其他ノ官吏ヲシテ發セシムルコトヲ得
- 第二項 主務ノ官吏ハ毎月十七日迄ニ遲滞ナク所管官舎貸渡宿代並附屬電燈料ノ即納通知書ヲ作製シ(或官舎ニ對シ新タニ徴收スルトキ又ハ宿代及料金改定シタルトキハ證憑書類ノ添付ヲ要ス)之ヲ該納人ノ俸給給料ヲ仕拂フ出納官吏ニ送付スヘシ但即納通知書ハ一納人毎ニ作製ヲ要ス
- 第三項 主務ノ官吏ハ適宜帳簿ヲ備ヘ官舎番號徴收金額納人氏名同出入月日及即納通知書番號同發行年月日等要項ヲ登記スヘシ
- 第四項 出納官吏第二項ノ即納通知書ヲ受ケタルトキハ納人ヘ仕拂フヘキ俸給々料ノ内ヨリ差引之ニ對スル領收證書ヲ作り現支給額ト共ニ之ヲ納人ニ交付スヘシ
- 第五項 出納官吏納人ノ俸給々料ヨリ差引徴收シ能ハサルトキハ別ニ本人ヨリ徴收ノ手續ヲナスヘシ

- 第六項 出納官吏前項ノ手續ヲナスモ尙徴收シ能ハサルトキハ該即納通知書ヲ主務ノ官吏ニ送付スヘシ
- 第七項 主務ノ官吏即納通知書ノ返付ヲ受ケタルトキハ徴收ノ要項ヲ具シ其旨徴收事務官ヘ報告スヘシ
- 第八項 前各項ノ外尙便宜ノ方法アルトキハ其便宜方法ニ依リ徴收スルコトヲ得

○土地貸下料等ニ係ル徴收要求書提出方ノ件 明治四十一年三月二十三日 公報注意

土地貸下料其他ノ契約ニシテ期限滿了前ニ解約ノ申出ヲナササルトキハ更ニ或期間繼續スヘキモノ、料金徴收方ニ付テハ會計事務取扱細則第十三條但書ノ第二期以後ト認ムヘキ筋ナラサルニ付相當時期ニ於テ無洩様更ニ徴收要求書ノ(其事由ヲ明記シタル任)譯書ノミ添付ノコトヲ提出ヲ要ス

○毎年度歳入調定濟額收入未了ノモノ取扱方ノ件

明治二十四年八月十七日 改正 明治二十六年 大藏省訓令第六八號 同第三號

各年度歳入調定濟額ニシテ翌年度七月三十一日迄ニ收入整理ヲ了セサルモノ、取扱方左ノ通り心得ヘシ (七月三十一日トアルハ自然六) 月三十日トナリタルモノナリ)

- 第一 甲年度ニ調定シタル歳入金ニシテ乙年度六月三十日迄ニ收入ヲ了セサルモノハ之レヲ甲年度ノ收入未濟トシテ其金額ヲ乙年度ノ調定濟額ニ繰越スヘシ
- 第二 甲年度ト記載シタル納額告知書ヲ以テ乙年度七月一日以後現金ヲ金庫ニ納入スルモノアルトキハ金庫ハ之レヲ乙年度歳入トシテ受領シ其納額告知書及ヒ之レニ接續セル領收證及ヒ通知書ニ乙年度ノ押印ヲ爲スヘシ
- 第三 歳入徴收官ニ於テ金庫ヨリ乙年度七月一日以降甲年度納額告知書ニ依リ納付シタル歳入金領收濟ノ通知ヲ受ケタルトキハ之レヲ乙年度所屬トシテ取扱フヘシ
- 第四 歳入徴收官第一項ノ繰越ヲ爲シタルトキハ左ノ書式ニヨリ各年度歳入調定濟額收入未濟翌年度繰越額取扱フヘシ

計算表ヲ製シ之レヲ歳入ノ事務管理廳へ差出スヘシ

第五 歳入徴收官ニ於テ前項ノ計算書ヲ歳入ノ事務管理廳ニ送付スルトキハ同時ニ甲年度所屬徴收簿ノ締切ヲナシ而シテ乙年度徴收簿當該科目調定濟額ノ欄へ前年度ヨリ繰越トシテ其員額ヲ記載スヘシ

但シ歳入徴收官ニ於テ甲年度所屬ノ歳入金ヲ乙年度六月三十日以前ニ受領シ之レヲ七月一日以後金庫へ拂込ミタルモノアルトキハ金庫ハ之レヲ乙年度所屬トシテ取扱フヘシ

第六 出納官吏現金取扱規則第十七條ニ依リ收入官吏ヨリ送付セル甲年度收入金ノ監守證ニ對シ明治二十二年大藏省訓令第七十三號第二項ニ依リ金庫ヨリ派出シ乙年度七月一日以後取付ヲ爲シタル現金及ヒ前項但書ノ收入金ハ金庫ニ於テ之レヲ乙年度ノ歳入ニ組込ミ歳入金各廳内譯簿ハ別ニ口座ヲ設ケ冒頭主管廳ノ次へ「甲年度所屬」ト記入シ又歳入金月計對照表ハ別紙ニ調製シ廳名欄内主管廳ノ次へ「甲年度所屬」ト記載スヘシ

但シ本項收入金ハ各金庫毎月出納内譯書各金庫毎月出納計算書及毎年度出納計算書ニ於テモ「甲年度所屬」トシ別項ニ掲載スヘシ

第七 前項ノ場合ニ於テ金庫ヨリ派出スル受取人ノ携帶スヘキ領收證書年度欄内ニハ乙年度トシ該證書適宜ノ場所へ甲年度所屬ノ分ト記入スヘシ
但シ本項ノ領收證書ヲ收入官吏へ交付スルハ乙年度七月一日以後ニ於テ現金ヲ領收スル場合ニ限ルモノトス

某年度經常(臨時)歳入
調定濟額收入未濟翌年度繰越額計算表
明治何年八月三十一日

内 項 目	調定濟額	收入濟額	收 入		事 由
			不納賦損額	翌年度へ繰越額	
何々	15,000,000.00	14,800,000.00	50,000.00	150,000.00	收入未済トナリタル 事由ヲ記載スヘシ
何々	126,000,000.00	125,000,000.00	120,000.00	880,000.00	
何々	8,000,000.00	7,600,000.00	0	400,000.00	
小計	149,000,000.00	147,400,000.00	170,000.00	1,430,000.00	
何々	53,000,000.00	55,830,000.00	20,000.00	150,000.00	
何々	13,000,000.00	12,970,000.00	7,000.00	23,000.00	
小計	69,000,000.00	68,800,000.00	27,000.00	173,000.00	
合計	218,000,000.00	216,200,000.00	197,000.00	1,603,000.00	

○繰越ニ係ル歳入調定濟額收入未了ノモノ整理方ノ件

明治二十四年大藏省訓令第六十八號第一項ニ依リ乙年度ノ調定濟額ニ繰越シタル歳入金ニシテ乙年度三月三十一日迄ニ收入ヲ了セサルモノハ之ヲ丙年度ニ繰越シ丙年度中猶收入ヲ了セサルモノハ丁年度ヨリ以下順次ニ繰越スヘシ

前項繰越ヲ爲シタルトキハ同訓令第四項ニ準シ計算表ヲ製シ歳入事務管理廳ニ差出スト同時ニ前年度所屬徴收簿當該科目摘要欄内へ翌年度繰越トシ其員額ヲ調定濟額ノ欄へ朱書スヘシ
乙年度三月分徴收報告書ニ於テハ調定濟額本月分欄内へ丙年度へ繰越スヘキ員額ヲ朱書シ備考欄内へ其事由

ヲ詳記スヘシ但本年三月分收入報告書調製済ノモノハ四月分報告書ニ於テ本項ノ通調製スヘシ
同訓令第二項甲年度ト記載セル納額告知書ニ依リ乙年度經過後金庫又ハ收入官吏ニ於テ現金ヲ收入シタルト
キハ其收入シタル日ノ屬スル年度ノ歳入トシ金庫ハ納額告知書領收證及通知書ニ相當年度ノ押印ヲナスヘ
シ
同訓令第六項監守證ニ對シ乙年度經過後現金取附ヲ爲シタルトキハ其取附ヲ爲シタル日ノ屬スル年度ノ歳入
ニ組込ミ該六項ニ規定スル手續ヲ以テ整理スヘシ

○收入金不足追徴方ノ件 明治四十二年六月三十日 公報注意

各縣所直撥收入ノ相違ニシテ訂正通知書ヲ以テ處理スルモノノ外單ニ納金額ノ不足(乘客日報及小手荷物、貨物總計日報等ニ記載金額正當ナル
モ收入報告書面金額ノ不足ナルモノ)セルモノニ對シテハ主管調査箇所ニ於テ追徴通知書(本年四月達第二二九號會計事務取扱帳簿並書類様式
第二二)ヲ發行スヘキニ付之ヲ受ケタル縣所ハ直チニ追徴ノ手續ヲ爲スト同時ニ當日分收入報告書備考欄ニ該追納金額及追徴通知書番號ヲ添
レナク記入スル様特ニ注意ヲ要ス

○金庫ニ於テ現金領收濟ノ後納額告知書等ニ記載ノ年度誤

謬訂正手續 明治二十四年五月二十五日 改正 明治二十六年 大藏省訓令第三一號 同第一六號 同第三號

金庫ニ於テ現金領收濟ノ後納額告知書現金拂込書送付書及納付書記載ノ年度ニ誤謬アルコトヲ發見シタルト
キ訂正手續左ノ通り定ム

- 第一條 納額告知書納付書記載ノ年度誤謬ノ場合ニ於テハ歳入徵收官又現金拂込書記載ノ年度誤謬ノ
場合ニ於テハ收入官吏ヨリ訂正方ヲ金庫ニ請求スヘシ
 - 第二條 金庫ニ於テ前條ノ請求ヲ得タルトキハ帳簿ヲ訂正シ直チニ其旨ヲ歳入徵收官ニ報告シ歳入徵收官ハ
金庫ノ報告ニ依リ金庫ニ於テ訂正セシ月ニ於テ帳簿ヲ訂正スヘシ
 - 第三條 前項ニ依リ訂正ヲ爲スハ翌年度六月三十日迄ニ請求書ノ金庫ニ到達シタルモノニ限ル
- 徵收官ニ於テ訂正ノ事由ヲ附記シ置クヘシ

○歳入徵收官交替ノトキ各金庫ヘ其旨通知ノ件 明治三十三年五月二日 大藏省訓令第四五號

- 一、歳入徵收官交替ノトキハ直ニ關係ノ各金庫ヘ其旨ヲ通知スヘシ
- 一、金庫ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ帳簿上前任歳入徵收官官氏名ノ上ニ何年何月何日交替ニ據リ後
任何官何某ニ改ムト記入スヘシ (前任官官氏名ハ塗抹スヘカラス)
- 一、歳入金月計對照表ハ歳入徵收官ノ前任後任ヲ區別セテ總テ後任官ノ計算ニ組込調製スヘシ

○甲乙兩廳間ニ於ケル歳入金取扱方ノ件 明治四十年十月十一日 往第一五四二三號大藏大臣通牒

改正 明治四十三年四月 往第四八一七號

甲乙兩廳間ニ於ケル歳入金取扱方(中略)今般左記ノ通改正致候間御了知相成度

- 一 甲官廳ヨリ乙官廳ニ對シ納入告知書ヲ發スル場合ハ乙官廳所在地若クハ最寄ノ金庫又ハ金庫派出所ヲ指
定スルコト但シ特別會計ノ歳入金ニシテ仕拂元受金ニ組替ヲ要スルモノ又ハ特別ノ規定(郵便貯金局、逓信管理
署ノ如キモノ)ニ依リ甲官廳ノ出納官吏ニ納付ヲ要スルモノハ此限ニアラス
- 二 乙官廳ハ甲官廳ノ納入告知書ヲ受ケタルトキハ仕拂命令又ハ雜部金引出切符若クハ現金ヲ納入告知書ニ
添ヘ指定ノ場所ニ納付スルコト
- 三 前項納付場所ニシテ乙官廳カ仕拂命令又ハ雜部金引出切符ヲ宛ツヘキ金庫又ハ金庫派出所所在地外ナル
トキハ振替拂ヲ要スル仕拂命令又ハ雜部金引出切符ヲ發行シ其仕拂通知書又ハ雜部保管金仕拂通知書ヲ納
入告知書ニ添ヘ甲官廳ニ送付スルコト
- 四 仕拂命令及雜部金引出切符等ニ對スル權利者名ハ第一項收入官吏ニ納付スル場合ノ外ハ總テ納入告知書
發行官吏トスルコト

(備考)

官廳又ハ市町村若クハ公共團體等ノ爲ニ發行スル仕拂命令(仕拂請求書金額氏名表共)ニハ自今宛名ニ官廳名又ハ市町村若クハ公共團體名ヲ記載スヘキ旨大藏省官房會計課長ヨリ通牒アリタルニ依リ本件申右ニ抵觸ノ廉ハ自然變更シタルモノトス

○歳入徴收事務分掌方ノ件 明治四十二年四月七日 達第二五四號

歳入徴收事務分掌方左ノ通心得ヘシ

- 一 各管理局長及鐵道院出張所長ハ其所管内歳入ノ徴收事務ヲ掌理スヘシ但シ所屬出納官吏ニ納付セシムルヲ不便トスルモノハ此限ニアラス
 - 二 各主任出納官吏ノ提出スル收入日計表並附屬書類ハ總テ所管徴收事務官ヲ經由スヘシ
 - 三 徴收事務官ハ前項ノ書類ニ依リ收入ヲ整理シ主任出納官吏ノ收入報告書總括表ト分任出納官吏ノ收入報告書ト相違ナキヲ確メ之ヲ歳入徴收官ニ提出スヘシ
- 但シ分任出納官吏ノ收入報告書ハ更ニ審査ヲ爲シタル後別ニ提出スルモ妨ケナシ

第二節 支出

○旅費其外概算前金渡ノ件 明治二十二年十一月二十一日 改正 明治三十一年 勅令第一九七號 同第二一〇號

- 第一條 内國及外國出張ヲ命シタル者ノ旅費ハ旅行ノ見積リ行程及日數ニ依リ概算渡ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 外國留學ヲ命シタル者ニ支給スル學資金及諸手當ハ給額半箇年分以内ニ於テ前金渡ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 府縣稅ノ補助トシテ國庫ヨリ支出スル府縣警察費連帶支辨金、府縣傳染病豫防費國庫補助金及沖繩縣ニ於ケル區町村間切傳染病豫防費國庫補助金ハ豫算ニ依リ概算渡ヲ爲スコトヲ得
- 第三條ノ二 外國ニ於テ鐵道又ハ船舶運送ノ業務ヲ營ム會社ニ下付スヘキ補給金ハ該會社ノ決算期ニ於テ其ノ期間ニ相當スル割合ヲ以テ概算渡ヲ爲スコトヲ得
- 第四條 本令ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

○印刷局製造ノ物件ヲ買入ルルトキ前金拂トナスコトヲ得

明治四十年二月二十八日 法律第五號

官廳ニ於テ印刷局製造ノ物件ヲ買入ルル場合ニ於テハ前金拂トナスコトヲ得

○郵便振替貯金ノ方法ニ依ル歳出金仕拂手續 大正元年十一月十六日 達第三二九號

- 郵便振替貯金ノ方法ニ依ル歳出金仕拂手續左ノ通定ム
- 第一條 繰替拂歳出金ハ債主ノ請求ニ依リ當該債主ノ郵便振替貯金口座ハ拂込ヲ爲スコトヲ得
- 第二條 郵便振替貯金口座ハ拂込ヲ請求スル債主ノ仕拂請求書ニハ郵便振替貯金口座番號及之ニ拂込ヲ請求スル旨ヲ記載セシムヘシ
- 第三條 拂込料金ハ債主ノ負擔トシ其請求書ニ拂込料金ニ相當スル郵便切手ヲ添付セシムヘシ但シ拂込料金加入者負擔ノ旨ヲ表示シタル自己口座専用ノ拂込書ヲ以テ之ニ代フルコトヲ得
- 第四條 郵便振替貯金口座ニ拂込ヲ要スル繰替拂傳票ニハ「郵便振替貯金拂込」ノ旨ヲ朱書スヘシ
- 第五條 振替貯金拂込書受領票ハ仕拂請求書ニ貼付又ハ合綴シ正當債主ノ領收證書トシテ整理スヘシ

○仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書發附

等ニ關スル取扱手續明治二十六年十一月二十五日 改正 明治四十一年 大藏省訓令第四〇號

仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令及集合仕拂請求書發附等ニ關スル取扱手續左ノ通相定メ明治二十七年一月一日ヨリ施行ス

第一條 仕拂命令官仕拂命令又ハ仕拂請求書ヲ受取人ニ交付セントスルトキハ成ルヘク其交付ヲ爲サントスル日ノ前日ニ其案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ヲ金庫ニ送付スヘシ但臨時至急ヲ要スルモノハ此限ニアラス

第二條 仕拂命令官集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ本訓令附屬第一號書式ノ通知書ヲ各受取人ニ交付シ受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ト引換ニ現金ヲ金庫ヨリ受取ラシムヘシ

第三條 仕拂命令官金庫所在地外ニアル債主ニ仕拂ヲ要スル仕拂命令仕拂請求書又ハ集合仕拂命令集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ通知書ヲ各受取人ニ送付シ現金領收ノ際受取人ヲシテ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入シ署名捺印シテ之ヲ金庫ニ差出サシムヘシ但シ在外國受取人ヘノ送金及電信爲替拂ノ場合ニハ本條ノ通知書ヲ送付スルニ及ハス單ニ其旨ヲ通知スルモノトス

第四條 仕拂命令官仕拂命令仕拂請求書ヲ債主ニ交付シ若クハ集合仕拂命令集合仕拂請求書又ハ金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スル仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書ヲ金庫ニ送付シタルトキハ各其領收證書ヲ徴スヘシ

前項ノ領收證書ハ會計規則第五十二條第三項ノ計算書ニ添付シ提出スヘシ

第五條 仕拂命令官仕拂命令仕拂請求書集合仕拂命令集合仕拂請求書ヲ發行シタル後科目ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ本訓令附屬第二號書式ノ科目訂正書ヲ當該金庫ニ送付スヘシ

第六條 毎月ノ計算整理ノ爲メ仕拂命令又ハ仕拂請求書及集合仕拂命令又ハ集合仕拂請求書ヲ受取人ニ交付シ又ハ金庫ニ送付スルハ毎月二十八日(二月二十六日)限リトス但法規上仕拂期日ノ定マレルモノ及臨時至急ヲ

要スルモノハ此限ニアラス

第七條 仕拂命令官ハ毎月二十八日(二月二十六日)ニ於テ其月中ニ金庫ヘ送付シタル案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ニ對スル仕拂命令又ハ仕拂請求書ニシテ事故アリテ同日迄ニ受取人ニ交付スルニ至ラザリシモノアルトキハ之ヲ調査シ即日其案内仕拂命令又ハ案内仕拂請求書ノ返付ヲ金庫ニ請求スヘシ但其二十八日(二月二十六日)以後ノ送付ニ係ルモノニシテ其月中ニ交付スルニ至ラサルモノアルトキハ末日ニ於テ本文ノ手續ヲ爲スヘシ

第八條 仕拂命令官金庫出納事務規程(特別會計ノ分共)ニ據リ金庫ヨリ歳出金月計對照表歳出仕拂未濟繰越金支出月計對照表仕拂命令受領濟額報告書及仕拂請求書受領濟額報告書ニ證憑書類ヲ添ヘ送付ヲ受ケタルトキハ證憑書類ニ對照(受領濟額報告書ハ支出額ニ對照ス)シ相違ナキ場合ハ左ノ如ク證明スト記入シ署名捺印ノ上證憑書類ト共ニ三日以内ニ之ヲ金庫ニ返付シ相違アル場合ハ速ニ其事由ヲ付シテ返付スヘシ

明治二十三年法律第十一號第十條ニ依リ國庫ニ於テ資金ヲ繰越シタル仕拂切符並ニ同年當省訓令第二十七號第二條第二項ニ依リ中央金庫及本支金庫ニ於テ引繼ヲ受ケタル雜部金ニ對シ金庫ニ於テ現金仕拂ヲ爲シタル分ニ係ル月計對照表ノ送付ヲ金庫ヨリ受ケタルトキハ前項ニ準シ取扱フヘシ
前各項ニ依リ證明ヲ爲シタル後該證明ニ就キ誤謬ヲ發見シタルトキハ其理由ノ證明書ヲ作り之ヲ金庫ニ交付スヘシ

第九條 仕拂命令官ハ照較ノ用ニ供セシムル爲メ其印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ

(書式表面) 用紙寸法 縱曲尺五寸二分 輪廓寸法 縱四寸六分 横同 六寸三分 (内及印章ハ執モ朱)

第一號書式 領收證 歳出金仕拂通知書

大藏省主管 「取扱廳」	第「何」號	「某」年度歳出	第「何」號
仕拂命令「仕拂請求書」	金額氏名表	仕拂命令「仕拂請求書」	第「何」號
仕拂指定金庫名	仕拂指定金庫名	「何」地 金 庫	「何」地 金 庫
金「何圓何拾何錢」也			
本行ノ金額ニ對スル仕拂命令「仕拂請求書」			
「何」年「何」月「何」日發行濟ニ付仕拂指定金			
庫ヨリ現金ヲ受領セラルヘシ			
「何廳仕拂命令官官氏名團」			
明治「何」年「何」月「何」日			
「何之誰」 渡			
			円 0

前記之金額領收候也
明治「何」年「何」月「何」日

印紙入

受取人

「住所」
「何之誰」

備考

(注意) 受取人ハ裏面ノ注意事項ヲ熟覽スヘシ

- 一 官廳又ハ市町村若クハ公共團體等ノ收入トナルヘキモノハ宛名ニ官廳名又ハ市町村若クハ公共團體名ヲ記入シテ發行スヘシ
- 二 本通知書ノ特別會計ニ屬スルモノハ輪廓及其他ノ線ヲ赤色トシ又一般會計ニ屬スルモノハ黑色トシ一見區別ニ便ナラシムヘシ
- 三 用紙ハ印刷局紙若クハ永久保存ニ耐ユル用紙ヲ用ユヘシ
- 四 本書ハ左方ニ曲尺八分ノ綴代ヲ設クヘシ

第 號	歳出科目訂正書	何年度歳出(經常部(臨時部)何廳所管)	何々(款)何々(項)	「此訂正科目」	「何々(款)何々(項)」
第 號	「此訂正科目」	何年度歳出(經常部(臨時部)何廳所管)	何々(款)何々(項)	「何々(款)何々(項)」	「何々(款)何々(項)」

右何年何月何日發行第何號仕拂命令(仕拂請求書、集合仕拂命令、集合仕拂請求書)何ノ誰渡ノ分科目朱
書ノ通訂正ヲ要ス
何年何月何日 何廳仕拂命令官官氏名 何地金庫宛

第二號書式 (内及印章ハ朱)

「何之誰」	委任欄	表書金額ノ受取方ヲ 委任致候也	「住所」	明治「何」年「何」月「何」日	「何之誰」
-------	-----	--------------------	------	----------------	-------

印紙入

(注意事項)

「受取人」ハ表面領收證之部ニ年月日及住所ヲ記入シ記名捺印シ現金領收ノ綴トシテ之ヲ指定ノ仕拂金庫ニ差出シ現金ノ拂渡ヲ受クヘシ
但シ官吏公吏ニ在リテハ官廳名又ハ市町村名若クハ公共團體名ヲ肩書シ官職名ヲ記シ記名捺印スヘシ
「受取人」ノ住居地カ仕拂金庫所在地外ニシテ自己ノ住居地送現金ノ送達ヲ認ムヘシ
「其旨仕拂金庫」ニ請求スヘシ
「受取人」カ代人ヲ以テ現金仕拂ノ請求ヲ爲サントスルトキハ本人ニ於テ本書委任欄内ニ適宜ノ事項ヲ記載シ記名捺印スルカ又ハ別ニ委任狀ヲ差出スヘシ此場合ニ於テハ代人ハ本書ニ代人タルノ肩書ヲ付シ記名捺印スヘシ
「受取人」ノ印章ハ請求書ニ押捺シタルモノト同一ノモノニ限ル
「受領金額」五圓以上ノモノハ規定ノ收入印紙ヲ貼附消印スヘシ但シ營業ニ關セザルモノハ此限ニテラス

○現金領收證ヲ金庫ヘ向ケ廻送ノ途中紛失シタル場合處

理方ノ件 明治二十三年十月二日
大藏省訓令第一三二號

送金ヲ要スル仕拂命令及仕拂請求書ニ對シ金庫送達ノ後手債主ヨリ規定ノ領收證書ヲ金庫ニ向ケ廻送ノ途中ニテ紛失シタル場合ニ於テハ金庫ヨリ債主ニ向テ更ニ適宜ノ領收證書ヲ請求シ之ヲ規定ノ領收證書ニ代用スルヲ得ル儀ト心得ヘシ

○仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル取扱手續 明治三十八年七月二十七日
大藏省令第三九號

明治二十三年七月大藏省令第十八號仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ニ關スル手續左ノ通改正ス

- 第一條 仕拂命令、仕拂請求書、仕拂命令官ヨリ交付シタル通知書若クハ出納官吏ヨリ交付シタル引出切符ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタル時ハ記名者ヨリ署名捺印シタル書面ヲ以テ其旨ヲ仕拂命令仕拂請求書通知書引出切符ニ指定シタル金庫ニ届出ツヘシ
- 届書ニハ其種類ニ從ヒ左ノ事項ヲ記載スヘシ
 - 一 仕拂命令仕拂請求書ナルトキハ金額、番號、年度、科目、振出日附、仕拂命令官ノ官氏名、仕拂フヘキ金庫名、受取人氏名住所
 - 二 通知書ナルトキハ金額、番號 (仕拂命令又ハ仕拂請求書ノ番號共) 年度、仕拂フヘキ金庫名、通知書ヲ交付シタル官廳並ニ仕拂命令官ノ官氏名、受取人氏名住所
 - 三 引出切符ナルトキハ番號、金額、振出日附、出納官吏官氏名、仕拂フヘキ金庫名、受取人氏名
- 届書ニ捺捺スル印章ハ前ニ仕拂命令官又ハ出納官吏ニ差出シタル請求書又ハ受取書ニ捺捺シタル印章ト同一ナル印章ヲ用ユヘシ
- 第二條 金庫ニ於テ前條ノ届書ヲ受ケタルトキハ既ニ仕拂濟ナルトキハ其ノ旨ヲ届出人ニ告ケテ届書ヲ返付シ若シ仕拂以前ナルトキハ案内仕拂命令、案内仕拂請求書、仕拂命令、仕拂請求書又ハ金額氏名表、案内引出切符若クハ金庫事務規程ニ依リ振換拂ノ通知ヲ受ケタルモノナルトキハ其ノ通知書ニ仕拂故障アル旨

- ヲ附箋シ届書ハ仕拂命令官又ハ出納官吏ニ送付スヘシ但届出人ニ對シテハ届書ノ受取證書ヲ渡スヘシ
- 第三條 仕拂命令官又ハ出納官吏金庫ヨリ届書ノ送付ヲ得タルトキハ之ヲ調査シ正當ナリト認ムルトキハ其ノ旨ヲ届書ニ記入シ署名捺印シテ金庫ニ還付スヘシ
- 第四條 金庫ニ於テ仕拂命令官又ハ出納官吏ヨリ届書ノ返付ヲ受ケタルトキハ債主ニ通知シテ仕拂ヲ爲スヘシ

○仕拂命令仕拂請求書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタル時ノ

取扱手續 明治二十三年八月二十二日
大藏省訓令第一二二號
改正 明治二十六年
大藏省訓令第六九號
明治三十八年
同第六〇號

- 仕拂命令仕拂請求書引出切符及通知書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタルトキニ係ル取扱手續左ノ通相定ム
- 第一項 金庫ニ於テ仕拂命令等盜難又ハ亡失ノ場合ノ取扱ニ關スル大藏省令第二條ニ依リ届出人ニ交付スヘキ届書ノ受取届書ハ本訓令附屬書式ニ據リ調製スヘシ
- 第二項 金庫ニ於テ同省令第四條ニ據リ仕拂命令官又ハ出納官吏ヨリ届書ノ返付ヲ受ケ現金ノ仕拂ヲ爲ストキハ債主ヨリ届書ニ用ヒタル印章ト同一ナル印章ヲ捺捺シタル現金ノ受取證書ニ前ニ金庫ヨリ渡シ置キタル届書ノ受取證書ヲ添ヘ差出サシムヘシ
- 但金庫ヨリ債主ヘ現金仕拂ノ通知ヲ爲ストキ本文現金ノ受取證書及前ニ渡シ置キタル届書ノ受取證書共提供スヘキ旨ヲ通知スヘシ
- 第三項 金庫ニ於テ仕拂命令仕拂請求書ノ裏面ニ據リ金庫所在地外ノ債主ヘ送金手形若クハ爲替手形ヲ郵便ニテ債主ヘ回送ヲ爲シタル際債主ニ於テ仕拂命令官ヨリ交付セシ通知書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタルニ付其債主ヨリ差出シタル同省令第一條ノ届書ヲ受クルトキハ同第二條ニ據リ取扱フヘシ (金庫ヨリ爲替手形送金手形ヲ郵便ニテ債主ヘ送付スルモ債主ヨリ既定ノ領收證書ヲ金庫ニ差出サシムル間ハ未タ現金仕拂ノ執行ヲ結了セシモノニ非サリシニ依ル)
- 第四項 前項届書ヲ仕拂命令官又ハ出納官吏ヨリ返付シ來ルトキハ金庫ハ債主ヨリ届書ニ用ヒタル印章ト同一ナル印章ヲ捺捺シタル回送金額ノ受取證書及金庫ヨリ渡シ置キタル届書ノ受取證書ヲ差出サシム之ニ據

リ仕拂ヲ完結スヘシ

第五項 金庫ニ於テ仕拂命令仕拂請求書ノ裏面ニ據リ金庫所在地外ノ債主ヘ現金ヲ以テ交付スル爲メ遞送人ヲシテ回送ナサシメタル際債主ニ於テ仕拂命令官ヨリ交付セシ通知書ヲ盜取セラレ又ハ亡失シタルニ付之ヲ徵スルコト能ハサルトキハ遞送人ハ現金ヲ交付セサルモノトス故ニ此場合ニ於テ其債主ヨリ差出シタル同省令第一條ノ届書ハ同第二條ニ依リ取扱フヘシ

第六項 前項ノ届書ヲ仕拂命令官又ハ出納官吏ヨリ返付シ來リタルトキハ金庫ハ仕拂ヲナス爲メ更ニ遞送人ヲシテ現金ヲ送達セシメ届書ニ用ヒタル印章ト同一ナル印章ヲ押捺シタル受取證書及前ニ金庫ヨリ渡シ置キタル届書ノ受取證書ト引換ニ現金ヲ債主ニ交付スヘシ

原	符	金庫	受取	證	書
第 何 號	一 通	一 仕拂命令ノ金額 但 一 仕拂命令ノ番號 一 仕拂命令官官氏名	一 仕拂命令ノ金額 但 一 仕拂命令ノ番號 一 仕拂命令官官氏名	一 仕拂命令ノ年度 一 會計主務官官氏名	一 仕拂命令ノ年度 一 會計主務官官氏名
明治何年何月何日		明治何年何月何日	明治何年何月何日	何府縣何市町村何番地	何地 金 庫 圖
何府縣何市町村何番地	何府縣何市町村何番地	何地 金 庫 圖	何地 金 庫 圖	何地 金 庫 圖	何地 金 庫 圖

備考 (用紙寸法適宜)
仕拂請求書通知書領收證書仕拂切符及引出切符ニ係ル分モ此書式ニ依ル

○會計規則第三十五條但書ニ依リ仕拂命令及仕拂請求書

誤拂過渡發見シタルトキ整理手續

改正 明治二十四年 大藏省令第一二號 明治二十六年 明治三十三年 同第三〇號 同第一七號

會計規則第三十五條但書ニヨリ金庫ニ送付シタル仕拂命令及仕拂請求書ニシテ受取人ニ現金交付前ニ於テ誤拂過渡ニ出テタルコトヲ發見シタルトキ整理手續左ノ通定ム

第一條 仕拂命令官ヨリ仕拂命令及仕拂請求書ノ金額誤拂過渡ニ付歳入ニ編入ノ儀金庫ヘ請求スヘシ但仕拂命令及仕拂請求書ノ金額一部分誤拂過渡ナルトキハ其一部分ヲ受取人ニ交付シ殘額ハ歳入ニ編入ノ儀金庫ヘ請求スヘシ

第二條 前條ノ請求書ニハ左ノ事項ヲ詳記スヘシ
一 仕拂命令及仕拂請求書ノ金額、番號、年度、科目、振出日附、仕拂命令官官氏名、受取人氏名
一 誤拂過渡ヲ歳入トスヘキ歳入ノ主管廳名、取扱廳名、歳入徵收官官氏名及歳入ノ年度

第三條 仕拂命令官第一條ノ請求ヲ爲シタルトキハ同時ニ誤拂過渡ノ金額歳入ニ編入ノ儀ヲ歳入徵收官ニ通知スヘシ

第一條但書ノ場合ニ於テハ仕拂命令官ハ正當ニ交付スヘキ金額ニ對スル通知書ヲ作り之ヲ債主ニ交付シ前ニ交付シタル通知書ハ取上廢棄スヘシ

第四條 第一條ノ請求ヲ受ケタルトキハ金庫ハ誤拂過渡ノ金額ヲ歳出ノ手續ヲ以テ拂出シ直チニ之ヲ請求書ニ指定ノ歳入主管廳取扱廳及歳入徵收官ノ收入トシテ歳入ニ受入ルヘシ此場合ニ於テ金庫ハ直チニ其趣ヲ仕拂命令官及歳入徵收官ニ通知スヘシ

第五條 前條ニ依リ金庫ヨリ仕拂命令官ニ送付スル通知書ニハ第二條一項ノ事項ヲ記入スヘシ但仕拂命令及仕拂請求書ノ金額一部分誤拂過渡ノ場合ニハ其誤拂過渡ニ係ル金額ヲモ記入スヘシ

前條ニ依リ金庫ヨリ歳入徵收官ニ送付スル通知書ニハ第二條一項及二項ノ事項ヲ記入スヘシ

第六條 (削除)

第七條 本大藏省令第十七號ニ依リ定メタル書式ノ仕拂命令及仕拂請求書ニシテ本令ノ場合ニ係ルトキ其國庫納金引去高ハ總テ本年勅令第二百五號官吏遺族扶助法納金收入規則ニ依リ當該主管廳取扱廳ノ歳入ニ立テ其他ハ本令ニ依リ收支ノ手續ヲ爲スヘシ

○大藏省所管諸拂戻及缺損補填金仕拂要求書書式

明治二十六年十二月二十日
坤第一五八九號大藏大臣官房第四課長通知

當省所管諸拂戻及缺損補填金諸拂戻金仕拂要求書樣式之義明治二十五年十月三日坤第九六〇號ヲ以テ及御通知置候處明治二十七年一月一日以降別紙樣式ノ如ク改正候條此段申進候也

(別紙)

用紙美濃紙又ハ半紙「半截」野紙

諸拂戻及缺損補填金諸拂戻金仕拂要求書

明治何年度明治何年何月何日收入濟

何々(款) 何々(項) 何々(目)

何府何國何郡何村何番地(現住地)

一金何圓也

債主 何

某

但何々拂下代何々(事由及計算ノ基ク)ニ依リ過(誤)納ノ分明治何年何月何日拂戻ノ決定ヲ達シ明治何年何日何日債主ヨリ仕拂ノ請求書差出シタル分

○外國購入品ノ仕拂金額其他海外支出金額報告方ノ件

明治四十二年九月十八日
達第七九四號

正貨海外拂額調査ノ爲メ必要ニ付外國購入品ノ仕拂金額其他海外支出金額ヲ左記樣式ニ依リ毎月ノ仕拂高ヲ翌月五日迄ニ報告スヘシ(二廉以上ニ跨ルトキハ合計ヲ付スヘシ)

但シ本年四月以降八月迄ノ分ハ此際本樣式ニ依リ月別トシ直チニ報告スヘシ

(樣式)

番號

明治 年 月 日

總 裁 宛

部 局 所 長

何年何月分海外拂額報告

科 目	金 額	區 別
建設費		
改良費		
用品費		
計		

備考

本表ニハ直接(外國ヘ直接ニ支)間接(内地商人ニヨリ外國ニ注文スルモノ又ハ内)ニ購入スル物品ノ仕拂金額又ハ其他ノ事由ニ依リ海外ニ送金スル金額ヲ掲記スヘシ

○前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スル取扱規程

明治二十二年十二月二十八日 改正 明治二十六年
大藏省令第一六號 大藏省令第二六號

會計法第二十三條但書ニ依リ前金渡概算渡ノ返納金ヲ定額ニ戻入スルノ取扱規程ヲ定ム

第一條 前金渡概算渡ノ返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入スルノ取扱規程

第二條 返納告知書ヲ發シ同時ニ通知書ヲ金庫ニ送付スヘシ

第三條 返納人ハ返納告知書ニ現金ヲ添ヘ其返納告知書ニ指定シタル金庫ニ之ヲ拂込ムヘシ

第四條 前金渡概算渡ノ返納金ニシテ經費ノ定額ニ戻入ヲ要セサルモノハ通常歳入金取扱手續ニ依リ返納人ヲシテ金庫又ハ收入官吏ニ納入セシムヘシ

第五條 本規程ニ依リ發スル返納告知書ハ左ノ書式ニ依リ調製スヘシ

第四章 收入支出 第二節 支出

書知通

第「何」號	「某」年	度	「所管廳」	返納人「何」	「某」
「經常(臨時)」	「何」々	(款)	「何」々	(項)	
「一金」何	程				
右領收定額ニ戻入候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
「何」地金庫					

書證收領

第「何」號	「某」年	度	「所管廳」	返納人「何」	「某」
「經常(臨時)」	「何」々	(款)	「何」々	(項)	
「一金」何	程				
右領收候也					
明治「何」年「何」月「何」日					
「何」地金庫					

書知告納返

第「何」號	「某」年	度	「所管廳」	返納人「何」	「某」
「經常(臨時)」	「何」々	(款)	「何」々	(項)	
「一金」何	程				
右「何」年「何」月「何」日「何」地金庫へ返納スル					
明治「何」年「何」月「何」日					
「何」地金庫宛					

書知通

第「何」號	「某」年	度	「所管廳」	返納人「何」	「某」
「經常(臨時)」	「何」々	(款)	「何」々	(項)	
「一金」何	程				
此返納告知書本日發行候條現金領收ノ上定額ニ戻入取計ヲ要ス					
明治「何」年「何」月「何」日					
「何」地金庫宛					

備考
「領收證書金庫通知書用紙」ニハ返納ノ金額番號定額戻入ヲ要ス、キ年度科目等返納告知書發行廳ニ於テ記入スルモノトス
用紙適宜縦四寸五分横三寸三分ノモノ、四枚接續

(備考)

其一 遞信書記官照會 (明治二十四年二月七日)

返納告知書ヲ交付後納人ニ於テ納金前紛失シタルトキハ更ニ發行シ納金後金庫ノ領收證書紛失シタルトキハ金庫ノ證明書ヲ得テ差出サセ仕拂命令官ハ之ヲ受領シテ別ニ證明書ヲ作り納人へ交付致シ可然乎

大藏省主計局長回答 (明治二十四年二月十日)

右ハ御見込ノ通り御取扱相成可然候

其二 外務大臣官房會計課長照會 (明治二十七年二月十六日)

議ニ及御照會候不用トナリタル旅費定額戻入取扱方ニ關シ本月五日坤第五〇〇號貴信ヲ以テ先年當省ニ於テマニラ領事館へ送金シタル旅費債主出發後到着不用トナリタル先例有之ニ付右整理方取調可然旨御回答ノ趣了承然ルニ右マニラ領事館へ送附セシハ前渡金ニテ後チ經費仕拂殘額トシテ歳入金ニ編入シタルモノニ有之先般御照會ニ及ヒタル旅費ハ概算渡ニシテ其送金本人へ到着前辭職シタルカ故ニ不用ニ相成其儘返戻シ來リテ金庫ニ保管シアルヲ以テ之ヲ定額ニ戻入セントスルモノニ有之候ハ自ラ其性質相異リ居候ニ付本件ノ先例ニモ相成ラサル儀ニ候依テ右定額戻入方ニ關シ若シ別ニ先例無之儀ニ候ハ如何ノ手續ヲ以テ取扱可然哉御意見承知致度

大藏省主計局回答 (明治二十七年二月二十八日)

今回當省大臣ヨリ別紙寫ノ通金庫出納役へ令達相成候ニ付該達ノ趣旨ニ依リ御整理相成可然 (別紙)

仕拂命令官ヨリ金庫ニ送附シタル仕拂命令若クハ仕拂請求書ニシテ受取人ニ現金交付前ニ於テ誤拂過渡ニ出テタルコトヲ發見シ仕拂命令官ヨリ仕拂命令若クハ仕拂請求書ノ金額誤拂過渡ニ出テタル旨ヲ以テ左ノ事項ヲ記入シタル定額戻入請求書ノ送附ヲ受ケタルトキハ金庫ハ該請求書ノ指定ニ從ヒ戻入ノ手續ヲ爲シ直チニ其旨ヲ當該仕拂命令官ニ通知スヘシ仕拂命令若クハ仕拂請求書ノ金額、番號、年度、所管廳科目、振出日附、仕拂命令官官氏名、受取人氏名、

其三 司法大臣官房會計課長照會 (明治二十七年三月十日)

定額戻入ノ後誤認ヲ發見シ歳入へ編入ヲ要スルトキ整理手續ニ付明治二十四年六月貴省令第十五號ヲ以テ規定相成居候處右ハ會計規則ノ改正ニ伴ヒ自然消滅セシヤニ思考致候果シテ然ラハ爾後如何ナル手續ニ依リ更正可然哉

大藏省主計局回答 (明治二十七年四月四日)

一 仕拂命令官ハ返納告知書ヲ以テ定額ニ戻入シタル金何程ハ誤謬ナルニ依リ其定額戻入ヲ取消シ更ニ歳入ニ編入ヲ要スル旨ヲ金庫へ請求スル事
但該請求書ニハ返納告知書ノ番號日附年度主管廳科目金額返納人氏名及歳入ノ年度主管廳取扱收入官吏ヲ附記スルモノトス

- 二 仕拂命令官前項ノ請求ヲ爲シタルトキハ直チニ其旨ヲ歳入調定官ニ通知シ調定官ハ之ヲ收入官吏ニ通知スル事
 - 三 金庫ハ第一項ノ請求ヲ受ケタルトキハ其請求書ニ指定ノ定額戻入ヲ取消シ更ニ之ヲ其歳入ニ編入シタル上直チニ其旨仕拂命令官及收入官吏ニ通知スル事
 - 但收入官吏ニ送附スル通知書ニハ第一項但書ニ依リ請求書ニ記載スヘキ事項ヲ附記スルモノトス
 - 四 收入官吏ハ第二項ノ通知ニ依リ調定済ノ記帳ヲナシ第三項ノ通知ニ依リ收入済ノ記帳ヲ爲ス事
- 其四 大藏大臣通牒 (明治二十七年二月二日 乾第一三八號)
- 明治二十三年六月二十三日附乾第二三八三號追書ヲ以テ作業及鐵道會計返納告知書式ノ儀ニ付及御通牒置候處右ハ客年大藏省令第二十六號返納告知書式ニ準シ調製シ該書式申「所管廳」ヲ「何々廳」(作業所又ハ鐵道局)ニ「經營(臨時)」ヲ「作業(鐵道)會計部」ニ改メ御發行相成度此段及御通牒候也

○仕拂命令仕拂請求書ニ「イロハ」等記號ヲ附シタルモノ

ニシテ定額戻入ヲ要スルトキ該記號附記ノ件 明治二十三年八月十四日 大藏省訓令第一一八號

仕拂命令仕拂請求書ニ「イロハ」等ノ記號ヲ附シタルモノニシテ定額戻入ヲ要スルトキハ其要求書仕拂命令番號ノ欄ニモ該記號ヲ附記スル儀ト心得ヘシ

(備考)

其一 大藏大臣照會 乾第四四七三號 (明治二十六年十一月二十四日)

定額ニ戻入ヲ爲シ得ヘキ期限ヲ過キ返納人現金ヲ金庫ニ納入シタル場合ニハ金庫ニ於テ之ヲ其納入アリタル日ノ屬スル年度ノ歳入トシテ領收シ其旨ヲ當該仕拂命令官ニ通知可致答ニ付仕拂命令官右ノ通知ヲ受ケタルトキハ右金額ノ歳入科目取扱主任收入官吏官氏名等ヲ當該金庫ニ通知シ同時ニ本文金額歳入ニ編入方ヲ歳入調定官ニ通知シ歳入調定官ハ其金額科目年度等ヲ主任收入官吏ニ通知セシムル事ニ御取計相成度候也

其二 大藏大臣照會 乾第六〇一號 (明治二十七年四月九日)

客年十一月二十四日附乾第四四七三號ヲ以テ定額ニ戻入シ得ヘキ期限ヲ過キ返納セシ金額ハ金庫ニ於テ歳入トシテ領收スル旨及御照會置候處甲年度ノ定額ニ戻入スヘキ返納告知書ヲ發シ乙年度六月三十日(作業及鐵道會計ハ甲年度三月三十一日)ヲ過キ定額ニ戻入シテラサルモノアルトキハ當該仕拂命令官ハ其返納金ヲ歳入トシテ納附スヘキ歳入科目取扱主任收入官吏氏名等ヲ豫メ關係金庫ヘ通知相成候様御取計有之度此段及御照會候也

其三 鐵計出發第四八八號ノ一 (明治三十七年六月二十一日)

從來俸給、旅費ニシテ定額ニ戻入シ得ルモノハ誤拂ニ屬セサルモノ、ミニ限リ處理致シ來リ候處前金渡概算渡等ノ名義ノ下ニ仕拂タルモノニ

シテ誤拂過渡トナリタルモノハ總テ定額ニ戻入スルコトニ致度候條自今右ニ依リ御取扱有之度此段申進候也

○二線路又ハ一航路ニ亘リ配給ノ物品決算費目及

其他ノ件 明治四十五年四月九日 達第三三一號

一 明治四十五年度以降二線路又ハ一航路以上ニ亘リ配給スヘキ物品ハ可成直決算トセス用品費ニテ購入スヘシ

二 他局所負擔ニテ經費ノ仕拂要求ヲナスハ用品及工作費ニ限ル

三 坑所ニテ受領シ直ニ機關車ニ配給スル石炭其ノ他受領後倉庫ニ收納セシテ直ニ所要局、課、所ニ配給スル物品ハ其ノ購入代ヲ一旦用品費ノ支辨トシタル場合ニ於テモ倉庫割掛ヲ付スルヲ要セス但シ其ノ取扱諸費及損減カ用品費ノ負擔ニ屬スル場合ハ此ノ限りニアラス

(備考)

本年四月九日達第三三一號第二號ニ關シ他局所々要物品購入代整理方(四十五年四月十五日公報注意)

- 一 所要局課所ヨリ科目付請求券ニヨリ物品ノ請求アリタル場合ニ貯藏ナキ時ハ倉庫課又ハ計理課ニ於テハ之レヲ貯藏申告券ト看做シ相當欄ニ「代用貯藏申告券」ノ捺印ヲナシ用品費扱トシテ購入ノ手續ヲナスヘシ
 - 二 前項ニ依リ注文物品ヲ直接所要局課所ニ納入セシメタル場合ハ當該局課所ニ於テハ貯藏品ヨリ購入シタルモノトシテ出納簿ニ登記シ當該支出科目ト用品及工作收入ト振替計算ノ手續ヲナシ納品證ニ「振替收入済」ノ印ヲ捺捺シ倉庫課又ハ計理課ニ送付スヘシ
 - 三 倉庫課又ハ計理課ニ於テハ前記納品證ニ依リ用品所屬物品出納簿ニ登記シ備考欄ニ「現品ハ何月何日何所ニ納入済」ノ旨記入シ同時ニ物品賣拂及納入ニ對スル代金仕拂ノ手續ヲナスヘシ
 - 四 注文物品カ倉庫課又ハ計理課ニ納入セラレ所要局課所ニ配給セラレヘキ場合ハ用品費ヨリ代金仕拂ノ手續ヲナシ現品送付ノ後直チニ代價明細書ヲ送付スヘシ
 - 五 配給ヲ受ケタル當該局課所ニ於テハ前記明細書ニ依リ當該支出科目ト用品及工作收入ト振替計算ヲナシ其旨倉庫課又ハ計理課ニ通知スヘシ
 - 六 現在貯藏品ヲ配給スル場合亦前二項ニ準ス
- 明治四十五年四月十五日注意事項現在貯藏品ヲ配給シタル場合及他局、課、所、所要物品購入代整理方(四十五年五月四日公報注意)
- 一 他局課所ニ貯藏品ヲ配給シ代價明細書ヲ送付シタルトキハ其日ノ分ヲ取纏メ決算負擔個所別ニ貯藏品出納代價報告書ヲ調製スヘシ
 - 二 代價明細書發送ノ際ハ倉庫名、所屬年度、發送月日及合計金額ヲ記載スヘシ但シ明細書二葉以上ニ亘ルトキハ之カ總計金額ヲ末葉ニ計上

- スヘシ
- 三 前項明細書合計額又ハ總計金額ニ厘位ヲ生シタルトキハ適宜之ヲ割掛ヨリ切捨ツヘシ
- 四 決算負擔個所前項ノ明細書ヲ受ケタルトキハ即日振替計算ノ手續ヲ爲スヘシ但シ各倉庫ノ分ヲ集計シテ振替計算ノ際ハ即納通知書又ハ徵收要求書ニ倉庫別内課金額ヲ記載スヘシ
- 五 即納通知書又ハ徵收要求書ニハ欄外適宜ノ場所ニ「何々ハ收入濟通知ヲ要ス」(何々トハ横濱、名古屋等ヨリ配給ヲ受ケタル)ト記載スヘシ
- 六 現金出納官吏振替收入濟ノ上ハ所屬年度、收入科目、項、目、及金額(内課金額アルモノハ之ニ依ル)ヲ記載シテ直ニ指定ノ個所ニ通知スヘシ
- 七 四十五年四月十五日注意事項第二項當該支出科目ト用品及工作收入ト振替計算ノ場合ハ即納通知書又ハ徵收要求書ニ契約シタル局、課、所名ヲ記載スヘシ
- 八 工場落成品モ前各項ニ準シテ整理スヘシ

鐵道運送ノ附隨費立替拂ヲ要スルトキハ其仕拂ハ拂戻金ニ收入ハ貨物賃金ニ準シ取扱フヘシ

○官設鐵道ニ於テ徵收シタル通行稅拂戻金ハ一時繰換支

辨ノ件 明治三十八年二月十六日 勅令第三五號

官設鐵道ニ於テ徵收シタル通行稅ノ拂戻ヲ要スルトキハ逓信省所管官設鐵道特別會計ニ屬スル諸拂戻金ノ現金前渡ヲ受ケタル出納官吏ハ其現金ヲ以テ一時繰換支辨スルコトヲ得

○出納官吏ニ於テ俸給送金シタル場合整理手續 明治四十年五月二十八日 鐵計會發第三八三號

- 一 俸給ヲ送金シタル場合ハ左ノ手續ニ依リ整理スヘシ
- 一 繰替拂ニヨル俸給ノ送金ハ現金支給高ノミ送金スヘシ
- 一 前項送金ニ對スル國庫納金引去高ハ金庫ノ雜部保管金仕拂濟通知書ヲ受ケタルトキ直ニ金庫ニ拂込ムヘシ
- 一 前項拂込ニ對スル金庫ノ領收證書ハ雜部保管金仕拂濟通知書ト共ニ仕拂ノ證憑書トシテ仕拂命令官ニ提出スヘシ

一 收入計算書ノ證憑書トシテ會計検査院ニ提出スヘキ國庫納金引去額ノ拂込ミニ對スル金庫ノ領收證書ハ其寫シヲ提出スヘシ

○仕拂ノ數日ニ亘ル場合傳票整理手續 明治四十一年三月十一日 鐵計會發第三九〇號

- 繰替傳票中仕拂ノ數日ニ亘ル場合ニ於ケル整理手續左ノ通相定ム
- 但シ明治四十年六月鐵計會發第四〇〇號ハ廢止ス
- 第一項 出納官吏ニ於テ繰替傳票中仕拂ノ數日ニ亘ルモノアルトキハ最初仕拂ノ日ニ於テ該傳票ニ仕拂濟證憑書類ヲ添附シ繰替命令官ニ提出スルモノトス
- 第二項 出納官吏前項ノ繰替傳票中仕拂未濟ノ分ニ對シテハ科目毎ニ「仕拂未濟」ト朱書スヘシ
- 但シ一科目中或部分ノ仕拂未濟トナリタルトキハ「内金何程仕拂未濟」ト朱書スヘシ
- 第三項 第二回以後ノ仕拂ニ對シテハ左記様式ノ仕譯書ヲ調製シ第一項ニ準シ繰替命令官ニ提出スヘシ
- 第四項 仕拂未濟ノ分ニ對シ仕拂ヲ爲シ難キモノアル場合ハ前項ノ仕譯書中適宜ノ箇所ニ其事由ヲ朱書シ證憑書類ト共ニ之ヲ繰替命令官ニ返戻スヘシ
- 但シ送金中ニ係ルモノニシテ當應歲入歳出年度末整理手續第十一條ニ依リ五月分繰替拂月計表提出期限迄ニ金庫ヨリ雜部保管金仕拂濟通知書ノ到達ナキ場合ハ前項ノ仕譯書ニ證憑書類ヲ添附シ繰替命令官ニ提出シテ翌年度ニ更正ノ手續ヲ求ムヘシ
- 第五項 繰替命令官前項本文ノ書類ヲ受ケタルトキハ直チニ當該仕拂要求官ニ返戻シ同但書ノ要求アリタルトキハ年度ヲ更正シテ檢印ヲ爲シ再ヒ出納官吏ニ交付スルト同時ニ其旨當該仕拂要求官ニ通知スヘシ
- 第六項 第一項及第三項ノ場合ニ於テ證憑書類ノ分割シ難キモノアルトキハ最初仕拂ノ日ニ於テ總テ之ヲ繰替命令官ニ提出シ(仕拂未濟ノモノニ對シテハ一債主毎ニ「仕拂未濟」ト朱記)第二回以後ノ仕拂ニ對シテハ債主ノ領收證書ノミヲ提出スヘシ
- 第七項 第四項及第五項ノ場合ニ於テ前項ニ依リ添附スヘキ證憑書類ナキトキハ出納官吏ニ於テ便宜調書ヲ調製添附スヘシ

樣式

仕拂未済金任譯書		年 度
一金	傳 票 番 號	年 月 日 仕 拂 高
同 日 付	仕 拂 要 求 書 發 行 者 名	
科 目	明 治 年 月 日	
	出 納 官 吏 氏 名 印	

○會計事務取扱方ノ件明治四十年五月六日 公報注意

一 自今仕拂要求書附屬證憑書ノ内請求書若クハ任譯書（一債主毎ニ又一債主ノ請求書數葉アルトキハ請求書毎ニ）繰替拂命令官ニ於テ左ノ印ヲ捺捺スヘキ事

一寸五分

六 部、局、所名、	號	傳票番記號
分 何々第		

二 仕拂要求官ニ於テ仕拂要求書附屬證憑書ニ捺捺スヘキ科目印往々脱落シ整理上差支候條一層注意シ自今其科目印ハ款、項、目ヲ必ス捺捺スヘキ事

三（消滅）

四 會計事務取扱規程第三十五條ニ依リ毎日電報ヲ以テ報告スヘキ保管金現在高ハ現金出納簿ノ殘高ヲ報告スルニ非スシテ送金シタル場合ニ未タ雜部保管金仕拂濟通知書受領以前ト雖モ既ニ仕拂濟ト看做シ該金額

ヲ控除シタル高ヲ報告スヘキ事

五 派出繰替拂ニ對スル繰替拂日計表ハ結了歸還後調製提出スヘキ事

○鐵道建設費及改良費決算整理手續明治三十三年五月十七日 達第三三號

鐵道建設並官設既成鐵道改良費決算整理手續別紙ノ通相定メ三十三年度ヨリ施行ス

第一項 鐵道建設費及官設既成鐵道改良費ノ節及細節ノ決算ハ當該部長出張所長ニ於テ整理スヘシ

第二項 此手續ニ於テ仕拂要求書ノ内發行ノ際ヨリ各目ニ對シ節及細節マテ決算ノ判明セルモノヲ確定要求書ト稱シ物品代其他ノ内ニ於テ前決算ノ判明セサルモノヲ未決要求書ト稱ス

第三項 當該部長出張所長ハ第一項ノ金額ヲ整理スルカ爲メ別紙書式ノ前金拂概算渡内譯簿未整算内譯簿及整算内譯簿ヲ備フヘシ但本文諸帳簿ニ相當スルモノヲ既ニ設備シアル向ハ三十三年度ニ限り之ヲ準用スルコトヲ得

第四項 當該部長出張所長ハ確定要求書ノ謄本中節細節マテヲ掲記シ之ヲ以テ整算内譯簿ヘ記入ノ手續ヲ爲サシムヘシ但シ便宜ト認ムルトキハ要求書正本ニ節細節マテヲ掲記スルモ妨ケナシ

第五項 未決要求書各目ノ金額ハ先ツ前金拂概算渡内譯簿又ハ未整算内譯簿ヘ各記入シ其決算ノ判明セル時期ニ於テ相當ノ證憑書ヲ徴シ之ヲ以テ同簿ノ整算高及整算内譯簿ヘ記入ノ手續ヲナサシムヘシ但前金拂概算渡ノ整算ハ判明スルモ節細節ニ對スル決算ノ判明セサルトキハ更ニ其金額ヲ未整算内譯簿ヘ轉記シ其決算ノ判明セル時期ニ於テ本項手續ヲ爲スヘシ

第六項 當該部長出張所長ハ毎年度ノ終ニ於テ前金拂概算渡内譯簿未整算内譯簿並ニ整算内譯簿ノ結果ニ依リ第一號第二號及第三號書式ノ報告書ヲ調製シ之ヲ計理部長ニ報告スヘシ但所長ノ分ハ主管部長ヲ經由スヘシ

○請負工事既成及物品既納部分ニ對スル支拂方ハ圓位ニ

止ムル件明治三十一年四月十三日 鐵道乙第七七四號計理部長通牒

會計規則第六十八條ニ基キ工事既成及物品既納部分ニ對シ代價支拂上支障ナキ限りハ從來其代價ノ五分ノ四

以內即チ厘位迄算出拂渡來候處爾後右ノ算法ヲ改メ五分ノ四以內ノ請求金額ハ圓位ニ止メ圓未滿ノ端數ハ工
事全部落成又ハ物品皆納ノ後拂渡ス事ニ決定相成候條貴官ニ於テモ右ニ依リ支拂調定有之度此段申進候也

○直營工事ニ使用スル職工人夫賃仕拂方ノ件明治四十五年七月十二日
公報注意

直營工事ニ使用スル職工人夫請負賃金ニシテ數回ニ仕拂ヲ爲ス場合ハ從來現ニ使用シタル人員ニ對スル賃金
ノ十分ノ九以內ヲ仕拂ヒ來リタルモ右ハ現ニ使用シタル人員ニ對スル賃金全額ヲ仕拂フモ差支ナシ

○外國貨幣ヲ以テ支出ヲ要スル爲替取組ノ件明治三十年四月十四日
乾第七五二號大藏大臣通牒

各省所管經費中外國貨幣ヲ以テ支出ヲ要スル費途ノ豫算ハ來ル三十一年度以降我金貨純分ノ比價即チ別表ノ
價格ニ依リ實際爲替取組ノ際生スル増減等ハ都テ國庫ノ負擔即チ大藏省所管經費ニ屬セシムヘキコトニ改正
ノ見込ニ付キ右ニ依リ豫算御調製相成度此段及御通牒候也

追テ在外公館經費等ニシテ我通貨支給ニ係ル費途ノ類實際外國貨幣銀貨共ノ爲替取組ヲ要スル場合ニ於
ケル差金モ本文同様國庫ノ負擔ニ屬セシムヘク候此段申添候也

日本新金貨各國金貨幣換算表

國名	貨幣ノ名稱	單位	日本新金貨ニ換算價格
露	國	ル	一〇三二
蘭	國	フ	〇八〇六
埃	國	ク	〇四〇七
伊	國	ク	〇三八七
佛	國	ラ	〇三七八
獨	國	マ	〇四七六
米	國	ド	二〇〇六
英	國	ポ	九七六三
國	名	貨幣ノ名稱	單位
日本	新金貨	圓	一

○院用品後拂運賃收支手續明治四十二年十二月二十四日
達第一一〇〇號

院用品後拂運賃收支手續左ノ通相定ム
明治四十年十二月計理部長達藏計倉發第六三六一號ハ之ヲ廢止ス

院用品後拂運賃收支手續

- 一 院用品後拂運賃ハ總テ該運賃支出負擔部所ニ於テ收支ノ手續ヲ爲スヘシ
- 二 前項收支ノ手續ヲ爲サントスルトキハ仕拂要求書ヲ調製シ運送通知書又ハ運賃仕譯書ヲ添付シテ之ヲ繰
替拂命令官ニ送付スルト同時ニ該命令官所屬主任出納官吏ニ向テ即納通知書ヲ發行スヘシ但シ即納通知書
事由欄ニハ何月分ノ運賃ナルヤ明記スルヲ要ス
- 三 管理局計理課若クハ出張所計理掛ハ運送通知書又ハ運賃仕譯書ヲ院用品托送部所ニ送付スヘシ
- 四 托送部所ニ於テ前項ノ書類ヲ受ケタルトキ該運賃ニシテ他ノ部所ノ負擔ニ屬スルモノナルトキハ調査ノ
上之ヲ當該支出負擔部所ニ送付スヘシ
- 五 出納官吏振換計算ヲ爲シタルトキハ第三項ノ運送通知書又ハ運賃仕譯書ヲ發シタル管理局計理課若クハ
出張所計理掛ニ向ケ收入濟ノ通知ヲ爲スヘシ但シ該管理局管内竝該出張所各出納官吏ニ於テ收入シタル場
合ハ之ヲ要セズ
- 六 前項ノ收入濟通知ヲ要スルモノハ即納通知書發行官ニ於テ豫メ同通知書ニ其旨竝通知書先ヲ記載スヘシ

○貨物集配賃及貨物積卸料仕拂方ノ件明治四十二年二月十七日
達第九九號

貨物集配賃(内國通運會社取扱ノモノ、如ク數驛ノ分ヲ一箇所ニ於テ支拂ヲ爲スモノハ之ヲ除ク)及貨物積卸
料(荷主負擔ノモノヲ鐵道カ之ヲ引受ケ請負人ヲシテ取扱ハシメタルモノ)ノ支拂方來ル二月一日分ヨリ左記
各項ニ據リ取扱フヘシ
但本達實施ト同時ニ從來ノ諸達ニシテ之ト牴觸スルモノハ自然變更セラレタル義ト心得ヘシ
一 發地拂ニ係ル集荷料及積込料又ハ著地拂ニ係ル取卸料及配達賃ニシテ請負人ヲシテ取扱ハシメタルモノ
ハ之ヲ直チニ其請負人ニ取得セシムヘシ
但運送通知書若クハ著拂賃金收入切符等ノ本項金額ハ現收入ト區別セシムル爲メ抹線ヲ畫スヘシ
二 發地ニテ徵收シタル取卸料及配達賃ヲ著地ニ於テ又著地ニテ徵收シタル集荷賃及積込料ヲ發地ニ於テ各
其取扱請負人ニ仕拂ヲ要スルモノハ關係驛ニ於テ請負人ヲシテ左記様式ノ請求明細書ヲ提出セシメ關係運

送通知書、切符等ト對照調査ヲ爲シタル上線替拂ノ手續ヲ爲スヘシ
 三 線替拂命令官ハ前項ニ據リ仕拂ヒタル證書書類ヲ翌月上旬中ニ計理部調査課（北海道、九州管理局、出張所線及徳島線ニ在ッテハ各其調査主管箇所）ニ送付スヘシ
 四 計理部調査課（同上）ハ前項證書書類ヲ審査シ翌月十五日マテニ仕拂命令官ニ廻付スヘシ
 （様式）

貨物積込料（又ハ取卸料、集荷賃、配達賃）請求明細書
 一金何程
 但何々料又ハ何々賃

通知書又ハ切符	驛名	品名	斤量	個數	割合	金額	記	事
月日	番號	自	至					

右 請求候也
 年 月 日
 右 正 = 領收候也
 年 月 日

請負人 住所 氏名
 何之誰

○立替拂請求書記載事項ノ件 明治四十年十月九日 公報注意

立替拂請求書事由欄ニハ自今單ニ集荷賃荷造費等立替ノ費途ノミヲ記載スルモ妨ケナキコトニ決定セラレタリ

追テ請求書用紙印刷ノ際ハ該請求書ノ備考第一號ヲ相當訂正スルコト

○拂戻ヲ要スル場合仕拂要求書ニ乗客賃金ト通行税トヲ各別記載ノ件 明治三十八年二月二十三日 鐵計出發第一〇三號

乗客賃金及通行税拂戻ヲ要スル場合ハ仕拂要求書附屬證書類中乗客賃金ト通行税トヲ各別記載スヘシ

○仕拂要求書等ニ區間記載方ノ件 明治四十年六月十二日 達第七六號

改良費及補充費決算整理上必要ニ付仕拂要求書及物品請求券共左ノ各線若クハ各事項ニ區分シ區間ノ欄ニ記載スヘシ

- 改良費ニ屬スル分
- 東海道線
 - 信越線
 - 北陸線
 - 市街線
 - 橫濱海陸聯絡線
 - 神戸
 - 大阪
 - 熱田
 - 北海道線

- 補充費ニ屬スル分
- 東海道線
 - 信越線
 - 北陸線
 - 其他建設費各目ノ區間

以上ノ外買收會社線ニアリテハ各事項別

各會社線別

備考

改良費中買收會社線ニ對スル各事項別トハ何所何所間高架線、何所何所間複線、何器械場擴張、何所埋築等ノ類ヲ云フ補充費中買收會社線ニ對スル各會社線別ハ元日鐵線、元山陽線等ノ名稱ヲ用キ區分スルモノトス

○各目金額仕譯書及工事番號内譯書様式 明治三十三年五月一日 鐵計出發第三二二號ノ一計理部長通牒

當局歳入歳出納必要書類ニ依リ調製スヘキ各目金額仕譯書及工事番號内譯書書式ノ通り改正増補候條右様御承知相成度此段及通牒候也
 追テ御部内各仕拂要求官ハ貴部ヨリ本件御通牒相成度此段申添候也

甲號書式

(第一目)

各目金額仕譯書

(丙ノ朱書)

高金何程	一金何程	內譯	工	何	何	稱	數	量(人員)	單	價(價格)	金	額
			事	號	號							
外												
金何程												
右ノ通												
年月日												
(仕拂要求者) 官 氏 名 費												

乙號書式

(第二目以下)

各目金額仕譯書

高金何程	一金何程	內譯	工	何	何	稱	數	量(人員)	單	價(價格)	金	額
但關係書類ノ(目)何々費ニ添付ス												
右ノ通												
年月日												
(仕拂要求者) 官 氏 名 費												

丙號書式

(第一目)

各目金額仕譯書

高金何程	一金何程	內譯	工	何	何	稱	數	量(人員)	單	價(價格)	金	額
外												
金何程												
右ノ通												
年月日												
(仕拂要求者) 官 氏 名 費												

丁號書式 (第二目以下)

各目金額仕譯書	
高金何程	
一金何程	
但關係書類ハ(款)何々費(項)何々費(目)何々費ニ添付ス	
(目)何々費	
右ノ通	
年月日	
(仕拂要求者) 官 氏 名 印	

戊號書式

工事番號内譯書

高金何程	[廉千圓以上直營工事費]	
一金何程	[外]	
[金何程]	[廉千圓未満直營工事費]	
工事番號	内譯	
何	號	名
何	號	稱
何	號	數
何	號	量(人員)
何	號	程
何	號	單
何	號	價
何	號	(買格)
何	號	金
何	號	額
[計]		
[計]		
[計]		
台ノ通		
年月日		
(仕拂要求者) 官 氏 名 印		

逕信省總務局會計課長通牒 明治三十六年六月十二日

賠償及訴訟費ノ項竝ニ旅費ノ項内國旅費ノ支辨ニ屬スルモノニシテ刑事若クハ民事事件ノ爲メ支出ヲ要スルモノニ關シテハ從來概ネ其支出ノ事由タル事件ノ記載方簡略ニシテ要領ヲ得ス差支候間自今其顛末概要ヲ記載シテ證明セラレ度今回會計検査院ヨリ同様申越有之候條必ス右ニ御取扱相成度此段及御通牒候也

○仕拂要求書ノ番號記入方ノ件 明治三十三年六月二十六日 達第五六號

仕拂要求書ノ番號ハ款及仕拂要求先ノ區分ニ依リ各別ニ毎年度第一號ヨリ之ヲ始メ日附ノ順序ニ伴ヒ一ケ年度ヲ通スヘシ

但シ記號ヲ設ケテ項又ハ其他ノ種類ニ依リ同款ニ屬スル要求書ノ番號ヲ二種以上ニ區別スルコトヲ得其區別ヲ爲サントスルモノハ仕拂要求先ニ豫メ其記號及區分ノ要領ヲ通知スヘシ

仕拂要求書ノ番號ニ重複缺號ヲ生シタルトキハ要求官ヨリ其旨ヲ仕拂要求先ニ通知スヘシ
出納規程第四十七條ノ二ニ依リ印鑑ヲ提出シタル調製主任官ハ仕拂要求書ノ合金額及所屬請求書若シクハ仕譯書ノ金額ノ下ニ檢印スヘシ

仕拂要求書ノ金額又ハ債主住所氏名ヲ修正シタルトキハ要求官及調製主任官之レニ證印シ番號年月日ニ修正ヲ加ヘタルトキハ調製主任官之レヲ證印スヘシ

仕拂要求書ニ依リ仕拂ヲ調定スルモノハ他ノ規定ニ依ルノ外要求官氏名押印ノ正否其他前各項ニ適合スルヤ否ヤヲ調査シ若シ不適當ト認ムルモノアルトキハ之ヲ返付シテ修正ヲ求ムヘシ但シ仕拂要求書ノ到達カ番號順ニ依ラス且ツ缺號ノ通知アラサルモ仕拂ノ進行ヲ妨ケス若シ其到達日ヨリ三日間ヲ經過スルモ尙前番號ノ要求書到達セス且ツ缺號ノ通知アラサルトキハ之ヲ要求官ニ照會スヘシ

附則

本年度ノ仕拂要求書番號中右第一項ニ適合セサルモノハ來ル七月一日ヨリ之レヲ改正シ其旨ヲ要求先ニ通知スヘシ

○仕拂更正及戻入傳票發行ニ關スル件 明治四十一年十月三日 公報注意

送金拂ヲ要スル繰替拂傳票ヲ發行シタル後ニ於テ更正又ハ戻入セントスルトキハ雜部保管金仕拂濟通知書到達後更正若クハ戻入傳票ヲ出納官吏ニ交付スルニアラサレハ帳簿上ニ突合ヲ生スルニ付爾後注意ヲ要ス

○更正及戻入要求書番號記入方ノ件 明治三十三年七月二日 鐵計出發第五三九號計理部長通牒

達第五六號ヲ以テ仕拂要求書番號之件通達相成候處更正要求書及戻入要求書ニ就テハ別ニ明文無之候得共右ハ仕拂要求書ト各別號ヲ以テ御發行之事ト御承知相成度此段爲念申進候也

○概算渡赴任旅費ニ對スル精算取扱方ノ件 明治四十年十一月十三日 公報注意

概算渡赴任旅費ニ對スル精算書ハ整理上ノ必要アルニ依リ爾今總テ前キニ概算渡ヲ要求シタル部課所ニ於テ之ヲ徵シ成規ノ取扱ヲナスモノト承知セラレタシ

○仕拂要求書ニ添付スヘキ決議書等提出方ノ件 明治三十二年十一月二十二日 鐵計出發第二六二號ノ二計理部長通牒

仕拂要求書ニ添付スヘキ決議書其他ノ書類ニシテ原本提出難相成事由ハ前以テ會計検査院ニ通牒シ置キ每騰本ニ附記省略ノ儀同院ニ協議ノ爲メ是迄提出ノ騰本ニ右事由附記セラルモノ有之候處同院ニ於テ右協議ニ應シ難キ趣ニ付成規ノ通り原本ヲ提出シ其提出シ難キ者ハ總テ其事由ヲ附記シタル騰本提出候様各要求者ヘ通牒致候間右ニ御了承相成度此段申進候也

○仕拂更正要求書ニ仕譯書添附ノ件 明治四十二年四月二十六日 達第三四一號

- 一 目以上ノ仕拂更正要求書ニハ左記事項ヲ記載シタル仕譯書ヲ添付スヘシ
 - イ 一債主一事項毎ニ更正ノ事由、前仕拂ノ科目、正當科目、仕拂要求書番號、仕拂月（出納官吏ニ於テ記入スルコト）及繰替拂ヲ執行シタル出納官吏名
 - ロ 一仕拂額中一部分ヲ更正スルモノナルトキハ前項ノ外之ニ該當スル品名、數量、及價格
 - 二 四十一年度分更正傳票ニシテ既ニ仕拂命令官ニ提出濟ニ係ルモノハ一ケ月分毎ニ取纏メ此際仕譯書提出スヘシ
- 右會計検査院ノ請求ニヨリ提出ヲ要ス

○旅費請求書及旅行明細書記載例
明治三十五年十二月二十五日 鐵道總局發第2211號ノ一
 從來旅費請求書ニ添附スル施行明細書記載方區々ニ涉リ爲メニ無益ノ手數ヲ勞スルモノ尠ナカラス依テ爾來別紙記載例ノ通り可成簡明ヲ主トシ單純ナル旅行ノ如キハ明細書省略相成度
 單純ナル出張及赴任旅行ニシテ明細書ヲ省略シタルトキノ記載例

旅費請求書	一金拾七圓四拾九錢	內國旅費	日當七分
金參圓五拾錢	但一日五拾錢	汽車賃	哩分
金七圓九拾九錢	但一哩金	帝國鐵道	但一哩金
金六圓	宿泊料	但一夜金壹圓	六夜分
	普通車馬賃	但一里金	里分

右ハ何々用ノ爲メ十二月一日金澤へ出張七日歸着旅行致候
 間右旅費金御渡相成度候也
 明治三十五年何月何日
 右御渡相成正ニ領收候也
 年 月 日
 帝國鐵道 御道廳 中
 右 部 掛 書 記 級 何 何 某

備考
 一 出張地二箇所以上若クハ汽車陸路等ノ跨ル旅行又ハ二旅行ニシテ一請求書トナスモノハ明細書ヲ省略スルヲ得ス
 二 月額汽車賃ノミニシテ日當宿泊料ノ支給ナキ旅費請求書ハ明細書ヲ省略スルコトヲ得

明細書ヲ要スル普通旅行明細書記載例 △印ハ朱書

月	日	發地名	著地名	滞在地名	日當	陸路	汽車哩數	海里數	船	記	事
十一月	二日	新橋	大磯			二二八					
十一月	三日	大磯	國府津								
十一月	四日	國府津	半田								
十一月	五日	半田	多見治								
十一月	六日	多見治	名古屋	名古屋							
十一月	七日	名古屋	神戶				四三二二				
十一月	八日	神戶	京都								
十一月	九日	京都	大坂								
十一月	十日	大坂	名古屋				二七五二				
十一月	十一日	名古屋	新橋								
合計					泊宿當日		二八〇七				
							九				

線路圖外(線路換算)
 本行ノ如キ線路旅行若シテハ會計額アルトキハ其分岐點名部ニ記入スヘシ

備考 汽車哩ハ最後出張地迄ノ合計哩ヲ揭ク

明細書ヲ要スル普通旅行明細書記載例 二

月日	發地名	著地名	滞在地名	泊宿	陸路	汽車哩數	汽里數	記	事
十一月二日	鹿兒島	西國分村	西國分村						
"	西國分村	西國分村							
"	西國分村	西國分村							
二日	西國分村	西國分村							
三日	西國分村	西國分村							
四日	西國分村	西國分村							
五日	西國分村	西國分村							
六日	西國分村	西國分村							
七日	西國分村	西國分村							
八日	西國分村	西國分村							
九日	西國分村	西國分村							
合計									

記事括弧内部 松求麻ハ牧園村上松求麻村所在ノ郵便局名ナリ

○旅行明細書省畧方ノ件 明治四十年十一月一日 公報注意

旅費請求上單純ナル旅行ハ其明細書省畧スルモ旅費請求書及旅行明細書記載例第一例備考一號ニ該當スルモノモ省畧スル向少ナカラス右ハ第一例ノ如キ單純旅行ノ外ハ總テ明細書添付セシムヘシ

○乗務旅費領收證様式 明治三十八年三月十五日 達第三六號

運輸汽車ノ兩部主管中汽車乗組常務者ノ旅費領收證書用紙ヲ別紙ノ通り相定メ來四月一日ヨリ施行ス

何々機關又ハ何々驛

乘務旅費領收之證 乘務汽車賃 乘務汽車賃
 明治 年 月 日 領收 金 百圓以上十圓ニ付
 自 年 月 日 迄 金 五圓以上十圓ニ付
 明 治 年 月 日 迄 金 十圓以上二十圓ニ付
 乘務宿泊料 金 十圓以上二十圓ニ付
 同 外 金 二十圓以上四十圓ニ付
 同 外 金 四十圓以上六十圓ニ付
 同 外 金 六十圓以上八十圓ニ付
 同 外 金 八十圓以上百圓ニ付

姓名	乘務		汽車		合計	金額	乘務宿泊料		支給金額	領收印	記事
	一旅行哩數	合度數	一旅行哩數	合度數			合度數	金額			

備考

- 一 旅行哩數百哩未滿ナル時ハ其哩數ハ朱記スルモノトス
- 二 旅行哩數百哩以上ナル時ハ其哩數ハ黒記セサルモノトス
- 三 行程第五條ノ乘務練習ノモノハ汽車賃ノ欄中其哩數ハ掲記セサルモノトス
- 四 乘務旅行積雜ニ移リ合記スル能ハサルトキハ別記シ明細ニ其理由ヲ記事欄ニ記入スルモノトス

○同上ニ關スル件 明治三十八年十月二十七日 達第一九六號

明治三十八年三月達第三六號乘務旅費領收證汽車部主管ハ欄外機關庫名ノ下ニ自今區間ヲ記入シ運輸部主管ニ在テハ更ニ列車運行表並ニ乘務區間ニ對スル宿泊數調書ヲ豫メ計理部長ニ送付シ爾後異動ヲ生シタルトキハ其都度送付スヘシ

○同上ニ關スル件 明治三十八年十月二十八日 鐵計出發第一〇〇六號

乗務旅費證明ニ付更ニ乗務區間宿泊數調書提出ノ義達第一九六號ヲ以テ長官ヨリ達セラレ候ニ付左ノ書式ニ依リ運輸部長ニ報告シ同時ニ當該主任出納官吏(札幌出張所ハ仕拂命令官)ニ其謄本ヲ送付スヘシ但新橋運輸事務所主管ハ謄本ノ送付ヲ要セス

乗務區間宿泊數調書

區間	種別	宿泊數		記	事
		何	夜		
新橋 静岡 岡間		何	夜		
.....			

右之通候也

年 月 日 宛

備考

- 一 本表宿泊數ハ區間毎ニ最多數ノ夜數ヲ掲記スヘシ
- 二 本表報告後時刻改正其他變更ノ結果泊數ニ異動ヲ生スル時ハ其都度報告スヘシ
- 三 仕拂命令官及出納官吏ハ調書ノ謄本ニ依リ仕拂調定スヘシ
- 四 計理部本部出納官吏ハ静岡岡間出納官吏(新橋運輸事務所主管ノ分)ニハ運輸部庶務掛ヨリ謄本ヲ送付スヘシ

○船舶乗組乗務員旅費領收證様式 明治四十一年四月二十七日 鐵計會發第八〇六號計理部長通牒

船舶乗組員乗務旅費ハ別紙様式ノ領收證ニ依リ支給相成度

但シ内國旅費規則ニ依リ支給スル場合ハ本様式ヲ適用セス普通旅費仕拂ノ用紙ニ依リ整理相成度

船舶乗組員乗務旅費領收書

所屬航路 明治 年 自 至 月 月 日

船名 明治 年 月 日領收

日	當		食卓料		支給金額	記	事	職名	姓名	領收印
	乗務日數	一口ニ付金額	乗務日數	一口ニ付金額						

凡 例

1. 各自渡及總代渡ノモノハ各其計ヲ付シタル上更ニ總計ヲ付シテ要求書調製主任者之ニ捺印スヘシ
2. 各自渡ノモノハ領收印ノ欄ニ各自ノ捺印ヲ爲シ總代渡ノモノハ單ニ總代者ニ於テ捺印スヘシ
3. 仕拂命令官又ハ總替拂命令官ニ於テ調査ヲ了シタルトキハ末尾ノ總計ニ調査員捺印スヘシ
4. 本領收證ニシテ二枚以上ニ亘ルトキハ欄外ニ番號ヲ付スヘシ
5. 上部ニ總代一寸以上ヲ存スヘシ

○中央教習所其他生徒給料領收證ニ線路名記載方ニ關スル件

明治四十五年七月二十日 公報注意

中央教習所、地方教習所、同分教所生徒給料領收證書ニハ爾後線路名記載ヲ要セス

○繰替拂證憑書俸給、給料領收證勤務個所記載方ニ關スル件

明治四十五年七月三十日 公報注意

俸給、給料領收證ノ勤務個所記載方ハ從來機關庫、驛、保線區等ノ文字ヲ省略スル向アリ右ハ整理上支障不尠ニ依リ爾後之ヲ省略セサルコトトシ猶詰所員派出員等ノ勤務個所ニ對シテハ其所屬所、庫、區名等ヲモ記載ヲ要ス

○節以下科目更正ノ結果線路又ハ航路名ニ變更ヲ生シタル
場合申報ノ件 大正元年八月十日
公報注意

節以下ニ於テ科目更正ノ結果該經費ノ所屬線路又ハ航路名ニ變更ヲ生シタルモノニ付テハ當該科目ノ目、金額、件名、數量、單價、所要ノ目的、
前線路又ハ航路名及更正線路又ハ航路名ヲ記入シタル申報書提出ヲ要スル儀ニ付注意ヲ要ス

○繰替拂旅費概算渡證書ニ線路名記載ヲ要セサル件 大正元年十一月十五日
公報注意

旅費概算渡證書ニハ自今線路名記載ヲ要セス

○繰替拂證憑書線路名記載ニ關スル件 大正元年十月二十四日
公報注意

科目更正調書、旅費精算書ニ線路名ヲ記載セサル向アルモ相當線路記載ヲ要ス但科目更正ト共ニ線路名變更スルモノハ前線路名併記ノ事

第五章 現金取扱

○官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金出納

ニ關スル件 明治三十三年三月十二日
法律第五〇號

官設鐵道、郵便、電信、郵便爲替及郵便貯金ニ屬スル現金ノ出納ハ鐵道、郵便、電信、電話官署ノ事務員ヲ
シテ分掌セシムルコトヲ得

前項事務員ニ對シテハ會計法第九章ニ定ムル出納官吏ニ關スル規定ヲ準用ス

附則

本法ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○官設鐵道、郵便、電信、電話官署出納員現金出納ニ關スル件

明治三十三年十一月三十日 改正 明治三十四年 明治四十二年 明治四十四年
勅令第四〇八號 勅令第一七三號 同第六五號 同第六六號

第一條 明治三十三年法律第五十號及明治四十四年法律第二十四號ニ依リ鐵道、郵便、電信、電話官署ノ事
務員ヲシテ現金ノ出納ニ關スル事務ヲ分掌セシムルトキハ主任出納官吏又ハ分任出納官吏ノ所屬出納員ト
シテ之ヲ取扱ハシムヘシ

第二條 出納員ノ領收シタル現金ハ之ヲ所屬出納官吏ニ拂込ムヘシ但所管大臣ニ於テ必要ト認ムルトキハ他
ノ出納官吏又ハ出納員ニ交付セシムルコトヲ得

第三條 出納員ノ出納事務ニ要スル帳簿及様式ハ所管大臣之ヲ定ム

第四條 出納員ハ其ノ現金出納ニ關シテ所管大臣ノ指揮監督ヲ受ク

第五條 出納員ノ身元保證金及之ニ關スル規定ハ所管大臣之ヲ定ム

第六條 本令中所管大臣ニ屬スル職權ハ臺灣ニ在リテハ臺灣總督之ヲ行フ

○鐵道院出納員現金取扱規則 明治四十二年四月一日 改正 明治四十二年 明治四十三年
大藏省令第二〇號 大藏省令第四八號 同第一五號

第一條 鐵道院出納員ハ鐵道院書記、雇員、特別鐵道貨物集配人及特別鐵道驛夫ヲ以テ之ニ充ツ

- 第二條 出納員ハ左ノ範圍内ニ於テ現金ノ出納ヲ爲スヘシ
 - 一 各種ノ歳入金
 - 二 主任出納官吏在勤局所ヨリ派出支拂ヲ要スル繰替拂出金
- 第三條 出納員ハ明治二十三年大藏省令第九號第十九號書式ノ現金出納簿ヲ備ヘ現金ノ出納ヲ登記スヘシ
但シ特種ノ帳簿ヲ以テ現金出納簿ニ代用シ得ル場合ハ此ノ限ニ在ラス
- 第四條 出納員ハ其ノ領收シタル現金ヲ毎日精算シ遲滞ナク其ノ所屬出納官吏ヘ拂込ミ領收證書ヲ受クヘシ
- 第五條 出納員ハ其ノ所屬出納官吏ヨリ現金ヲ受領シタルトキハ領收證書ヲ發スヘシ
- 第六條 特種ノ帳簿ニ依リ現金ノ受授ヲ證シ得ル場合ハ前二條ノ領收證書ヲ要セス
- 第七條 現金出納ノ取扱ニ關シ本規則ノ外特ニ規定シタルモノハ其ノ規定ニ依ル

附則

本令ハ明治四十二年度ヨリ之ヲ施行ス

○現金出納官吏手許保管金額

明治四十三年五月 達第六〇一號 明治四十四年五月
 改正 達第四六號 明治四十五年六月 達第六二四號
 明治四十四年六月 達第四三二號 明治四十二年一月 達第二六號

- 現金出納官吏ニ於テ手許ニ保管シ得ヘキ金額左ノ通相定ム
- 一分任出納官吏ノ保管金ハ收入金ノ内ヨリ臨時扣除シテ之ニ充ツルコトヲ得但シ此場合ハ當日ノ現金引繼書ニ其旨記載スヘシ
 - 前項分任出納官吏ニシテ收入金ナキトキハ之ヲ所屬繰替拂命令官ニ請求シ同命令官ハ主任出納官吏ヲシテ同金セシムヘシ
 - 一 會計課兼市街線建築事務所主任出納官吏 金百五十拾圓
 - 一 東部鐵道管理局主任出納官吏 金貳百圓
 - 一 青森出納事務所主任出納官吏 金五十拾圓

- 仙臺運輸事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 秋田運輸事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 福島運輸事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 中部鐵道管理局主任出納官吏 金貳百圓
- 名古屋出納事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 長野出納事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 金澤出納事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 中部鐵道管理局計理課甲府派出所主任出納官吏 金五拾圓
- 西部鐵道管理局主任出納官吏 金貳百圓
- 西部鐵道管理局高松出張所主任出納官吏 金參拾圓
- 西部鐵道管理局德島出張所主任出納官吏 金參拾圓
- 西部鐵道管理局船橋出張所主任出納官吏 金貳百圓
- 九州鐵道管理局主任出納官吏 金貳百圓
- 北海道鐵道管理局主任出納官吏 金貳百圓
- 函館運輸事務所主任出納官吏 金參拾圓
- 室蘭運輸事務所主任出納官吏 金參拾圓
- 旭川運輸事務所兼北海道建設事務所主任出納官吏 金參拾圓
- 釧路運輸事務所主任出納官吏 金參拾圓
- 米子建設事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 敦賀建設事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 富山建設事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 若松建設事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 大分建設事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 鹿兒島建設事務所兼九州鐵道管理局主任出納官吏 金五拾圓
- 新庄建設事務所主任出納官吏 金五拾圓
- 德島建設事務所主任出納官吏 金五拾圓

○出納官吏現金取扱規則

第一章 義務委託

改正 明治二十三年 大藏省令第一三三號 同第四一號 明治二十六年 同第二五號 明治三十四年 大藏省令第六號 同第四號 明治三十三年 同第二〇號

- 第一條 金庫所在地ノ出納官吏ハ其取扱フ所ノ現金ヲ保管ノ爲メ其地ノ金庫ニ委託スヘシ
- 第二條 前條ニ據リ委託ヲ爲シタルトキハ出納官吏ハ其資格氏名ヲ記シタル印鑑ヲ金庫ニ送付スヘシ
- 第三條 出納官吏ヨリ保管金ノ拂込ヲナストキハ金庫ハ其保管證書ヲ製シ保管金引出切符用紙ヲ添ヘ現金ト引換ニ之ヲ出納官吏ニ交附スヘシ
- 第四條 出納官吏ノ職務ヲ任命シタル當該官ハ其義務委託ヲナスヘキ出納官吏ノ資格氏名ヲ金庫ヘ通知スヘシ但陸軍省海軍省ノ出納官吏ノ資格氏名ハ其所屬長官ヨリ通知スヘシ
- 第五條 金庫ハ前條出納官吏資格氏名ノ通知ヲ受クルニ非ラサレハ現金ノ仕拂ヲナスヘカラス
- 第六條 出納官吏ハ保管金ノ仕拂ヲ金庫ニ請求セントスルトキハ總テ引出切符ヲ以テスヘシ
- 第七條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ト同種ノ貨幣ヲ以テ仕拂ヲ請ハントスルトキハ拂込ノ際特ニ之ヲ金庫ニ求ムヘシ
- 第八條 拂込ノ際特別ノ請求ナキモノハ總テ有合ノ通貨ヲ以テ仕拂フヘシ
- 第九條 出納官吏ハ其委託シタル保管金ヲ以テ收入又ハ返納ノ爲メ金庫ニ拂込ヲナサントスルトキハ引出切符ヲ以テ拂込ヲナスヘシ
- 第十條 陸海軍隊費ニシテ現金仕拂ヲ要スル場合及廳中雜費工事費ニシテ小口ノ現金仕拂ヲ要スル場合ニ於テハ金庫所在地ニアリテモ所要ノ金額ヲ限リ本規則第二章ニ據リ現金ヲ保管スルコトヲ得
- 第十一條 前項所要ノ金額ハ仕拂命令官之ヲ定ム
- 第十二條 出納官吏在勤地外ニ於テ取扱フ所ノ現金ハ本章ニ準シ便宜其地ノ金庫ニ委託スルコトヲ得

第二章 隨意保管

- 第十一條 金庫ノ設ナキ場所ニ於テ現金ヲ保管スル所ノ出納官吏ハ堅牢ナル函ヲ備ヘ之ニ其保管ニ係ル現金及出納ノ帳簿ヲ藏置スヘシ
- 第十二條 二人以上協同責任ヲ以テ現金ヲ保管スル場合ニ於テハ二箇以上ノ鎖鑰ヲ有スル堅牢ノ函ヲ備ヘ出納官吏其鎖鑰ヲ分管スヘシ
- 第十三條 出納官吏現金ヲ携帶シテ旅行スル場合ニ於テハ前二項ニ據ラス相當ノ保護法ヲ設クルコトヲ得
- 第十四條 出納官吏ノ保管ニ係ル現金ハ私有金ト混スルコトヲ得ス
- 第十五條 出納官吏他ノ公金ノ出納ヲ兼掌スルトキハ其現金ヲ官金ト同一ノ函中ニ藏置スルコトヲ得
- 第十六條 出納官吏ハ第十一條ニ據リ現金保管ヲナシ難キ場合ニ於テハ自己ノ責任ヲ以テ確實ナル銀行又ハ身代ノ確實ナル一人私人ニ其保管スヘキ現金ノ保管ヲ託スルコトヲ得
- 第十七條 前項ノ場合ニ於テハ私金ト區別シ其計算ヲ混スヘカラス

第三章 拂込

- 第十五條 金庫所在地ノ收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收シタルトキハ毎日之ヲ取纏メ拂込書ヲ添ヘテ翌日迄ニ金庫ニ拂込ムヘシ但收入金額五拾圓未滿ナルトキハ每一箇月取纏メ金庫ニ拂込ムコトヲ得
- 第十六條 金庫ノ設置ナキ地方ノ收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收シタルトキハ左ノ制限ニ從ヒ之ヲ取纏メ拂込書ヲ添ヘテ其在勤地ヲ出納區域トスル金庫若クハ歳入徵收官ノ指定シタル金庫ニ拂込ムヘシ
- 第十七條 但次條ニ定メタル場合ハ此限ニアラス
- 第一 收入金高五拾圓未滿ハ 每一箇月
- 第二 同 百圓未滿ハ 每十日
- 第三 同 參百圓未滿ハ 每五日
- 第四 同 參百圓以上ハ 翌日限
- 第十八條 金庫所在地ノ收入官吏ニシテ金庫設置ナキ地方ニ於テ租稅其他ノ收入金ヲ徵收シタル場合ハ前項ニ準ス
- 第十九條 運輸通信ノ不便ナル地方ニシテ金庫ノ設置ナキ場合ニ於テ收入官吏租稅其他ノ收入金ヲ領收シタ

ルトキハ其金額ノ監守證ヲ作り最近便ヲ以テ其在勤地ヲ出納區域トスル金庫ニ送付スヘシ
但シ外國ニ於テ領收シタル收入金ノ監守證ハ中央金庫へ送付スヘシ

第十八條 金庫ハ前條ノ場合ニ於テ收入官吏ト同場所又ハ其場所ト爲替送金ノ便アル地方ニ於テ仕拂フヘキ
仕拂命令ヲ受クルトキハ收入官吏ノ監守證ニ領收證ヲ添ヘテ之ヲ受取人ニ送付スヘシ

但仕拂命令ノ金額ニシテ監守證ノ金額ヨリ少額ナルトキハ領收證金額ノ右方ニ何年何月何日第何號監守
證金何圓ノ内ト附記シ受取人ニ送付シ監守證ノ金額盡キタルトキニ其監守證ヲ收入官吏ニ送付スヘシ
第十九條 收入官吏ハ前條ノ受取人ヨリ監守證ニ領收證ヲ添ヘ若クハ但書ノ領收證ヲ以テ現金ノ拂渡ヲ請求
セラルルトキハ之ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ

雜 則

第二十條 本規則ハ收入官吏現金前渡ヲ受ケタル官吏特別會計ニ係ル官金出納官吏ニ適用ス
第二十一條 本規則ハ明治二十三年四月會計法施行ノ日ヨリ施行ス

○引出切符携帶ノ儘逃亡シタル場合處分ノ件

明治二十六年八月二十八日照會
鐵道事務官乙第八九一號
現金前渡ヲ受ケタル官吏ニ於テ仕拂ヲ爲スニ當リ引出切符ヲ發行本人へ交附スルト同時ニ現金出納簿へ記入シ會計検査院へモ夫々證明濟ノ處
金庫ニ於テハ月計對照表ニ該金額ハ未拂ノ事由ヲ附シ送致セリ依テ取調タル處本人ハ引出切符携帶ノ儘逃亡セシコトヲ發見セリ而シテ該切符
ノ已ニ無効トナリタル以上ハ該金額ハ前渡官吏保管ノ責ニ任スルノ外有之間敷トモ相考候得共一旦正當ノ手續ヲ以テ仕拂ヒタルモノナルニ依
リ本人ヨリ再發行ヲ請求セザル間ハ帳簿其他其儘差置可然哉處分方承知致度候間至急詳細御回示相成度此段御照會候也

大藏省主計局長回答

明治二十六年九月二日
坤第一〇八〇號
右ハ金庫ヨリ無効トナリタル案内切符ノ返附アリタルトキ現金出納簿ニ於テ其引出切符ニ相當スル仕拂額御取消可相成儀ト存候
此段及回答候也

○雜部金拂込書及引出切符ニ押捺スル印章ノ件

明治三十一年八月十九日
逓信省公達第四三〇號
明治二十二年十月大藏省令第十三號出納官吏現金取扱規則ニ依リ出納官吏ノ取扱フ雜部金拂込書及引出切符
ニ押捺スル印章ハ總テ官印ヲ使用スヘシ

官印彫刻以前ニ拂込ヲ要スル場合ニ當リ特ニ私印ヲ押用スルトキハ其事由書ニ私印鑑ヲ添ベ關係金庫ニ送附
スヘシ

○出納官吏現金取扱規則ニ據リ現金ヲ金庫ニ委託セル出納官吏

交替通知方ノ件

明治二十五年三月二十五日
大藏省訓令第一四號
明治二十二年大藏省令第十三號第一章ニ據リ現金ヲ金庫ニ委託シタル出納官吏ニシテ交替ヲ爲シタル場合ハ
金庫ニ於テ月計對照表差出方ノ都合有之ニ付其旨速ニ當該金庫へ通知スヘシ

○月計對照表又ハ歲入金突合表證明方ノ件

明治二十六年十二月二十二日
大藏省訓令第七四號
明治二十二年當省訓令第七十二號ニ據リ金庫ヨリ交付シタル保管證書ハ明治二十七年一月一日ヨリ二十日以
内ニ出納官吏ヨリ金庫ニ差出シ引換ヲ請フヘシ
金庫ハ前項ノ保管證書ヲ調査シ現金殘高ニ對シ更ニ本年當省訓令第三十九號第三號書式ノ保管證書ヲ調製シ
之ヲ出納官吏ニ交付スヘシ
收入官吏交替ノ場合ニ金庫ヨリ前任收入官吏宛月計對照表又ハ歲入金突合表ノ送付ヲ受クルモ前任者已ニ轉
任其他ノ事故ニテ速ニ之カ證明ヲ爲ス能ハサルトキハ後任收入官吏ニ於テ前項ノ手續ヲ爲シ其事由ヲ附記ス
ヘシ

○歲入歲出金月計對照表ノ件

明治二十七年五月二十日
大藏省訓令第八八號
明治二十六年當省訓令第五十三號作業及鐵道會計金庫出納事務規程同第五十四號官立學校及圖書館會計金庫
出納事務規程ニ依リ歲入月計對照表歲入金突合表ノ送付ヲ受ケタルトキハ客年十二月當省訓令第七十四號ニ
據ルヘシ

○分任出納官吏ニ於テ繰替拂又ハ歳入歳出外現金ノ拂戻ヲ爲シタルトキハ主任出納官吏ノ帳簿整理ノ件明治四十三年二月二十六日 公報注意

分任現金出納官吏ニ於テ收入金ニ屬スル勘定以外ノ他勘定ノ繰替拂ヲ爲シ又ハ歳入歳出外現金ニシテ主任現金出納官吏ニ引繼後他勘定ノ現金ヲ以テ拂戻ヲ爲シタルトキ主任現金出納官吏ニ於テ整理スル現金出納内譯簿ト分任出納官吏内譯簿トノ間ニ於ケル残高ノ墨朱ハ繰替拂命令官ノ承認ヲ得テ彼是レ振替ルコトヲ得

但右振替ハ現金出納計算書其他諸報告書ニハ關係セズ

○公暇日至急仕拂ヲ要スル場合ニ關スル件明治四十三年二月十二日 公報注意
公暇日ニハ至急仕拂ヲ要スル場合ト雖トモ其ノ日ノ收入額以上金庫又ハ派出所ニ向テ雜部保管金ノ引出シ又ハ送金ノ請求ヲ爲スコトヲ得又右大藏省理財局長ノ照會ニヨリ注意ス

○政府ニ屬スル歳入歳出外現金取扱規則準據ノ件明治二十三年三月二十日 勅令第三五號

政府ニ屬スル歳入歳出外ノ現金ヲ取扱フ出納官吏ニ關スル規則ハ會計規則第八章及第九章中現金ヲ領收スル收入官吏ニ關スル各條ニ準據ス

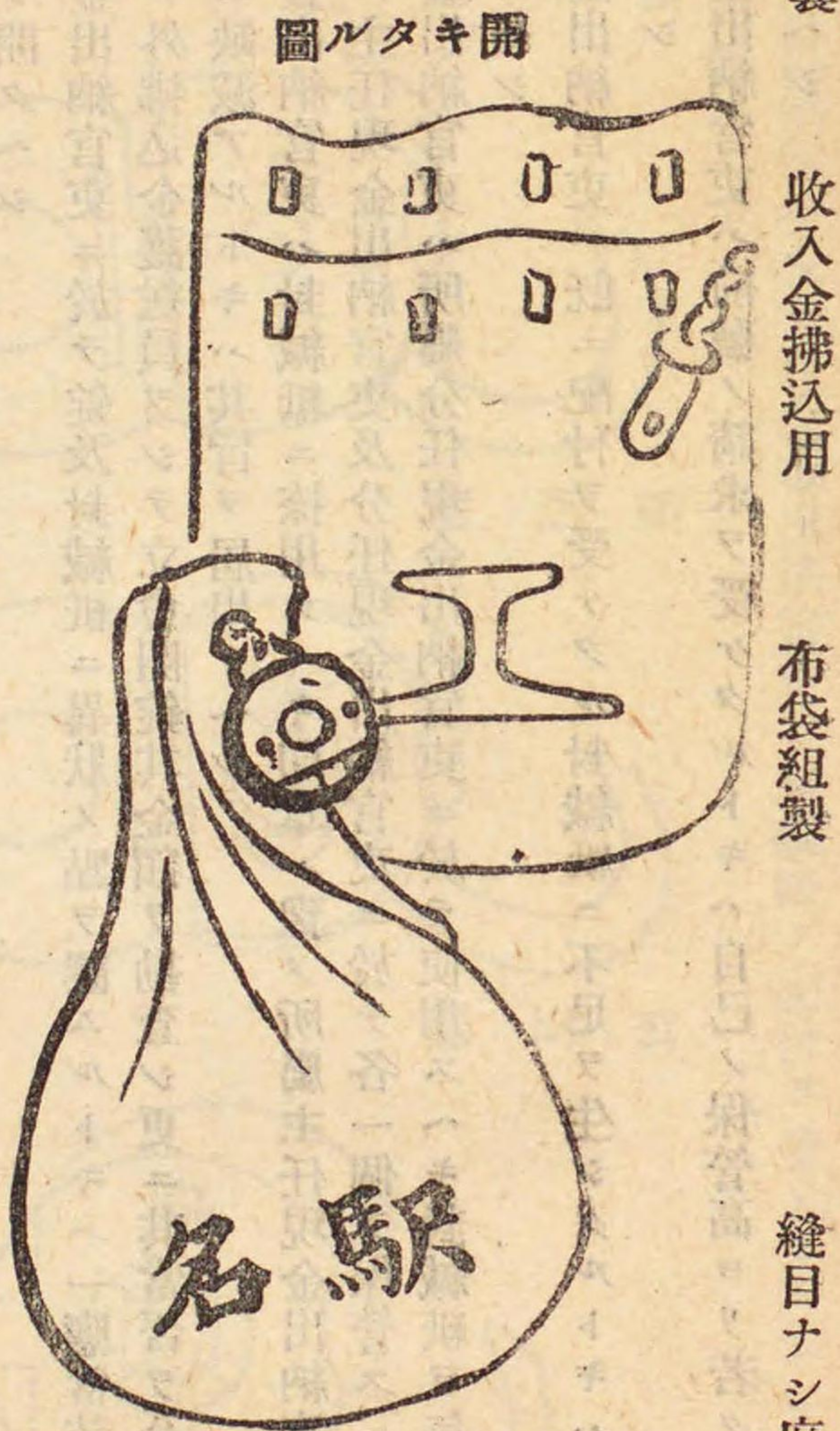
○保管金現在高報告ハ圓位ニ止ムル件明治四十年四月八日 鐵計會發第四五號

帝國鐵道廳會計事務取扱規程第三十五條ニ依ル保管金現在高ノ報告ハ圓位ニ止ム(圓未滿ノ端數ハ四捨五入)左ノ例ニ依リ略語ヲ使用スヘシ

例 保管金現在高壹萬五千參百五拾貳圓六拾八錢ハ
ホキン 一五三五三、

○收入金拂込用金囊ノ件明治三十九年一月二十二日 達第三號

自今各驛收入金拂込用金囊ハ左圖ノ品ヲ使用ス
但シ引替ヲ了スル迄ハ從來ノ品ト併用スヘシ



金囊

收入金拂込用

布袋組製

縫目ナシ麻袋

開タキル圖

鎖錠ノ圖

○各驛收入金拂込金囊ニ屬スル錠及封緘紙取扱手續

明治三十八年十一月二十二日 達第二〇三號

改正 明治四十二年九月 達第七六七號

明治四十三年三月 達第一七六號

明治四十三年七月 達第六一五號

各驛收入金拂込金囊ニ屬スル錠及封緘紙改定候ニ付其取扱手續左ノ通相定メ來十二月一日ヨリ施行ス

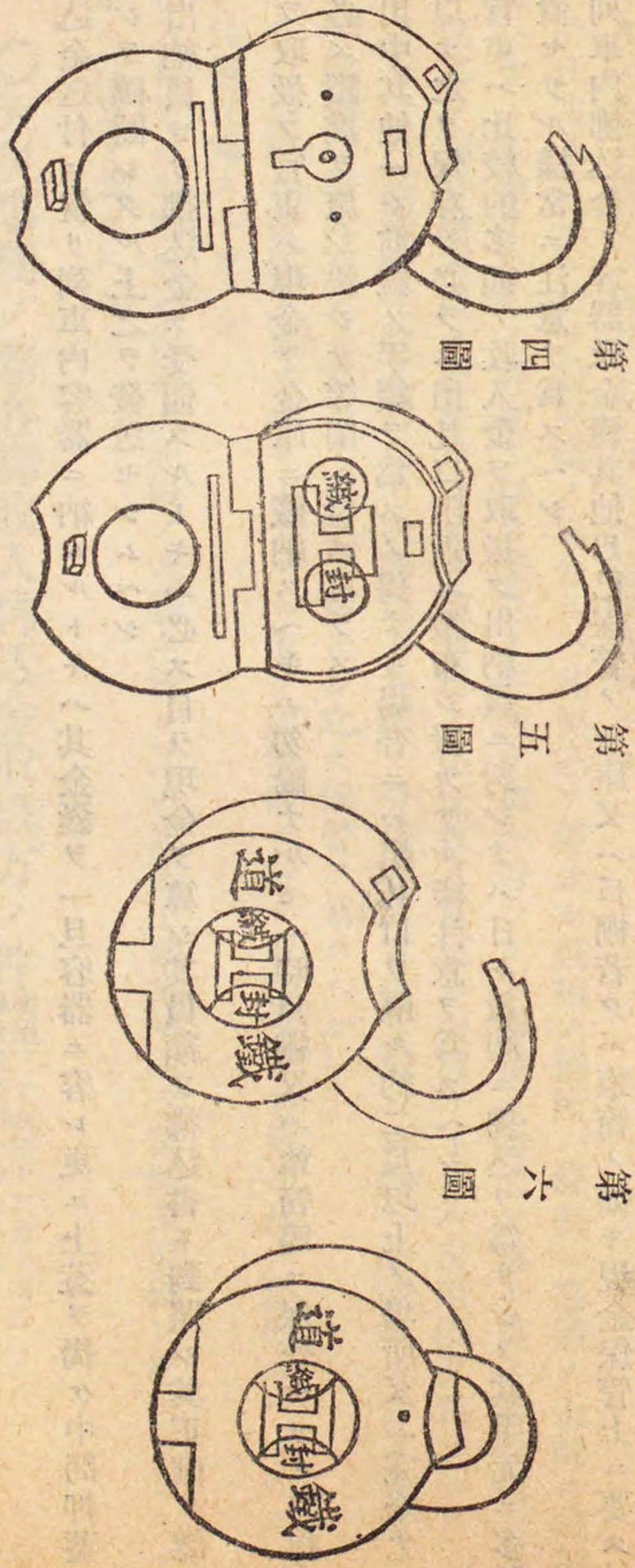
- 一 錠ハ別紙第一圖封緘紙ハ第二圖ノ如シ但松浦式錠ヲ併用スルコトヲ得
- 一 分任現金出納官吏ハ拂込金ヲ送付スルニ當リ別紙第三圖ノ如ク錠ヲ開キ之ニ封緘紙中工形ノ右方ニ分任現金出納官吏左方ニ立會出納員捺印(立會出納員ノ印ハ拂込書ノ捺印ト同一ノモノヲ用フヘシ)シタルモノヲ第四圖ノ如ク平面ニ押當第五圖ノ如ク蓋ヲ爲シ金囊ノ金輪ニ嵌メ第六圖ノ如ク鎖錠ヲ施スヘシ但分任現金出納官吏ハ自己ノ捺印ニ代ヘ實際ノ取扱者ヲシテ捺印セシムルコトヲ得
- 一 主任現金出納官吏前號ノ金囊ヲ受ケタルトキハ錠及封緘紙ヲ檢査シ其完全ナルヲ認メ封緘紙ノ上ヨリ鍵ヲ入レ之ヲ開クヘシ
- 一 主任現金出納官吏ニ於テ錠及封緘紙ニ異狀ノ點ヲ認ムルトキハ一應當該分任現金出納官吏ニ通知シ金囊ハ出納員ノ外拂込金護送員ヲシテ立會開錠其金額ヲ勘査シ更ニ其當否ヲ分任現金出納官吏ニ通知スヘシ但金額ニ缺減アルトキハ其旨ヲ届出ツヘシ
- 一 分任現金出納官吏ハ封緘紙ニ捺用スヘキ印章ハ豫メ所屬主任現金出納官吏ニ届出ツヘシ
- 一 錠ノ鍵ハ主任現金出納官吏及分任現金出納官吏ニ於テ各一個ヲ保管スヘシ
- 一 主任現金出納官吏ハ所屬分任現金出納官吏ニ於テ使用スヘキ封緘紙ヲ每三箇月分見積リ計理課長又ハ所長ニ請求スヘシ
- 一 分任現金出納官吏ハ既ニ配付ヲ受ケタル封緘紙ニ不足ヲ生シタルトキハ其事由ヲ付シ主任現金出納官吏ニ請求スヘシ
- 一 主任現金出納官吏ハ前號ノ請求ヲ受ケタルトキハ自己ノ保管高ヨリ若クハ計理課長又ハ所長ニ請求ノ上之ヲ交付スヘシ

一主任現金出納官吏及分任現金出納官吏ハ封緘紙ノ配付ヲ受ケタルトキハ各相當帳簿ヲ設ケ其保管及出納ノ顛末ヲ記帳スヘシ

第 第

一 一 一

(密) (密)



○各驛收入金出納取扱方ノ件

明治三十八年九月五日 鐵計出發第八六三號

- 各驛收入金出納ニ關シテハ夫々規程モ有之候處尙左ノ各項ニ依リ取扱ヲ爲スヘシ
- 一 專任分任收入官吏在勤セル驛ニ在リテハ豫メ時刻ヲ定メ分任收入官吏ハ出納員事務室ニ就キ各自拂込金ノ受領ヲ爲スヘシ
- 一 專任分任收入官吏ノ在勤セサル驛ト雖モ分任收入官吏ノ事務室ト出納員事務室ト間隔セル向キハ可成前號ノ手續ニ據ルヘシ
- 一 前二號ニ於ケル場合ハ勿論其他事務室外ニ現金ヲ携帯スルトキハ鎖鑰アル靴又ハ文庫等ヲ用ユヘシ

- 一 分任收入官吏ノ拂込金ヲ列車ニ携帯スルトキ又ハ出納員事務室ニ就キ拂込金受領セシトキ其他出納員ニ於テ拂込金ヲ携帯室外ニ出ツルトキハ警手(警手ヲ置カサル驛ニアリテハ他ノ驛員)ヲシテ同行セシムヘシ但拂込金額僅少ニシテ且近距離ノ場合又ハ場内全ク人影ヲ絶チ何等危険ノ虞ナシト確認シタル場合ハ此限ニアラス
- 一 主任收入官吏又ハ分任收入官吏ハ拂込金授受ノ際立會員ヲ要スルハ各自責任上至大ノ關係ヲ有スルモノニ付事務多端等ノ事故ニ假託シ窃ニ之ヲ省略シ又ハ立會員ノミニ委シ責任者之ニ關セサルカ如キコトナキ様堅ク注意スヘシ
- 一 分任收入官吏拂込金送付ニ當リ金囊ニ納ムルトキハ現金並關係書類毎ニ其員額ヲ互ニ對照シテ其正確ヲ認ムヘシ
- 一 同官吏拂込金送付ニ當リ列車内容器ニ納ムルトキハ其金囊ヲ一旦容器ニ容レ更ニ上蓋ヲ掲ケ中間押蓋ノ内ニ落下セシヲ確認シタル上之ヲ發送セシムヘシ
- 一 同官吏ハ出納員ヨリ拂込金ヲ受領スルトキハ必ス自ラ現金ヲ算シ其員額ヲ拂込書ト對照シ其正確ヲ認ムヘシ
- 一 常ニ現金ヲ取扱フ官吏ハ現金ヲ金庫ニ藏納スヘキハ勿論ナルモ一時戸棚又ハ箆筒等ニ保管セサルヲ得サル場合ニハ必ス鎖鑰ヲ施シ決シテ等閑ニ付ス可ラス
- 一 乗車券賣出中其他一々前號ノ手續ヲ爲スノ違ナキ場合ニハ出札口ヲ隔ル約二尺以上ノ場所又ハ完全ナル容器ヲ備ヘ以テ之ヲ保存シ必ラス出札口附近ニ散布シ置カサル様注意ヲ爲スヘシ
- 一 分任收入官吏ハ比較的多額ノ收入金ヲ取扱フ出納員ニ對シテハ日々數回ニ拂込ヲ爲サシメ其手元ニ多額ノ金員ヲ留置セサル様常ニ注意ヲ爲スヘシ
- 一 同官吏ハ列車内拂込金ノ容器及金囊其他自己保管ノ金庫又ハ戸棚若クハ箆筒ノ如キ現金保管上ニ要スルモノハ勿論所屬出納員ノ保管ニ屬スル是等ノ器具並其鎖鑰ニ毀損等ナキヤ否ヲ常ニ注視スヘシ
- 一 前號列車内容器又ハ金囊ニ對シテハ主任收入官吏モ亦常ニ注意ヲ爲スヘシ

- 一 收入金護送區間内初度ノ發送驛分任收入官吏ニ於テ列車内容器ノ毀損又ハ鎖鑰ノ施ササルモノアルヲ發見シタルトキハ當日拂込ヲ停止シ手元ニ保管ヲ爲スヘシ
 - 一 途中驛ノ分任收入官吏ニ於テ前同様ノ場合ニハ其拂込ヲ停止シ毀損ノ個所ハ驛長ニ協議ノ上既ニ藏納シアル他驛拂込金ニ危険ナキ迄ノ程度ヲ以テ應急ノ修理ヲ加ヘ若シクハ嚴重ニ封印ヲ爲シ更ニ當該驛長ハ驛員ノ内ヨリ選定シ臨時護送員ノ補助ヲラシメ該容器ノ主任收入官吏ニ引渡ヲ了スル迄附添ヲ爲サシムヘシ
 - 一 前二號ノ場合ニハ該驛分任收入官吏ハ次驛以下各驛ノ分任收入官吏ニ對シ容器ニ故障アル旨ヲ電報シ之ヲ受ケタル各驛分任收入官吏ハ當日ノ拂込ヲ停止シ之カ保管ヲ爲スヘシ
 - 一 出納員ハ各自單獨ニ責任ヲ有スルモノナルニ依リ同僚間ニ於テ取扱タル金員ヲ互ニ混同スルカ如キコトナキ様深ク注意ヲ爲スヘシ
 - 一 各分任收入官吏並出納員ハ出納上記帳ノ遲緩ニ流レ又ハ記帳上粗漏ニシテ其結果明確ヲ缺クカ如キコト之ナキ様常ニ注意ヲ爲スヘシ
- 天災事變ノ際各驛收入拂込金取扱方ノ件**
明治三十九年十二月十四日
鐵計出發第一〇九一號
- 明治三十七年一月鐵運乙第一〇一號達左ノ通告定ス
- 一 天災事變ノ爲メ各驛收入拂込金搭載列車退廳後ニ涉リ延著スル場合ハ其護送員ニ於テ主任收入官吏ヘ其旨電信ニテ之ヲ通知スヘシ
 - 一 主任收入官吏ニ於テ前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ其列車到着スルヲ俟テ出納規程第二十七條ニ依リ取扱フヘシ
 - 一 拂込金護送員ニ於テ拂込金護送途中前途不通ノ場合ニハ最寄ノ驛長ト協議ノ上相當ノ保管ヲ爲シ其旨主任收入官吏ニ通知スヘシ

主任現金出納官吏管掌區域變更ノ際保管金引繼ノ件

明治四十一年十二月四日 達第五八一號

主任現金出納官吏管掌區域變更ノ爲メ分任現金出納官吏ノ所屬ニ異動ヲ生シタル場合ニ於テ異動前ニ領收シタル分任現金出納官吏ノ保管金ハ會計事務取扱細則第三十條ニ依リ之ヲ舊所屬ノ主任現金出納官吏ニ引繼クヘシ

出納官吏保管歳入歳出外現金没收處分ノ際ニ於ケル取扱方

明治四十二年十二月十一日 公報注意

主務ノ官吏ニ於テ出納官吏保管ニ係ル歳入歳出外現金ヲ没收セントスルトキハ當事者ヨリ徴シタル入札又ハ契約保證金領收證書ノ裏面ニ表面ノ金額何々ノ爲没收ヲ要ス(没收スヘキ金額力保證金ノ一部分ナルトキハ内金何程何々ノ爲没收ヲ要ス)ト記載シ記名捺印ノ上之ヲ當該出納官吏ニ送付スルト同時ニ右ニ對スル即納通知書ヲ發行スヘシ
出納官吏ニ於テ前項ニ依リ一部分ノ保證金ヲ當事者ニ拂戻サントスルトキハ適宜ノ領收證書ヲ徴スヘシ

總代人受領後本人へ交付スルコト能ハサル給料其他ノ諸給與處理方ノ件

明治四十二年十月十五日 公報注意

受取總代人ニ於テ受領後本人所在不明等ノ爲メ交付スルコト能ハサル給料其他ノ諸給與ハ特殊ノ事由アルモノノ外六箇月以上ヲ經過シタルモノニ限リ後日本人ヨリ請求アラハ還付ヲ受クヘキ條件ヲ附シテ當該總代人ヨリ當院職員救濟組合へ寄贈セシムルモ差支ナシ
前項ニ依リ組合へ寄贈スルトキハ郵便振替貯金ノ方法ニ依リ同貯金拂込書裏面通信文記載欄ニ「鐵道院救濟組合寄贈金」ト記載シテ東京貳參九番安田銀行ノ振替貯金口座へ拂込ノ上別ニ左ノ書式ニ依リ通知書ヲ官房保健課ニ送付スルモノトス

(式)

寄贈金通知書

一金

内譯

金額	摘要	總代人受領年月日	本人氏名	本人へ交付スルコト能ハサル事由	備考
	何年何月何日ヨリ何月何日ニ至ル給料				
	何年何月何日ヨリ何月何日ニ至ル贈料				
	何々				
	何々				
計					

右之通救濟組合へ寄贈ノ爲メ本日郵便爲替貯金へ拂込濟ニ付及御通知候也
明治 年 月 日

何所受取總代人

官職氏名印

保健課長宛

第六章 金庫

○金庫規則

明治二十二年十二月十一日 改正 明治二十八年
勅令第一二六號 勅令第一二九號

- 第一條 金庫ハ國庫ニ於テ保管出納スル現金ヲ取扱フ所トス
- 第二條 金庫ヲ分テ左ノ三種トス
- 第一 中央金庫
- 第二 本金庫
- 第三 支金庫
- 第三條 東京ニ中央金庫ヲ置キ地方ニ本金庫及支金庫ヲ置ク
- 第四條 本金庫支金庫ノ位置及各金庫ノ出納區域ハ大藏大臣之ヲ定ム
- 第五條 金庫ハ大藏大臣之ヲ管理ス
- 第六條 中央金庫ハ各地ノ本金庫ヲ統轄シ本金庫ハ所屬ノ支金庫ヲ總轄ス
- 第七條 但本金庫ヲ置カサル地方ノ支金庫ハ中央金庫之ヲ總轄ス
- 第八條 中央金庫本金庫支金庫ノ現金ノ保管出納ハ日本銀行ヲシテ取扱ハシム
- 第九條 日本銀行ハ本金庫支金庫ノ現金ノ保管出納ヲ取扱フ爲メ各地ニ其支店出張店又ハ代理店ヲ設置スヘシ
- 第十條 日本銀行ノ支店長出張店長又ハ代理店長ハ金庫出納役ノ代理人トシテ其事務ヲ分擔スヘシ
- 第十一條 日本銀行ハ第七條ニ據リ各地ノ代理店ヲ定メントスルトキハ大藏大臣ノ認可ヲ要ス
- 第十二條 大藏大臣ハ検査官吏ヲ派出シ何時ニテモ金庫ノ金櫃帳簿ヲ検査スルコトヲ得此場合ニ於テハ日本銀行本支店出張店代理店タル銀行全部ノ金櫃帳簿ヲ併セテ検査スルコトアルヘシ
- 第十三條 日本銀行ハ中央金庫本金庫支金庫ノ現金ノ保管出納ニ付政府ニ對シ一切ノ責任ヲ有ス

第十二條 金庫ニ於テ備フヘキ帳簿ノ種類其規程出納ノ順序及金庫ノ検査規程ハ大藏大臣ノ定ムル所ニ依ル
第十三條 本規則ハ明治二十三年四月一日ヨリ施行ス

○金庫開閉時間 明治三十一年三月四日
大藏省告示第一〇號
金庫開庫時間本年四月一日ヨリ左ノ通相定ム

各金庫
一 午前九時ヨリ午後三時マテ
但土曜日ハ正午限リ閉鎖ス

○中央金庫及各地本支金庫現金保管出納ヲ取扱フ場合ニ於
テ金櫃帳簿銀行本業部ト區別ノ件 明治二十三年二月十五日
大藏省訓令第六號

明治二十三年十二月勅令第百二十六號金庫規則第六條ニ依リ中央金庫支金庫ノ現金保管出納ヲ取扱フ場合ニ
於テ金櫃帳簿ハ銀行本業部ト混淆セサル様判然區劃シ一見シテ其金庫金櫃帳簿ノ藏置シアルモノタルコトヲ
識ルニ足ルヘキ標章ヲ掲クヘシ

○金庫出納事務規程 明治二十六年十一月二十四日
大藏省訓令第三九號

明治二十二年當省訓令第七十二號金庫出納事務規程左ノ通改正ス

改正	明治二十六年十一月二十四日 大藏省訓令第三九號	明治二十七年 同第五七號	明治二十七年 同第三四號	明治二十七年 同第三六號
大藏省訓令第五七號	明治二十八年 同第一號	明治三十年 同第三八號	明治三十一年 同第三一號	明治三十一年 同第三一號
大藏省訓令第一號	明治三十三年 同第一號	明治三十三年 同第三三號	明治三十三年 同第三三號	明治三十三年 同第三三號
大藏省訓令第一號	明治三十四年 同第四號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二九號	明治三十四年 同第二九號
大藏省訓令第四號	明治三十五年 同第一號	明治三十五年 同第二四號	明治三十五年 同第二四號	明治三十五年 同第二四號
大藏省訓令第五號	明治三十四年 同第五號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二四號
大藏省訓令第五號	明治三十五年 同第一號	明治三十五年 同第二四號	明治三十五年 同第二四號	明治三十五年 同第二四號
大藏省訓令第五號	明治三十四年 同第五號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二四號
大藏省訓令第五號	明治三十四年 同第五號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二四號	明治三十四年 同第二四號

金庫出納事務規程

第一章 總則

第一條 金庫ノ事務ヲ分チ歲入部、歲出部、各特別會計ノ歲入歲出部、雜部、預金部ノ五部トス但各特別會計ノ歲入歲出部及預金部ニ關シ特別ノ規程ヲ要スルモノハ別ニ定ムル所ニ據ル

第二條 金庫ノ出納ハ大藏大臣ノ指定スル開庫時間内ニ於テス但各廳ノ請求ニ據リ臨時至急仕拂ヲ要スルトキ又ハ納期ニ際シ領收金輻輳スルトキハ此限リニアラス

第三條 金庫ニ於テ領收スル現金ハ其貨幣持參人ノ目前ニ於テ鑑定スヘシ但贋造描改ノ通貨ヲ發見シタルトキハ明治九年第五十七號布告ニ據ルヘシ

第四條 金庫ニ於テ仕拂ニ用フル現金ハ其金庫在合ノ通貨ヲ以テス但保管金供託金ノ類ニシテ同種ノ貨幣ヲ以テ拂戻ヲ要スルコトアルトキハ此限ニアラス

第五條 金庫ハ照較ニ供スル爲メ出納ニ關係アル官吏ヘ其印鑑及事務取扱主任者ノ印鑑ヲ差出スヘシ

第六條 金庫ニ於テ仕拂上照較ニ供スル印鑑ハ各廳ヨリ直ニ關係ノ金庫ヘ送附ヲ受クルモノトス

第二章 歲入部

第七條 金庫ニ於テ納人ヨリ納稅告知書送附書若クハ納附書ヲ添ヘ現金ノ納附ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該納稅告知書送附書若クハ納附書ニ接續セル領收證書及通知書若クハ納入濟書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫竝ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ納人ヘ交附シ其通知書ハ歲入徵收官ヘ送附シ納入告知書納附書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第八條 金庫ニ於テ納人ヨリ納入告知書若クハ納附書(租稅外)ヲ添ヘ現金ノ納附ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該納入告知書若クハ納附書ニ接續セル領收證書及通知書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫竝ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ納人ヘ交附シ其通知書ハ歲入徵收官ヘ送附シ納入告知書納附書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第九條 金庫ニ於テ收入官吏ヨリ現金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込ヲ受ケタルトキハ之ヲ領收シ該拂込書ニ接續

セル領收證書及通知書へ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫竝ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ該收入官吏へ交附シ其通知書ハ歳入徴收官へ送附シ現金拂込書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第十條 金庫ニ於テ出納官吏現金取扱規則第十七條ニ據リ收入官吏ヨリ監守證ニ送附書ニ添へ受取リタルトキハ之ヲ保存シ置キ追テ歳出金へ振替ヲ爲ストキ該收入官吏ノ拂込ニ立テ第一號書式ノ領收證書及通知書ヲ調製シ其領收證書ハ該監守證ニ添へ受取人へ其通知書ハ歳入徴收官へ送附スヘシ

第十一條 金庫ニ於テ前各條ニ據リ納人若クハ收入官吏ヨリ受領シタル納稅告知書、送附書、納附書、納入告知書、現金拂込書若クハ監守證ハ總テ歳入徴收官ノ計算トシテ取扱フヘシ

第十二條 金庫ハ現金收入濟ノ納稅告知書、送附書、納附書、納入告知書、現金拂込書及監守證ノ送附書(第十條ノ拂込ニ立テタル分)其他ノ證憑書類ヲ各年度、主管廳、取扱廳及歳入徴收官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ收入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證憑書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送附スヘシ

第三章 歳出部

第十三條 金庫ニ於テ大藏大臣ヨリ仕拂豫算書若クハ其更定計算書又ハ年度開始前支出ノ令達ヲ受ケタルトキハ其金額ヲ支出簿ニ登記スヘシ

第十四條 金庫ニ於テ仕拂命令官ヨリ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ノ送附ヲ受ケタルトキハ左ノ事項ヲ調査スヘシ

第一 該命令ノ様式ニ違フコトナキヤ

第二 該命令ノ金額ヲ支出簿仕拂豫算ノ殘額ト照合シ仕拂豫算各項ノ金額ニ超過スルコトナキヤ

第三 集合仕拂命令ノ金額ハ該命令ニ添附シタル各債主ノ金額氏名表ノ金額ト違フコトナキヤ

金庫ハ集合仕拂命令及金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ對シ受領ノ都度其領收證書ヲ仕拂命令官ニ送附スルモノトス

第十五條 金庫ハ前條第一項ノ調査ヲ爲シ該命令ヲ正當ト認ムルトキハ仕拂ノ準備ヲ爲スヘシ若シ不正當ト認ムルトキ若クハ該命令ノ汚損シテ其要部ヲ認メ難キトキハ其事由ヲ具シ直ニ之ヲ當該仕拂命令官ニ返附スヘシ

第十六條 金庫ハ前條ニ據リ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ヲ返附セシニモ拘ハラス尙ホ仕拂命令官ヨリ仕拂執行ノ要求アルトキハ事由ヲ具シ大藏大臣ノ指揮ヲ請フヘシ

第十七條 各應仕拂命令官ノ仕拂命令ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ其案内仕拂命令ニ對查シ其金額ヲ交附スヘシ但現金交付ノ際仕拂命令及案内仕拂命令ノ表面ニ年月日現金交付濟ノ旨ヲ記入シ置クヘシ

仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ添付シタル金額氏名表ニ對查シ該通知書ニ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入署名捺印セシメタル領收證書ト引換ニ現金ヲ交付スヘシ但現金交付濟ノ際仕拂命令又ハ金額氏名表ニ年月日現金交付濟ノ旨ヲ記入シ置クヘシ

第十八條 金庫ニ於テ其金庫所在地外ニ在ル債主ヨリ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ニ據リ送金ノ請求ヲ受ケタルトキ及仕拂命令官ヨリ電信爲替ヲ以テ送金ノ請求ヲ受ケタルトキハ歳出ノ送金トシテ現金ヲ拂出シ債主ニ送付シ債主ヨリ仕拂命令官ノ通知書ニ式ノ如ク領收ノ旨等ヲ記入署名捺印セシメタル領收證書(電信爲替ニ係ルモノハ債主適宜ノ領收證書)ヲ徴シタル上更ニ歳出金トシテ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ但受取人現金領收ノ後行衛不明等ニシテ領收證書ヲ徴シ能ハサルトキハ郵便局又ハ銀行等ノ渡濟證明書又受取人ノ領收證書回送ノ途中ニテ紛失シタル場合ニハ受取人ノ受領濟證明書ヲ以テ本項領收證書ニ代ユルコトヲ得

前項ニ據リ送金ヲ爲シタルモ事故アリテ受取人ニ到達セズ還付シ來リタルトキハ金庫ニ於テ之ニ對スル現金ノ仕拂ヲ取消スヘシ

金庫ニ於テ海外送金ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ依リ債主へ送金セントスルトキハ前項ノ

手續ニ依リ現金ヲ拂出シ送金ヲ爲シ追テ債主ヨリ適宜ノ領收證書ヲ徴シタル上更ニ歳出金トシテ拂出ノ手續ヲ爲スヘシ

第十九條 金庫ニ於テ金庫振換拂(仕拂命令ヲ當テタル金庫外ノ金庫ニ)ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令若クハ集合仕拂命令ヲ受ケタルトキハ其指定シタル振換拂金庫ニ通知シテ債主ニ仕拂ノ準備ヲ爲サシムヘシ其電信振換拂ノ請求アルモノハ電信ヲ以テ通知スヘシ

振換拂金庫ニ於テ前項振換拂ヲ要スル通知ヲ受ケタル後仕拂命令官ノ通知書ヲ持參シテ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ第十七條第二項ノ手續ニ準シ領收證書ト引換ニ振換拂トシテ現金ヲ拂出シ債主ニ交付シ領收證書ハ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヘ送付スヘシ其電信振換拂ニ係ルモノハ適宜ノ領收證書ヲ徴シテ現金ヲ交付スヘシ

振換拂金庫ニ於テ債主ヨリ仕拂命令又ハ集合仕拂命令ニ對スル仕拂命令官ノ通知書ニヨリ送金ノ請求ヲ受ケタルトキ及仕拂命令ヲ當テタル金庫ヨリ電信送金ノ通知ヲ受ケタルトキハ振換拂トシテ現金ヲ拂出シ債主ヘ送金シ債主ヨリ第十八條第一項ノ區別ニ依リ領收證書ヲ徴シ之ヲ仕拂命令ヲ當テタル金庫ヘ送付スヘシ

仕拂命令ヲ當テタル金庫ニ於テ振換拂金庫ヨリ前第二項及第三項ノ領收證書ヲ得タルトキハ歳出金ヲ拂出シ振換受ノ計算ヲ爲スヘシ

第二十條 金庫ハ仕拂命令官ヨリ定額戻入ノ通知書ヲ受ケタルトキハ之ヲ受領シ置キ追テ返納人ヨリ返納告知書ヲ添ヘ現金ノ納付アリタルトキ之ニ對查シテ現金ヲ領收シ該返納告知書ニ接續セル領收證書及仕拂命令官ヘノ通知書ヘ規定ノ如ク領收濟ノ年月日及金庫名ヲ記入シ金庫竝ニ取扱主任者ノ印ヲ捺シ其領收證書ハ返納人ヘ交付シ其通知書ハ當該仕拂命令官ヘ送付シ返納通知書ハ該金庫ニ留置クヘシ

第二十一條 金庫ハ毎月受領セル案内仕拂命令ノ内其月二十八日(ハ二十六日)迄ニ仕拂命令發布ニ至ラスシテ仕拂命令官ヨリ返付ノ請求アリタルモノハ直ニ之ヲ返付スヘシ(仕拂命令官ニ於テ毎月案内仕拂命令ヲ金庫ヘ送付セシ案内仕拂命令ヲ金庫ニ送付シタルモノニ對スル仕拂命令ヲ其月中ニ債主ヘ交付スルニ)高ト仕拂命令ヲ債主ヘ交付セシ高ト符合セシムル爲メ至ラサリシモノアルトキハ該案内仕拂命令ヲ金庫ヨリ返付セシムルモノナルニ由ル

第二十二條 金庫ハ毎年度ノ案内仕拂命令、集合仕拂命令若クハ金庫所在地外ニ在ル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニシテ翌年度六月三十日迄ニ歳出金トシテ拂出ノ計算ヲ爲シ得サルモノハ當該年度ノ仕拂末濟金トシテ年度經過後五箇年間繰越整理スヘシ

年度經過後五箇年間ヲ經過シテ尙仕拂ノ請求ナキモノハ第二號書式ノ報告書ヲ調製シ大藏省ヘ差出シ其指揮ニ從ヒ歳入ニ組入ルル順序ヲ爲スヘシ

第二十三條 金庫ハ現金交付濟ノ仕拂命令、集合仕拂命令ノ内現金交付濟ニ係ル受取人ノ領收證書及金庫所在地外ニアル債主ニ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令集合仕拂命令ニ對スル受取人ノ領收證書竝ニ返納告知書(定額戻入セシ分ニ限ル)其他ノ證書類ヲ各年度主管廳及仕拂命令官毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ仕拂額及戻入額ニ對查シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫ヘ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫ニ送付スヘシ

第四章 雜部

第二十四條 各廳出納官吏ノ職務上取扱フ所ノ現金ニシテ出納官吏現金取扱規則又ハ大藏大臣特別ノ命令ニ據リ金庫ニ於テ保管預リヲ爲スモノヲ雜部トス

第二十五條 各廳出納官吏ヨリ雜部保管金拂込書ヲ添ヘ現金ノ拂込アリタルトキハ金庫ハ其現金ヲ領收シ第三號書式ノ保管證書ヲ調製シ之ヲ該官吏ヘ交付スヘシ

第二十六條 各廳出納官吏ヨリ案内引出切符ヲ受ケタルトキ金庫ハ該官吏ノ預ケ金納ニ照查スヘシ左ノ場合ニ於テハ事由ヲ各廳出納官吏ニ告ケ其案内引出切符ヲ返附スヘシ

第一 案内引出切符ノ式ニ違フトキ
第二 案内引出切符ノ汚損シテ其要部ヲ明ニ認メ難キトキ

第三 案内引出切符ノ金額該官吏ノ預ケ金額ニ超過スルトキ
 第二十七條 各廳出納官吏ヨリ發行セシ雜部引出切符ヲ持參シ現金ノ仕拂ヲ請求スルモノアルトキハ金庫ハ其案内引出切符ニ對査シ其金額ヲ交附スヘシ但現金交附ノ際引出切符及案内引出切符ノ表面ニ年月日現金交附ノ旨ヲ記入シ置クヘシ
 出納官吏現金取扱規則第四條ニ據リ資格氏名ノ通知ナキ官吏ヨリ預ケ金引戻ノ請求アルトキハ金庫ハ其所屬長官ノ證明書及適宜ノ領收證書ヲ徵シ之ト引換ニ現金ヲ拂戻スヘシ
 第二十八條 案内引出切符ノ未夕到着セサルトキ若クハ引出切符ノ該案内引出切符ト符合セサルトキ若クハ引出切符ノ汚損シテ案内引出切符ト照合シ難キトキハ其事由ヲ引出切符持參人ニ告ケ金庫ハ其仕拂ヲ拒ムヘシ
 第二十九條 金庫ニ於テ受領セル案内引出切符ニシテ其發行日ヨリ七日ヲ過キ現金仕拂ノ請求ナキモノハ直ニ之ヲ出納官吏ニ返附スヘシ
 第三十條 金庫ハ雜部保管金拂込書、現金交附濟ノ引出切符其他ノ證憑書類ヲ各廳出納官吏毎ニ區分シ一箇月分ヲ取纏メ合計書ヲ調製シ帳簿上ノ收支額ニ對査シ共ニ保存スヘシ但支金庫ニ於テ調製セシモノハ其證憑書ト共ニ本金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ其本金庫へ中央金庫ニ屬スル支金庫ニ在テハ中央金庫へ送附スヘシ

第五章 現金運轉

第三十一條 金庫ニ於テ領收シタル現金ハ其金庫ノ仕拂基金ニ充ツヘシ
 第三十二條 金庫出納役ハ各金庫ニ於テ仕拂フヘキ豫算額(毎年度ノ歲出仕拂豫算ヲ始メ總テ金庫ニ於テ仕拂フヘキ金額ヲ含蓄スルモノトス)ニ基キ金庫相互間ニ現金ノ運轉配賦ヲ爲シ常ニ仕拂ニ差支ナカラシムヘシ
 第三十三條 金庫出納役ハ毎日第四號書式ノ國庫金配賦表ヲ調製スヘシ
 第三十四條 金庫出納役ハ毎月十日、二十日、末日ニ於ケル前條國庫金配賦表ヲ其翌日大藏省へ差出スヘシ
 第三十五條 金庫ニ於テ取扱フヘキ陸軍歸休兵豫備役後備軍驅員兵員臨時召集旅費仕拂及爲替納金取扱等ニ

係ル順序ハ別ニ定ムル所ニ據ル

金庫相互間現金運轉配賦ニ係ル諸帳簿及取扱順序ハ金庫出納役之ヲ定メ大藏大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第六章 帳簿

第一款 中央金庫

第三十六條 中央金庫ハ納金ノ出納及歲出ノ仕拂ヲ調理スル爲左ノ帳簿ヲ備フヘシ
 第一 現金出納日記簿
 第二 現金出納原簿
 第三 各地本金庫現金出納内譯簿
 第四 各地本金庫收支金報告額整理簿
 第五 歲入金各廳内譯簿
 第六 歲出金各廳内譯簿
 第七 歲出仕拂未濟繰越金各廳内譯簿
 第八 雜部金内譯簿
 第九 現金種類別簿
 第十 支出簿
 第三十七條 現金出納日記簿ハ計算報告若クハ各證憑書ニ依リ原簿計算科目毎ニ複記式ヲ以テ其收支額ヲ登記スヘシ(二十六年大藏省令第三十二號ノ記スヘシ(第十四號ノ乙ノ一書式ニ據ル))
 中央金庫ニ屬スル支金庫ノ收支ハ其報告表ノ中央金庫へ到着シタル日ニ於テ之ヲ登記スヘシ但支金庫ニ於テ甲月中ニ收支シタル分ヲ乙月ニ至リ登記スル場合ニハ支金庫實際收支ノ年月ヲ附記スヘシ
 第三十八條 現金出納原簿ハ現金出納日記簿ヨリ轉記スヘシ(二十六年大藏省令第三十二號ノ第十四號丙書式ニ據ル)
 原簿計算科目ハ別ニ之ヲ定ム
 第三十九條 各地本金庫現金出納内譯簿ハ各本金庫ヲ區分シ各本金庫ヨリ送附スル收支報告表ニ據リ其收支